

# 江別市自治基本条例検討委員会

## 提 言 書

令和3年9月30日

江別市自治基本条例検討委員会

# 目 次

<b>1</b>	<b>はじめに</b>	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>検討結果</b>	<b>2</b>
	(1) 自治基本条例・市民参加条例の認知度について	2
	(2) 市民参加・市民協働の推進について	2
	(3) 行政運営について	4
	(4) 情報共有の推進について	4
	(5) 「市民」の定義及び「信託」という表現について	5
	(6) その他の事項について	5
	(7) 条例改正の要否について	5
	(8) 今後の取り組みの方向性について	6
<b>3</b>	<b>検討方法</b>	<b>7</b>
	(1) 自治基本条例検討委員会の設置	7
	(2) 自治基本条例アンケートの実施	8

# 1 はじめに

地方自治の基本となる事柄は、憲法及び地方自治法に定められていますが、その主な内容は統治の形態に関するものであり、どのような地方自治を実現するかについては規定がなく、それぞれの自治体に任される形になっています。

このような背景のもと、江別市自治基本条例は、市民自治によるまちづくりを進めるための理念や基本的なルールなどを定める市民自治の「憲法」として、平成21年7月1日に施行されました。

この条例は、「協働」の考え方を核として、行政と市民が互いに尊重し、協力しながらより良い自治を実現することを目的としています。

施行から12年目を迎えた令和2年4月、条例第29条に基づき、学識経験者、地域市民団体の代表者、公募市民の計8名で構成する「江別市自治基本条例検討委員会」が設置され、この条例が所期の目的を達成しているかどうかの検討を開始しました。

当委員会では、この条例が江別市の最高規範であることを改めて冒頭で確認しました。そのうえで、アンケート結果や様々な意見を踏まえ、協議を重ねながら条例に規定する事項の課題等を点検し、条例の妥当性や市民協働のあり方、まちづくりの方向性などの視点から検証を行いました。

条例の認知度や市民協働の浸透、情報共有の推進などについては、まだまだ課題がありますが、一方で、市民参加などの取り組みが充実してきたことは評価することができます。

全ての条文について検討した結果、まちづくりのルールとして適切に表現されており、現段階で改正等の必要はないとの結論に至りましたが、解説書などにおいて、さらに分かりやすい市民への説明に努めていただきたいと思います。

今回の委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、検討期間が大幅に延長となりましたが、委員が一人も欠けることなく、無事検証を終え、提言書をまとめることができました。

この提言書が、本市における市民自治の推進に役立てられることを期待するとともに、市民の方々からいただいた多くの貴重なご意見が、条例の基本理念や基本原則の実現に向けた行政運営の一助となるよう期待します。

令和3年9月

江別市自治基本条例検討委員会  
委員長 石黒 匡人

## 2 検討結果

### (1) 自治基本条例・市民参加条例の認知度について

江別市は、令和2年5月に市民2,500人を対象に「自治基本条例アンケート」（以下条例アンケート）を実施しました。回答をいただいた890人において、自治基本条例の認知度は4割弱であり、4年前の見直し時とほぼ変わっていませんでした。また、平成27年に施行された市民参加条例の認知度も4割弱にとどまっています。特に10代～20代の若い世代で認知度が低く、2つの条例ともに「全く知らない」との回答が80%以上を占めています。このため、若い年代に関心を持ってもらえるよう、自治会など地域活動において、市内の学生が活躍できるような仕組みを作るなど工夫が必要であると考えます。

さらに、現在、小・中学生を対象に行っている早朝ミニ講座は、身近な事例を通して学ぶことができ、家庭での話題となりやすく、子どもから家族への広がりが見込めることから、今後も継続して行っていくことが必要です。

より多くの市民にこの条例を知ってもらうためには、解説書とは別に、分かりやすい媒体を作成することが効果的です。市民のアイデアを取り入れながら、理解しやすい言葉や写真・イラストなどを使い、手に取ったときに江別市民にとって大切な条例であることが一目見て分かるリーフレットを作成するなど、工夫していただきたい。なぜ自治基本条例が必要なのか、この条例がない場合のデメリット、あることによるメリットについて情報発信することで、市民がもっと関心を持ち、市民参加・協働にも繋がっていくと考えます。

市職員においては、ほぼ全員が条例の存在を認知しているとのことですが、知っているだけでなく、理解して実際に業務に生かしていくことが重要であることから、研修等の内容をさらに工夫していく必要があります。

### (2) 市民参加・市民協働の推進について

#### ①市民参加について（第24条関係）

市民参加の手法の一つであるアンケート調査は、それまで関心がなく積極的ではなかった市民が意見を出すこともあるので、その意見への対応が市民にも伝わるよう工夫していただくことを望みます。

市へ意見を提出する意見公募（パブリックコメント）は、一般の市民にとってハードルが高いので、分かりやすい資料を作成することが必要であり、提出された意見に対しても、分かりやすい言葉を使って回答する等、多くの市民が参加しやすくなるよう工夫する必要があります。

意見公募（パブリックコメント）や附属機関等の委員は、市政への関心や一定の知識や考えがないと参加が難しいと考えられ、参加したことがある市民が少ないのは仕方ないところではあります。市民アンケートや市民説明会など、身近なものから参加を促し、関心を持っていただくことにより、意見公募（パブリックコメント）や附属機関等の委員への参加へ繋げていくよう地道な努力を続けていくことが必要です。

附属機関等に関しては、市民公募の枠が確保され、会議の公開を認め、結果が公表されるまでに成熟したことは評価することができます。今後においても、より広く意見を求めるよう委員公募にあたっては、選考基準をより明確で分かりやすいものにすることが必要であると考えます。また、多くの市民が参加しやすいよう、オンラインでの参加も進めていただくことを望みます。

毎年公表している市民参加実施状況は、さらに具体的な数字等を組み込むなど、当委員会での検討で必要な情報となることを踏まえて取り組んでいくべきであると考えます。

## ②市民協働について（第25条関係）

「協働」は、この条例による自治を支える重要な概念ですが、条例アンケートの結果からも、「協働」という言葉が市民に十分理解されているとはいえません。実際には、地域のごみ拾いや花壇の手入れ、夏祭りの手伝いなど、知らず知らずのうちにやっていることがあります。それが「市民協働」であることを市民に理解してもらうために、協働の事例をあげて広めていくなどの工夫が必要であると考えます。

今後、デジタル化に向かって長期的に大きく変わっていくことから、オンラインを活用した市民協働を進め、活動の活性化に取り組んでいくことを望みます。市内の大学には、専門知識や技術を持った人材がたくさんいるので、大学の協力のもとデジタル化を進めることができると考えます。

市民協働条例の制定については、協働の概念自体に対する市民の理解がまだまだ不十分であることから、引き続き、協働についての意識を高める取り組みや、まちづくり活動の充実を図る取り組みを進めていくことが重要です。どのような制度が必要かということは色々な考え方があり、それらがまとまらなければ条例化すべきではないと考えます。協働が市民に浸透し、十分に熟した段階で条例化を考えていくべきであり、その際には、条例が制定されることにより、市民が行う活動に新たな縛りが生まれることのないよう十分に注意する必要があります。

### (3) 行政運営について

#### ①総合計画について（第13条関係）

市は、総合計画の内容及び進行状況に関して、市民への情報提供が適切かどうかを測るため、アンケート等で把握する必要があると考えます。

#### ②財政運営について（第14条関係）

市がまちづくりを進めるにあたっては、市民が安心できるような財政運営が重要であり、将来にわたって市民の負担となることが生じた場合は市民の理解と協力を得ながら進める必要があります。

#### ③政策法務について（第16条関係）

「政策法務」は、地域の実情に合ったまちづくりや地域の課題解決を行うために条例や規則を制定し、それに基づき業務を行おうとするものです。政策法務の考え方において、自治基本条例は、その最も進化した形であるといえることから、政策法務については、今後も一層充実していくべきと考えます。

### (4) 情報共有の推進について

#### ①情報共有について（第21条関係）

ホームページやSNSでの情報発信、学校やコンビニエンスストア等への広報物の配置など、市の多様な手段による情報伝達の取り組みにより、若い世代でも情報をキャッチしようと思えば受け取れる仕組みになりつつあります。

一方で、条例アンケート結果によると、およそ8割の方が、市からの情報を広報誌から得ていると回答しています。紙媒体のお知らせに対する需要はまだまだ高く、「広報えべつ」の存在は、インターネットの利用が少ない世代が情報を得るための頼みの綱となっていることから、全ての市民に行き渡るようさらに努力してほしいと考えます。

また、緊急時の対応がまだまだ弱く、緊急時の情報発信、情報共有の仕組みについて工夫していく必要があります。

情報共有といいながら、市からの情報発信が中心となっていることから、行政情報のオープンデータ化を進め、市民や企業、大学等で活用・加工し、行政情報を利活用していくことが望ましいと考えます。

#### ②個人情報の保護について（第23条関係）

個人情報の管理については、特にデジタル化された個人情報や自己情報の管理について、市民が安心できるよう、セキュリティ対策等十分な対応が必要です。

## (5) 「市民」の定義及び「信託」という表現について

第2条では、まちづくりにおける広い意味で、個人はもちろん団体も含んで「市民」と定義していますが、第10条及び第11条では、「市民の信託」という表現により、有権者としての市民を指しているを受け取とることができます。条項によって「市民」の定義が統一されておらず分かりにくいいため、解説書の中で説明をする必要があります。

## (6) その他の事項について

### ① 条例の位置づけについて（第5条関係）

自治基本条例が、江別市のまちづくりにおける最高規範として存在しており、その下に市民参加条例をはじめとして、多くの条例や規則があります。これらの法体系について体系図を示すなど、分かりやすく説明すべきであると考えます。

### ② 市民の責務について（第7条関係）

「自らの発言及び行動に責任を持つものとする」という表現は、まちづくりに参加することに対してハードルを上げてしまうことが危惧されます。厳しい表現により市民を委縮させ、抑制することが本旨ではないことから、解説やリーフレット等で柔らかい言葉で説明するなどの工夫が必要です。

### ③ 住民投票について（第26条関係）

現在の解説書では、直接請求の種類を全て掲載しています。しかし、市民が知りたいのは直接請求の種類ではなく、たとえば、住民投票を実施するときに「別に条例で定める」とはどういう場合が当てはまるのか、どういう手続きにより進められるかということだと推察されます。このため、解説書などに住民投票についての全体の流れや手続きを載せるなど、工夫していただきたいと考えます。

### ④ 条例の見直しについて（第29条関係）

この条例は、4年を超えないごとに見直しをすることになっていますが、今回、検討委員会の提言書を受けてからのタイムスケジュールをしっかりと意識することが重要です。4年後の見直しに向けて、適時適切に有識者や関係者から、まちづくりの将来展望や市民協働の進捗、アンケートに関する助言などをもらいながら、次回の検討に必要な情報を集めて準備を進めていただきたいと考えます。

## (7) 条例改正の要否について

(5)で述べた「市民」の定義、「信託」の使い方については、解説書の改訂で対応することとし、将来的に条例改正が必要となったときに、適切な文言について検討をしていく必要があると考えます。

## (8) 今後の取り組みの方向性について

江別市では、「協働」の考え方を核に、より良い市民自治の実現に向けて様々な取り組みが進められてきました。

今後、市民自治のまちづくりをさらに進めていくには、条例の認知度、市民参加や市民協働に関する意識を高めていくとともに、市と市民相互の情報共有が必要であると考えます。

市民の条例の認知度や意識は少しずつ高まってきているとはいえ、まだ6割の市民は条例を全く知らないという状況です。前述の分かりやすいリーフレットを作成したり、市民の8割が情報の入手手段としている「広報えべつ」を活用することが重要です。たとえば、条例の位置づけや内容について説明するとともに、市民参加や市民協働の事例を紹介するなど、市民に理解してもらうことが重要です。

また、この条例における「協働」の趣旨を実現するためには、市民の理解を深めることのほか、市が市民協働を推進するための事業を展開していくことが必要であり、今後も積極的に取り組んでいくことが必要です。

今回、第3期目の検討委員会として条文や取り組みについて検討し、提言書をまとめましたが、これで終わりではありません。次回の検討に向けて、計画的に準備を進めていただき、次期の検討委員会につながることを期待します。



### 3 検討方法

令和2年4月に自治基本条例検討委員会が設置され、6回にわたり協議を重ねてきました。

当委員会では、市の取り組み状況や条例アンケートによる市民意見を踏まえながら、すべての条項について審議を行いました。市民や市が取り組む市民自治において、まちづくりの現状評価や課題について活発に議論し、最終的には、提言書として条例の妥当性やまちづくりの方向性を整理しました。

#### (1) 自治基本条例検討委員会の設置

(学識経験者、地域市民団体の代表者、公募市民の8名により構成)

##### ①委員会開催状況

- ・第1回 令和2年 7月 3日
  - ・委員長、副委員長の選出
  - ・自治基本条例アンケートの結果について
  - ・各章・各条項の現状評価と課題について  
(前文、第1章、第2章、第3章)
- ・第2回 令和2年 8月24日
  - ・各章・各条項の現状評価と課題について  
(第4章、第5章、第6章)
- ・第3回 令和2年10月 2日
  - ・各章・各条項の現状評価と課題について  
(第6章、第7章)
  - ・条例の認知度について
  - ・条例アンケートの分析について
- ・第4回 令和3年 3月17日
  - ・各章・各条項の現状評価と課題について  
(第7章)
- ・第5回 令和3年 7月 2日
  - ・各条項の現状評価と課題について 等  
(第8章、第9章、第10章、第11章)
  - ・これまでの検討結果の確認について
- ・第6回 令和3年 8月 6日
  - ・提言書(案)について

②委員名簿（任期：令和2年4月27日～令和3年9月30日）

職	氏名	職業等
委員長	石黒 匡人	小樽商科大学商学部教授
副委員長	星 優子	NPO法人えべつ協働ねっとわーく理事
委員	瀬尾 洋介	公募市民
委員	高川 一伸	江別市自治会連絡協議会理事
委員	成田 騎信	札幌弁護士会弁護士
委員	藤田 くみ子	江別市女性団体協議会会計
委員	藤本 直樹	北海道情報大学経営情報学部准教授
委員	吉原 七海	公募市民

※委員長、副委員長以外は50音順  
職業等は委嘱時点のもの

## （2）自治基本条例アンケートの実施

江別市は、当委員会での検討が、より市民の目線に近いものとなるよう、条例の認知度、条例に定める市民自治の基本原則（情報共有、市民参加・協働、信託と責任）などに関するアンケートを実施しました。

当委員会では、いただいたご意見を踏まえ、検討を行いました。

- 【1】実施期間：令和2年4月27日～5月12日
- 【2】対象：江別市に在住の満18歳以上の市民2,500人
- 【3】抽出方法：令和2年4月1日時点の住民基本台帳より、全人口に占める地区別（江別・野幌・大麻）、男女別、年齢階層別の人口比率に応じて2,500人を無作為抽出
- 【4】回答者数：890人
- 【5】回答率：35.6%
- 【6】内容（結果）：資料編を参照ください。

# 江別市自治基本条例検討委員会

## 資 料

# 目 次

## 1 自治基本条例検討アンケート結果 . . . . . 1

自治基本条例の認知度、市民自治の基本原則、市民参加機会の満足度等について把握するため実施しました。調査方法などについては、本編8ページをご覧ください。

## 2 検討委員会における意見集約結果 . . . . . 43

検討委員会において、自治基本条例の各条項について審議し、まちづくりの現状評価や課題について議論する中で、各委員から出された意見を一覧にまとめました。

# 令和2年度 自治基本条例アンケート結果

## ☆アンケート回答状況

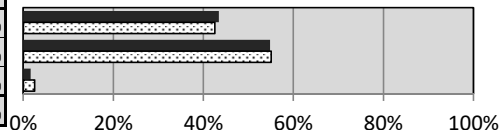
項目	R2	H28
アンケート発送数	2,500	5,000
回答数	890	1,618
回答率	35.6%	32.4%

※複数回答は割合の高い順に並べ替えています。

※グラフの  はR2の割合、 はH28の割合を示しています。

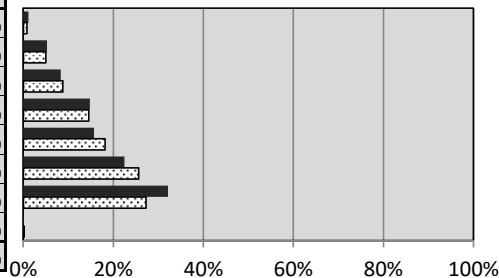
### 問1 あなたの性別をお答えください。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	男性	387	43.5%	688	42.5%
2	女性	488	54.8%	890	55.0%
	無回答	15	1.7%	40	2.5%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



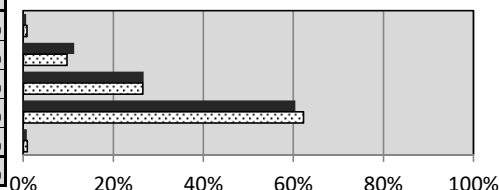
### 問2 あなたの年代をお答えください。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	10代	10	1.1%	13	0.8%
2	20代	47	5.3%	80	5.0%
3	30代	74	8.3%	141	8.7%
4	40代	132	14.8%	235	14.5%
5	50代	140	15.7%	293	18.1%
6	60代	200	22.5%	414	25.6%
7	70代以上	286	32.2%	440	27.2%
	無回答	1	0.1%	2	0.1%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



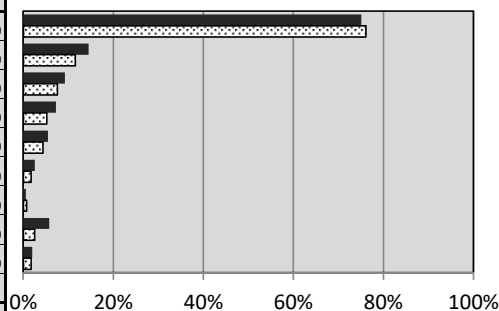
### 問3 市民自治の最高規範として、市民の手で作られた「江別市自治基本条例」を知っていますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	内容までよく知っている	6	0.7%	13	0.8%
2	どのようなものかある程度知っている	101	11.3%	156	9.6%
3	名前は聞いたことがある	238	26.7%	429	26.5%
4	まったく知らない	538	60.5%	1,006	62.2%
	無回答	7	0.8%	14	0.9%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



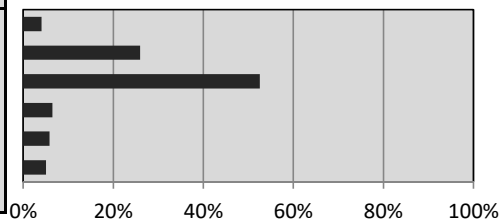
### 問4 問3で1～3のいずれかを回答した方にお尋ねします。「江別市自治基本条例」を何で知りましたか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	広報えべつ	259	75.1%	455	76.1%
3	市のパンフレットやリーフレット	50	14.5%	69	11.5%
2	市のホームページ	32	9.3%	45	7.5%
7	知人や家族を通じて	25	7.2%	31	5.2%
4	新聞	19	5.5%	26	4.3%
5	情報公開コーナー	9	2.6%	10	1.7%
6	出前講座	2	0.6%	4	0.7%
8	その他	20	5.8%	15	2.5%
	無回答	7	2.0%	10	1.7%
	非該当	545		1,020	
	合計	968	122.6%	1,685	111.2%
	全体	345	100.0%	598	100.0%



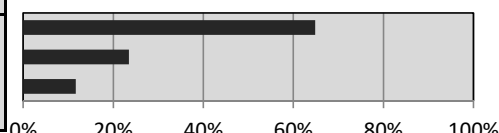
### 問5 自治基本条例の解説書は、条例の内容が分かりやすく記載されていましたか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	大変分かりやすい	36	4.0%	設問なし	
2	分かりやすい	231	26.0%	設問なし	
3	ふつう	468	52.6%	設問なし	
4	分からない箇所がある	58	6.5%	設問なし	
5	まったく分からない	52	5.8%	設問なし	
	無回答	45	5.1%	設問なし	
	全体	890	100.0%	設問なし	



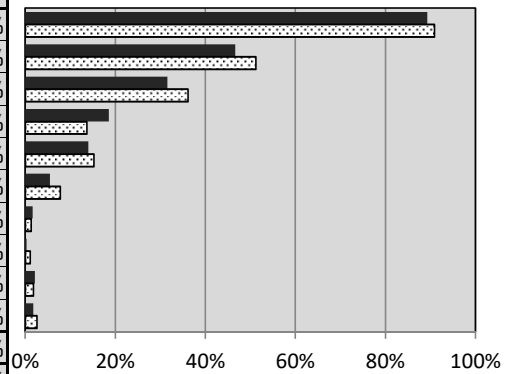
### 問6 自治基本条例のリーフレットは、分かりやすく親しみやすいと思いますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	思う	577	64.8%	設問なし	
2	思わない	209	23.5%	設問なし	
	無回答	104	11.7%	設問なし	
	全体	890	100.0%	設問なし	



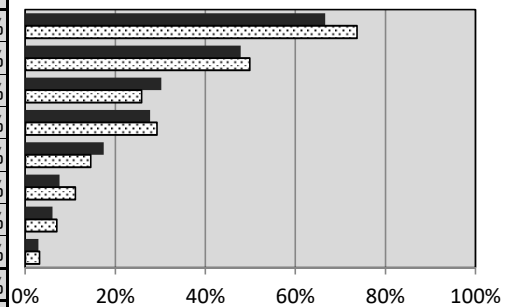
問7 江別市からのお知らせは、主にどのようなものを利用して入手していますか。(特に利用しているものを3つまで)

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	広報えべつ	795	89.3%	1,470	90.9%
7	自治会回覧	415	46.6%	828	51.2%
4	新聞	281	31.6%	584	36.1%
2	市のホームページ	165	18.5%	221	13.7%
3	市のパンフレットやリーフレット	125	14.0%	246	15.2%
8	知人を通じて	49	5.5%	125	7.7%
5	情報公開コーナー	15	1.7%	21	1.3%
6	出前講座	3	0.3%	17	1.1%
9	その他	19	2.1%	28	1.7%
	無回答	16	1.8%	41	2.5%
	合計	1,883	211.6%	3,581	221.3%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



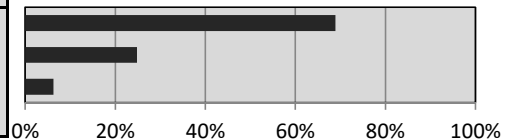
問8 江別市や自治会、活動団体などが行っている、まちづくりに関する情報を得やすくするために何が必要だと思いますか。(3つまで)

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
5	広報えべつの内容を充実させる	593	66.6%	1,191	73.6%
1	まちづくりに関する情報をどこで得られるのか周知する	426	47.9%	806	49.8%
2	まちづくりに関する情報を集めたホームページを作成する	269	30.2%	417	25.8%
4	パンフレットやリーフレットの配布場所を増やす	247	27.8%	472	29.2%
3	まちづくりに関する情報を得られる施設を整備する	155	17.4%	234	14.5%
6	まちづくりに関するセミナーを開催する	68	7.6%	179	11.1%
7	その他	54	6.1%	112	6.9%
	無回答	26	2.9%	50	3.1%
	合計	1,838	206.5%	3,461	213.9%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



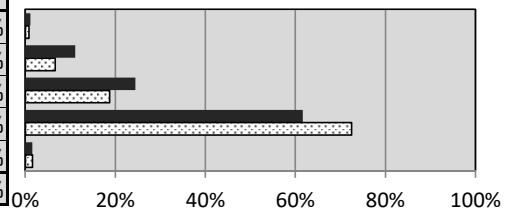
問9 江別市のホームページや広報誌が、高齢者などに配慮したわかりやすい内容になっていると思いますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	思う	613	68.9%	設問なし	
2	思わない	221	24.8%		
	無回答	56	6.3%		
	全体	890	100.0%		



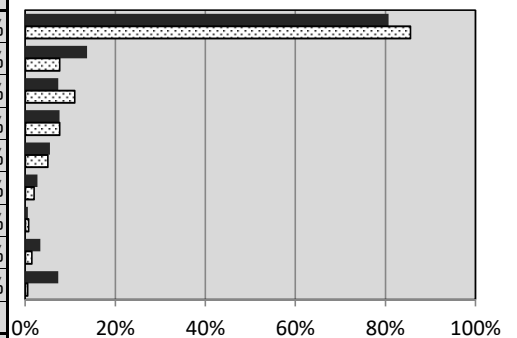
問10 平成27年10月に施行された「江別市市民参加条例」を知っていますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	内容までよく知っている	10	1.1%	12	0.7%
2	どのようなものかある程度知っている	99	11.1%	107	6.6%
3	名前は聞いたことがある	218	24.5%	302	18.7%
4	まったく知らない	549	61.7%	1,172	72.4%
	無回答	14	1.6%	25	1.6%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



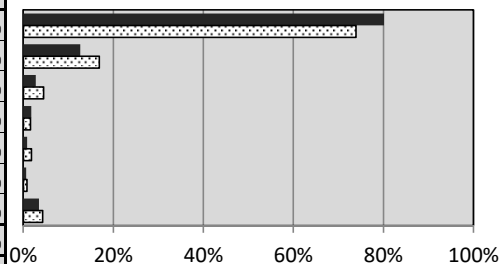
問11 問10で1～3のいずれかを回答した方にお尋ねします。「江別市市民参加条例」を何で知りましたか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	広報えべつ	264	80.7%	360	85.5%
3	市のパンフレットやリーフレット	45	13.8%	32	7.6%
2	市のホームページ	24	7.3%	46	10.9%
4	新聞	25	7.6%	32	7.6%
7	知人や家族を通じて	18	5.5%	21	5.0%
5	情報公開コーナー	9	2.8%	8	1.9%
6	出前講座	2	0.6%	3	0.7%
8	その他	11	3.4%	6	1.4%
	無回答	24	7.3%	2	0.5%
	非該当(問10で1～3以外を回答)	563		1,197	
	合計	985	129.1%	1,707	121.1%
	全体(問10で1～3のいずれかを回答)	327	100.0%	421	100.0%



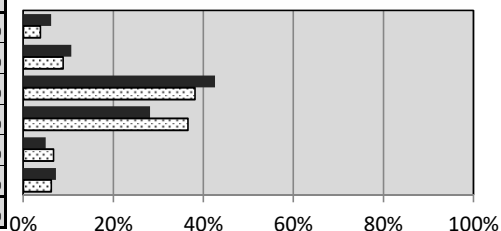
問12 市民参加の方法として、市民参加条例では以下のものを定めています。これまでに参加したことがあるものを選んでください。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
6	参加したことがない	713	80.1%	1,195	73.9%
5	アンケート調査(本アンケート以外で)	113	12.7%	272	16.8%
3	市民説明会	25	2.8%	72	4.4%
4	ワークショップ	16	1.8%	25	1.5%
1	審議会などの附属機関等委員	8	0.9%	29	1.8%
2	パブリックコメント	6	0.7%	12	0.7%
	無回答	31	3.5%	69	4.3%
	合計	912	102.5%	1,674	103.5%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



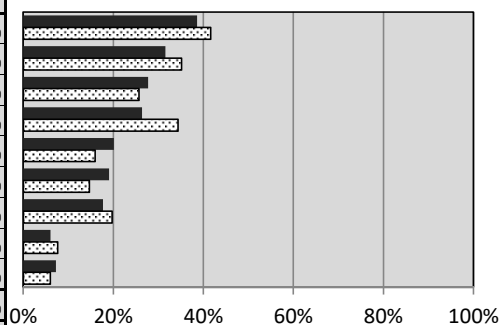
問13 江別市は市民参加の機会が十分にあると思いますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	十分あると思う	55	6.2%	61	3.7%
2	やや思う	95	10.7%	142	8.8%
3	普通	379	42.6%	616	38.1%
4	あまり機会があると思わない	251	28.2%	591	36.5%
5	まったく思わない	45	5.0%	108	6.7%
	無回答	65	7.3%	100	6.2%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



問14 市民参加を推進するためには、何が有効だと思いますか。(3つまで)

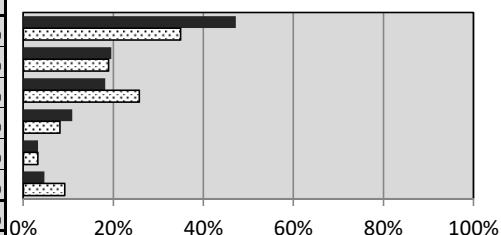
No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
5	アンケート調査	344	38.7%	673	41.6%
3	市民説明会	281	31.6%	568	35.1%
7	市民参加などについて、意見交換ができる場	247	27.8%	415	25.6%
6	手紙やメールなどで市に意見を出すこと	235	26.4%	555	34.3%
4	ワークショップ	179	20.1%	257	15.9%
1	附属機関等	170	19.1%	237	14.6%
2	パブリックコメント	158	17.8%	318	19.7%
8	その他	54	6.1%	123	7.6%
	無回答	65	7.3%	96	5.9%
	合計	1,733	194.7%	3,242	200.4%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



問15 以下の市民参加の方法について、多くの市民に参加してもらうためには、何が必要だと思いますか。

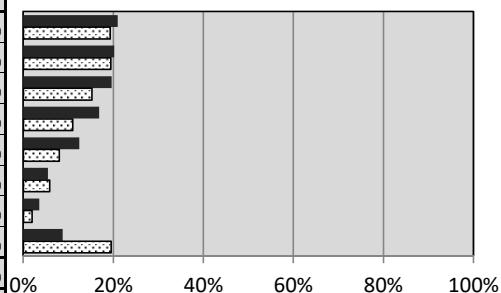
(1) 附属機関等

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
3	参加方法を分かりやすく知らせる	420	47.2%	565	34.9%
4	意見がどのように反映されるか知らせる	174	19.6%	306	18.9%
1	附属機関等自体のPRを行う	162	18.2%	416	25.7%
2	開催する時間帯を工夫する	97	10.9%	131	8.1%
5	その他	29	3.3%	52	3.2%
	無回答	42	4.7%	148	9.2%
	合計	924	103.8%	1,618	100.0%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



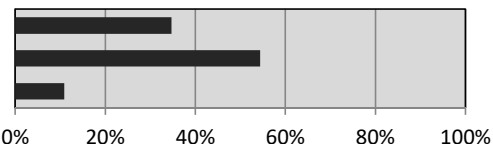
(2) パブリックコメント

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	パブリックコメント自体のPRを行う	187	21.0%	312	19.3%
5	計画や方針の内容を分かりやすく知らせる	180	20.2%	314	19.4%
2	簡単に意見を出せるようにする	175	19.7%	246	15.2%
6	提出した意見がどのように反映されるか知らせる	150	16.9%	177	10.9%
3	意見の提出方法を分かりやすく説明する	111	12.5%	129	8.0%
4	意見を出せる案件を増やす	49	5.5%	94	5.8%
7	その他	32	3.6%	31	1.9%
	無回答	78	8.8%	315	19.5%
	合計	962	108.1%	1,618	100.0%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



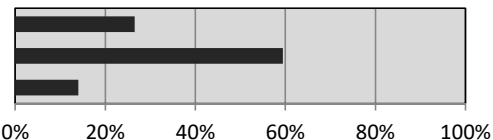
問16 附属機関やパブリックコメント等の参加手続きや制度はわかりやすくPRされていると思いますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	思う	309	34.7%	設問なし	
2	思わない	484	54.4%		
	無回答	97	10.9%		
	全体	890	100.0%		



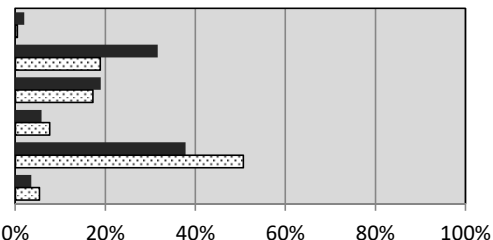
問17 附属機関等の委員を公募する際に、多くの市民が参加していると思いますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	思う	236	26.5%	設問なし	
2	思わない	529	59.4%		
	無回答	125	14.1%		
	全体	890	100.0%		



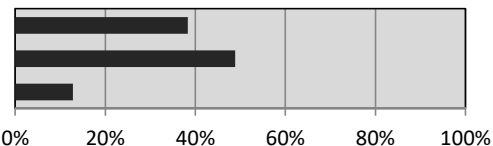
問19 江別市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思いますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	非常に進んでいる	18	2.0%	7	0.4%
2	進んでいる方である	282	31.7%	305	18.9%
3	あまり進んでいない	169	19.0%	278	17.2%
4	進んでいない	52	5.8%	123	7.6%
5	分からない	337	37.9%	819	50.6%
	無回答	32	3.6%	86	5.3%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



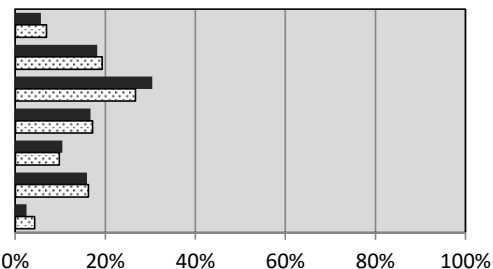
問20 「協働」についての意識啓発が、図られていると思いますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	思う	341	38.3%	設問なし	
2	思わない	435	48.9%		
	無回答	114	12.8%		
	全体	890	100.0%		



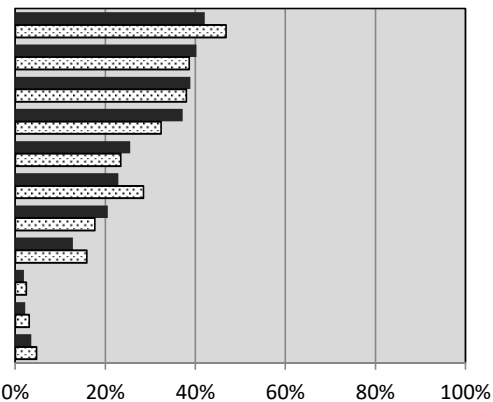
問21 自治会や市民活動団体、ボランティアなどで、まちづくり活動に参加したことがありますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	現在も積極的に参加している	51	5.7%	111	6.9%
2	現在もときどき参加している	162	18.2%	311	19.2%
3	過去に参加したことがある	271	30.4%	431	26.6%
4	参加したことはないが、今後参加してみたい	149	16.7%	277	17.1%
5	参加したいと思わない	93	10.5%	157	9.7%
6	どちらともいえない	142	16.0%	262	16.2%
	無回答	22	2.5%	69	4.3%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



問22 まちづくり活動に参加するにあたって何が必要だと思いますか。(3つまで)

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
5	参加するきっかけ	375	42.1%	757	46.8%
1	時間	358	40.2%	624	38.6%
8	関心や興味	346	38.9%	614	37.9%
3	健康や体力	331	37.2%	523	32.3%
6	一緒に活動する仲間	227	25.5%	378	23.4%
7	活動団体や活動内容に関する情報	204	22.9%	460	28.4%
2	活動する場所	183	20.6%	285	17.6%
4	参加するための知識・技術	114	12.8%	256	15.8%
9	条例・規則などによる仕組み	17	1.9%	39	2.4%
10	その他	20	2.2%	49	3.0%
	無回答	32	3.6%	75	4.6%
	合計	2,207	248.0%	4,060	250.9%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%

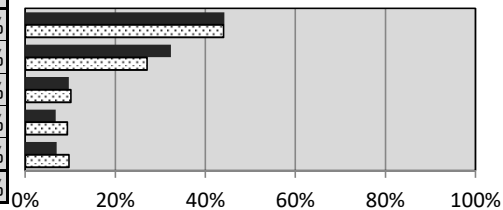




問23 問22の設問にある「2. 活動する場所」として次の施設を知っていますか。

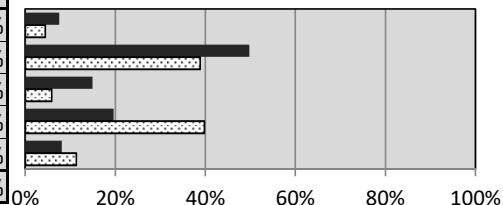
(1) 公民館・住区会館(自治会館)

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	利用している	394	44.3%	712	44.0%
2	利用したことがない	288	32.3%	437	27.0%
3	今後利用してみたい	86	9.7%	163	10.1%
4	知らない	60	6.7%	150	9.3%
	無回答	62	7.0%	156	9.6%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



(2) 市民交流施設ぷらっと(江別市民活動センター・あい、江別市国際センター)

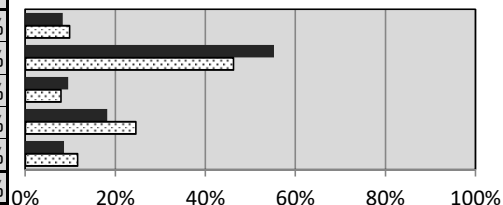
No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	利用している	67	7.5%	71	4.4%
2	利用したことがない	443	49.8%	628	38.8%
3	今後利用してみたい	133	14.9%	94	5.8%
4	知らない	175	19.7%	643	39.7%
	無回答	72	8.1%	182	11.3%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



※H28アンケートでは「江別市民活動センター・あい」のみ対象

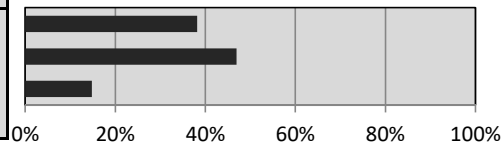
(3) 江別市社会福祉協議会

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	利用している	74	8.3%	159	9.8%
2	利用したことがない	492	55.3%	747	46.2%
3	今後利用してみたい	85	9.6%	128	7.9%
4	知らない	162	18.2%	397	24.5%
	無回答	77	8.6%	187	11.6%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%



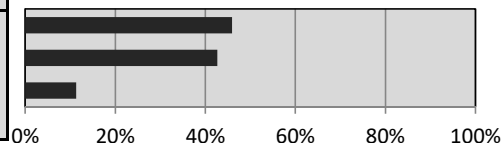
問24 自治会や市民活動団体の担い手の育成を目的としたセミナーが適切に実施されていると思いますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	思う	340	38.2%	設問なし	
2	思わない	418	47.0%		
	無回答	132	14.8%		
	全体	890	100.0%		



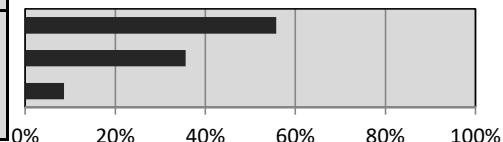
問25 自治会や市民活動団体の活動が、効果的にPRされていると思いますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	思う	409	46.0%	設問なし	
2	思わない	380	42.7%		
	無回答	101	11.3%		
	全体	890	100.0%		



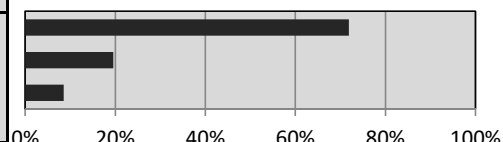
問27 市民の防災・減災意識の向上や災害弱者への支援について、自治会等との連携が図られていると思いますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	思う	496	55.7%	設問なし	
2	思わない	317	35.6%		
	無回答	77	8.7%		
	全体	890	100.0%		



問28 自治基本条例の解説書に、住民投票や直接選挙の制度について、分かりやすく記載されていると思いますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	思う	640	71.9%	設問なし	
2	思わない	174	19.6%		
	無回答	76	8.5%		
	全体	890	100.0%		



問29 情報公開制度があることを知っていますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	知っている	520	58.4%	885	54.7%
2	知らない	343	38.6%	641	39.6%
	無回答	27	3.0%	92	5.7%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%

問30 江別市は、自治基本条例の趣旨にのっとり、適正に情報を公開していると思いますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	適正に公開していると思う	135	15.1%	140	8.6%
2	まあまあ公開していると思う	208	23.4%	286	17.7%
3	普通	354	39.8%	691	42.7%
4	足りない	71	8.0%	178	11.0%
5	その他	67	7.5%	189	11.7%
	無回答	55	6.2%	134	8.3%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%

問31 個人情報保護制度があることを知っていますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	知っている	733	82.4%	1,343	83.0%
2	知らない	131	14.7%	208	12.9%
	無回答	26	2.9%	67	4.1%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%

問32 江別市では、条例や制度の趣旨にのっとり、適正に個人情報を保護していると思いますか。

No.	内 容	R2		H28	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
1	適正に保護している	254	28.5%	283	17.5%
2	普通	497	55.8%	928	57.3%
3	もっと厳格にするべきである	44	5.0%	116	7.2%
4	その他	49	5.5%	192	11.9%
	無回答	46	5.2%	99	6.1%
	全体	890	100.0%	1,618	100.0%

### その他記入意見一覧 (※内容が重複する回答、設問と無関係の回答は記載を省略しています。)

問4 問3で1～3のいずれかを回答した方にお尋ねします。「江別市自治基本条例」を何で知りましたか。

1	スマートフォン
2	自治基本条例アンケートで知った
3	職場・仕事
4	中小企業家同友会
5	市役所で聞いた
6	早く江別の事知りたいので記事が出ているとすぐ読む。

問7 江別市からのお知らせは、主にどのようなものを利用して入手していますか。(特に利用しているものを3つまで)

1	まんまる新聞、マルサン等の地域限定の新聞等
2	学校での掲示
3	自治会、回覧
4	えぼあホール等
5	ネット、えべナビ
6	家族を通して
7	出前講座は広報で知る。利用度高い
8	情報公開コーナーどこにあるのですか？
9	見ていない
10	特に情報を収集していない
11	利用していない

問8 江別市や自治会、活動団体などが行っている、まちづくりに関する情報を得やすくするために何が重要だと思いますか。(3つまで)

1	ホームページを見やすく改善する。
2	メルマガ・登録制(希望者はメールを登録することで江別に関する情報を受け取れる)、広報えべつもスマホで読みたい。※リアルタイムが大事。
3	若い世代が興味を持つように、何か特典をつけてホームページやSNSで発信する。
4	ホームページは、パソコン等がない高齢者などは浸透が難しい。お金がかかるが多目的施設がもっと必要では！
5	ケーブルテレビ
6	テレビの情報ボタンのように、江別はスマホアプリ！
7	テレビのdボタンなど。(他の市町村にはある)
8	市民が積極的に参加できるようなプログラムやイベントをすること。
9	正しい意見、正しい情報を提供する場を設置する。
10	江別市独自の休日を設定して、なぜ休みを取る必要があるのか、実体験を通して江別市について考える時間を与える。
11	地域住民の共通理解を図る活動が大切。
12	具体的な内容で。(例えば高齢者の安否確認を兼ねた市民活動事業者が補えない生活に関するサービス活動など。)
13	自治会回覧物を充実させる。
14	自治会と協働には思えない。
15	現行の広報えべつ、回覧で充分情報が伝わっています。
16	例えば、広報えべつで催し物の日時をひと月分のカレンダー上に明記し、何が何時にどこであるのかひと目で分かりやすくする。その他、フリーペーパー(まんまる新聞など)の活用。情報ツールとして見ている人が多い。
17	パンフレット、リーフレットを見やすく、読みやすくする。文字ばかり多いと見ようと思わない。
18	サークル活動のリーダーにパンフレットやリーフレットの配布を会員にお願いする。
19	文字を読む機会が少ないので目で見てわかる方法がよい。
20	新聞や報道で周知。
21	江別市に転入した時に条例などの一覧を渡すなど。
22	江別に住んでいる利点が無いと情報を得ようと思えないため、得やすくする以前の問題。
23	スーパーやホームセンターのような人の集まるお店などで画面で放映する。
24	スーパー、飲食店、学校など、より多くの人にまちづくりを周知するように掲示物をして、まちづくり活動をアピールして知ってもらう。
25	出前報告会1年1回。
26	災害があったときの情報は遅い。不十分である。
27	農村にも目を向けてください。
28	今のままで良い。
29	間に合っています。
30	わからない。

問11 問10で1～3のいずれかを回答した方にお尋ねします。「江別市市民参加条例」を何で知りましたか。

1	仕事
2	自治活動のクラブに参加して知った。
3	自治会館で説明を聞いたことがある。
4	本アンケート調査の送付物。
5	耳にした程度なので何からと言われても分からない。
6	特に気にとめていなかった。

問14 市民参加を推進するためには、何が有効だと思いますか。(3つまで)

1	市から数多く情報発信すること。
2	この様な制度を広く周知させること。
3	市が動くというよりは、市民が動いてくれるような形をつくるのが大切だと考える。
4	個々の意識を高めることが必要。個々の積極性の増進、無関心を無くする必要がある。興味を持ってもらうようなアピール。
5	インターネットの利用。(SNS、アンケート等)
6	ホームページの充実。市のイベントでの案内。
7	アンケートは有効だとは思いますが、正直、負担になる時もある。
8	世論調査的な、Yes・Noでの回答。
9	メディア利用
10	ケーブルテレビ

11	自治会の活性化。
12	自治会を有効利用する。
13	班長は年1回交流の場を企画する。
14	自治会等の会議に市職員が顔を出す。
15	市長との直接対面など顔の見える行政。
16	どんなことも相談できる課があれば助かります。
17	市民が実感できる実績。
18	市議会議員が地域で懇談会を開き、説明し、意見を聴く。
19	市民参加できるスケジュール一覧ポスターの掲示や、参加できるジャンルの拡充。
20	50代以上の主婦層は市の動向を見ているので、彼女たちの意見を聞くことができる場を設ける。
21	わかりやすい「テーマ」があると良いと思う。
22	イベントでアピールする。
23	市民が理解できる言葉での対応。
24	小学生など小さな頃から参加する習慣をつける。
25	まず興味を持たせること。
26	独自のポイントを作り、参加するごとにポイントが貯まる市のゴミ袋などと交換できたりとか・・・。
27	魅力的な内容とやる場所を何ヶ所かに増やす。
28	より身近でかつ手軽に意見交換ができたと思う(オンライン通話とかダイレクトメッセージでのやりとり)。
29	気軽にカフェとか、意見を否定しないと、気軽さで。
30	「パブリックコメント」の意味が分からない。日本語で記してください。
31	特に参加したくない。
32	もの好きしか参加しない。
33	わからない。

問15 以下の市民参加の方法について、多くの市民に参加してもらうためには、何が必要だと思いますか。

(1) 附属機関等

1	自治会を通して知らせる。
2	インターネットの利用。
3	3(参加方法を分かりやすく知らせる)をふまえて2(開催する時間帯を工夫する)をおこなう。
4	意思表示を簡単にできる方法。
5	参加するメリットを明確にすること。
6	高齢者でも参加しやすいように、家から行きやすい場所で行う。
7	意見が反映された実績が必要。(どうでもいいモノではなく大きなこと。)
8	「結果」どのような変化があったのかをわかり合えるようにしたら良いのかも？興味関心を与えるという考え。
9	市長と職員の意識改革、市民意見尊重、上から目線をやめる。国や道からきたものだけするなら市政は必要ない。
10	市業者、NPOが本業以外に必要なと思われる項目、事業、NPOの出来ないことの線引きを分かりやすくして、「こんな参加」「こんな在り方」はどうだろう、「この他に何かある」だろうなど、問いかけ、呼びかけがあればと思います。
11	年寄りが多く参加しているものは何か。特に運動面で体にも良い事を参考にしてほしい。
12	魅力的な内容とやる場所を何ヶ所かに増やす。
13	特定の人の意見にならないのか。
14	図書券を配る。
15	独自のポイントを作り、参加するごとにポイントが貯まる。市のゴミ袋などと交換できたりとか・・・。
16	「頭の悪い私なんか」と思ってしまう。
17	足がわるく外出がむずかしいので自宅でできることがあれば。
18	どうして参加してもらいたいのか。
19	そもそも附属機関とは何か？
20	わからない。

(2) パブリックコメント

1	自治会をもっと有効的に利用すべき。
2	インターネットの利用。
3	SNSの質問箱のように、質問されたら一言コメントのように出せば、意見も内容もわかりやすく見やすいのではないと思う。
4	パブリックコメントに意見を提出したことがあるが、どう生かされたのか、提出者に反映されない。
5	パブリックコメントをする時期を早くする。そもそもパブリックコメント時期にはほぼ内容が固まっているため見直しがしづらい。

6	このようなアンケート様式が良いのでは！
7	子供の時から意見を聞ける状況をつくる。
8	意見が反映された実績が必要。(どうでもいいモノではなく大きなこと。)
9	市民からの手段(手紙・電話・ホームページ)を明確に。
10	集まらなくても気軽に意見を出し、時間の制限がないネットを通じてのコメント募集や告知の仕方。
11	独自のポイントを作り、参加するごとにポイントが貯まる。市のゴミ袋などと交換できたりとか・・・。
12	「パブリック」って何？英語の国ですか？
13	このような横文字をなくす。わかりにくい。
14	「パブリックコメント」の意味がわからない。日本語にしてほしい。
15	「パブリック」という言葉を使う時点で高齢者に配慮していない。
16	外国語は分かりません。
17	意味が理解しにくい。
18	わからない。

問22 まちづくり活動に参加するにあたって何が必要だと思いますか。(3つまで)

1	情報
2	リーダーの資質。
3	体力的なこと。
4	参加したいと思う動機づけ。
5	場所が近くにあればよい。
6	活動費
7	インセンティブ等
8	魅力
9	コロナの終息
10	早く参加していればよかったと思っています。
11	わからない。

問30 江別市は、自治基本条例の趣旨にのっとり、適正に情報を公開していると思いますか。

1	適正に記録されていることが重要。
2	実際に自分がこの制度を利用したことがないためよく分かりません。
3	公開した結果を見たこともない。
4	情報を知る方法が不明。
5	公開していることを知る機会が少ない。
6	他市との比較を公開すべき。
7	他とくらべたことがないからわからない。
8	実態がよくわからない。
9	具体的な事例がなく分からない。
10	そもそも一般の人がどうやってこのアンケートに対して判断できるのだろうか。
11	市民の関心をさらに高めるように。
12	新型コロナウイルスの感染者で非公開の人が若干いるが、市・地方・年齢位等は道や市が公表していいのではないか。(個人情報も問題あるが?)
13	知らない。
14	わからない。

問32 江別市では、条例や制度の趣旨にのっとり、適正に個人情報を保護していると思いますか。

1	個人情報がもれているという情報が無い以上適正という以外ない。
2	特に危機を感じたことがないから普通にやってるんじゃないか？
3	時に個人情報の洩れがニュースで知ることがあるが(江別ではない)今後共ミスがない様に厳格に運用して欲しい。
4	過剰に保護しすぎとも思う。
5	制度を見たことがないのでわからない。
6	災害時等のことを考えると難しい問題だと思います。
7	個人情報とはどこまでなのかよく理解できていない。

8	何でも個人情報とのことで、日常の活動に不便さを感じている。
9	個人情報保護のシステムマニュアルについて知らない。
10	どのように保護しているのかわからない。
11	現段階では何事もないが、本当に適正に管理(保護)されているかは市民はわからないと思う。市は、個人情報がどのように守られているのか、情報は安全に守られているから心配ないと説明する義務があると思う。
12	他の市町村に劣る部分があると思うから。
13	どうやってこのアンケートに対して判断すればよいのか。
14	空いてる土地を売ってくれませんかと業者から家に電話がきた。失礼だと思う。
15	普段はあまり考えていない。
16	回答するほど知らない。
17	使ったことがないから分からない。
18	わからない。

## 選択理由一覧 (※内容が重複する回答、設問と無関係の回答は記載を省略しています。)

問5 自治基本条例の解説書は、条例の内容が分かりやすく記載されていましたか。

### ●大変分かりやすい

1	解説が詳しく記入されていて大変よかったですと思いますが、もう少し簡単な説明の方がよいと思います。
---	--

### ●分かりやすい

1	もう少し簡素に出来たらと思います。すべてに解説は不要＝同じ事をくりかえしている。本当に必要な事項のみでいいのではないかと。読む気をなくしてしまいます。
2	意外と分かりやすいが、解説の方が分かりにくいものもある。

### ●ふつう

1	表現が硬く、読み続けるのが大変。もう少し柔らかい表現はできないだろうか。
2	パソコンをしないのでカタカナ文字が書いてあっても解らないので意味を調べなければならない。
3	話が長すぎ。
4	お役所仕事って感じ。
5	あまりきちんと読んだことがない。
6	カラー印刷の方が興味をそそる。
7	個人がどのように関わって行けば良いのかわからない。私は身体障害者なので私に出来ることを考えています。たとえば、散歩の時間に通学の子どもの見守りとか。

### ●分からない箇所がある

1	市民自治によって、市議会において、どこが変わったのか、要望が叶えられたのかがよく分からない。
2	この条例の制定がなぜ必要になったのかを知りたいと思った。
3	「市民に関心を持ち続けていただく」との表記がありましたが、条項、解説ともに表現が堅苦しく、全文を読み理解するためには相当な労力と時間が必要であると感じました。ですので「まず手に取って読もう」という入り口に立つこともハードルが高く感じます。そのうえで、最後まで読み終え理解をしようという気持ちになれたという立場を前提としたならば、難しい条項を「解説」という分かりやすい説明に置き換えている点は好感が持てました。あとはフローチャートや図解、一部マンガなど、親しみやすく理解できる工夫があればと思いました。
4	まちづくり構成で商業に関わる者の企画や決定機構に名がない、農業委員は入っているのに。まちづくりのイメージは街の整備と思っていました。
5	簡単に短い文章でまとめて欲しかった。市民に何を求めているのか？このアンケートの集約結果、さらなる周知の為の方策を検討されたし。
6	解説が大変くわしいが、解説がないと内容がわからない条例本文であることが問題。
7	条例を一般市民が全部理解するのは無理のため、後の質問は拒否します。
8	知名度が低いように感じました。もっと市民一人一人に浸透させる必要があると思います。
9	外部監査での外部の監査人と第三者機関の違い。解説で江別市と記載されている箇所と本市とあるがその違い。
10	市民として気になる事があっても話が出来ないと感じました。それは自分の発言と行動の責任を持つ事としているようですが、話し合いをしないと他の人にもわからない事があると思います。お互いに共有して進めていく事もあると思います。

11	初めて見ましたが、高齢者には原則、理念とが同じような言葉と責任を押しつけるような文章があり、高い所から見ている人物が作成したのでは？又、解説しなければ意味が通じないのであれば日本国憲法と同じで、市民は永久に理解できない気がするよ！
12	第2章市民 第6条の3 どこに表明、どうやって提案？
13	白黒で字が多すぎる。分かりにくいというより読みにくい。
14	イラストなどわかりやすい視覚的な提示があってもよいのでは。文字ばかりで読む気になれない感じ。
15	市民ではあるが市中に通勤していない人や、転勤族の位置づけが明確でないため人口動態が考慮されていない。
16	漠然とした印象のため。
17	一般市民には文章の言い回しが難しい。
18	読み切れない。
19	全体的にもう少し簡素化。
20	文章が硬くて途中で読むのをやめました。
21	文章が事務的で老人には理解出来ないところがある。
22	文章が堅苦しい感じがすんなり頭に入ってこない。長々と書かれているがもっと簡単な文が良い。
23	文が難しい。主な取組事例でなんとなく内容を理解できる。
24	カタカナ文字＝パブリックコメント、リーフレット等の言葉を総ての市民が理解できているのか？
25	カタカナ語が気になる。日本語で通じるのをわざわざカタカナ語にしているかえって分かりづらい。例えばパブリックコメント、PDC Aサイクル、フード・コンプレックス。
26	詳しく読んだことがない。
27	あまり興味がない。
28	断片的にしか知る機会がない。
29	結局、何をしているのか不明。

●まったく分からない

1	もう少し短く簡潔にまとめてほしい。読んでみたいと思わない。
2	読み進める気になれない。もともと行政に関心が無いので興味すらわかない。
3	読んでいないから。
4	解説がなければわからないし、解説を読んでもわかりづらい。
5	解説そのものが行政用語であり、その用語が何を指すのか分からない。
6	そもそも解説書が必要な考え方がおかしいのではないのか。自治基本条例はわかりやすく作るべきではないのか。そもそも解説書を読む気になれない。字が多い。
7	今回送られてきた条例の第1章より第11章まで読むのに大変苦労しました。大変立派な条例なので大切に時間をかけて読んで勉強します。
8	読み手を意識しているとは思えない。こういった硬い文章は役所が作りがちだが、それでは伝わらないと思う。
9	語句が市民に分かりやすい表現になっておらず、分かる人には簡易な語句でも分からない人にとっては何を意味しているかまったく分からない。
10	この条例があること自体を分かっていないのにアンケートに答えることが出来ない。(趣旨が理解できていない。)
11	どれだけの人が関心を持っているのか分からない。行政や民間の人、一般市民も偏っているのでは。まちづくりも一部の人だけではないだろうか。
12	難しい単語、普段使用しない横文字、長すぎる文章、かなりわかりにくい。
13	まったく分からなかったです。頭が悪いので出来る方におまかせです。
14	ふりがながない。文字ばかりで理解できない。
15	ここ1～2年住居を江別から離れていたの。
16	老人に難しい事を問うのは無理。
17	どうでもいい。
18	内容がない。
19	理解が出来ない。

●選択なし

1	江別市自治基本条例自体を知らない。
2	目を通しただけ。
3	全く知りませんでした。

問6 自治基本条例のリーフレットは、分かりやすく親しみやすいと思いますか。

(※実際のリーフレットはカラー版だが、本アンケートにはモノクロコピーしたものを参考資料として添付した。)

●思う

1	絵や文体が読みやすい。
2	美味しいパン屋さんが多くある江別で、とても目を引くリーフレットです。中身も分かりやすい。
3	パンの表紙がおもしろい。
4	解説で分かりやすい。
5	もう少し分かりやすいともっと良い。
6	「親しみやすく」までする必要はない。
7	食パンのベースの上に文字が書かれていて、暗く、読みにくい。小麦なり、パンはイラストでスッキリした方が良いのではないか。
8	良いとは思いますが、意味がわからない。「リーフレット」とは何か？
9	リーフレット(日本語で書くと何?)パソコンをいけませんのでカタカナ語が苦手です。
10	日本語で。

●思わない

1	インパクトが足りない。
2	アピールが少ない、知る機会が少ない。
3	自治基本条例自体がわかりにくく親しみにくい。
4	基本条例が有る無しで何が変わるのか？ピンと来ません。
5	個人的には絵や手書きの字で説明されているとわかりやすいと思いました。
6	リーフレットだけで渡された場合は理解できないと思う。
7	リーフレットよりもアプリ等のほうが使いやすいし親しみやすいと思う。
8	字数が多い。忙しい合間をぬって飛ばし読み程度で目を通したいと思った時に、どこが大事なのか、最も知っておかなければならない箇所はどこか分かりにくい。
9	同封の解説書はこれで良いが、もう少しコンパクトに解説した概説的なものがあったら良いと思う。
10	「親しみやすい」の定義がわかりにくい。
11	役所の文書は内容が難しく分かりづらい。
12	文言を整理し、活字を大きくしたほうが読みやすい。
13	文字の大きさは良いが、字ばかりで読むのが大変。
14	日頃から関心なく生活してきたので、いまピンとこない。前居所で自治会に入れてもらえないまま15年余りが経ったので、現在の居所でも自治会には入っていません。
15	主な取組の記載はあるが、いつも具体的なものがなく自ら調べなければ知ることができない。おそらく、皆調べるまでに至らないと思うので、良いことをしたとしても伝わっていないと思う。
16	文字ばかりで分かりづらい。読みたいと思わない。少し目を通したが、興味が沸かなかった。数値で表したり、取組事例を写真表示したりしていれば、もう少し興味が沸いたり読みたくなると思う。
17	市民が望んでいる交通網(バスなど)や除雪、排雪、子育て、介護など切実な問題に対して、市民がどう関わっているかがリーフレットに生かされておらず、さらっとした綺麗事の内容になっている。大学生の問題意識のレベルもあったのかと思うが。
18	親しみやすいが、お金をかけてリーフレットにする意味はない。もっと詳しく知りたい人が日常的にいると思えない。自治会の役員等になって必要となったときに条例本文をみると思う。一般的な人にリーフを配る必要性が感じられない。
19	読書や活字になれていない人には文字ばかりで理解できないと思う。イラストか写真を少し入れるだけで親しみが持てると思う。
20	例えばまちづくりに関する自分の考えの欄をもっと大きく見やすい方がいい。
21	チラシまたはパンフレットかなと思い、あまり目に止まりませんでした。今回はすべての文章に目を通すつもりでしたのでリーフレットの裏まで読んでなるほどと思いました。
22	作成に関しましてはご苦勞されたことと存じます。又小麦産地とのことでパンなどを選択されたことも納得致しますが、何でもかんでも美味しいとか食べ物に関連づけられるのが少しどうかと思います。
23	伝える内容がけっこう難しいので、あまりこらずにシンプルな方がわかりやすいと思う。
24	何でパンの断面？むだ。文字が多い。
25	全体に固すぎると思います。”これは何？”、“読んでみようかな”と思われる工夫が必要。
26	一見して、見たい読んでみようという気が起きない。興味のない人も「ん？」と思える見やすさを求めたい。
27	各章ごと解説がされていて大変分かりやすいと思いました。でも、活字ばかりで読むには疲れたり飽きたりする方もいるのではと思いますし、親しみやすいとは思わなかった。
28	自治基本条例は全ての市民に関係があるものです。障害のある方にも読みやすいように行間やふりがなにも留意した方が良いと思います。(子どもに対しても同様)そうした方向けのダイジェスト版などがあると良いと思います。



29	とても大事ですが内容がむずかしい。理解出来ないところもある。
30	分かりやすいが親しみやすいとは思わない。
31	私に理解力がないのか読んで途中でやめてしまう。
32	強調する部分を明確に強弱をつけた方が良い。
33	市民参加とは、市民協働とは？の文章部分で、「市の」「市民が」「市民生活」「市民の意見」「市民参加」「市民活動」→市、市民が多すぎる。市や市民が基本なのだからあえていららないと思う。
34	トーストと目玉焼きはインパクトがあるが「美味しいえべつ」や条例は入ってこない。表紙にパンと自治基本条例の関係について、「表面はカリッと中はふわっと」と興味をそそるような言葉のみ大きく入れた方が手に取ってもらいやすいと思う。中身はわかりやすいです。
35	条例によって可能なこと、不可能なことを表したケーススタディがない。「パン」は生産振興で有り条例とは関連性はない。
36	堅苦しいのが当たり前の条例で、何が何のため、あまりに幅広く、一言では何を言っているのか分からない。
37	このような(解説も含め)リーフレットになってしまうのは否めない部分がありますが、文章が抽象すぎて具体性が見当たらない。
38	解説はまったく無の人でも分かるような作成ではないと思います。作成に関わっていない人が作成した方が良い。
39	もう少しわかりやすい表現で書いてほしい。
40	何がしたいか？いまひとつ伝わらない。
41	お役所仕事って感じ。
42	文章が多い、全て読まないで理解できない。
43	文章が長く読む気にならない。
44	必要性は判りますが、長々として親しみがわかない。最後まで読む気がしない。
45	「で？」と言う感想しかうかばなかった。興味をそそられない。
46	まったく頭に入ってこない。
47	関心が全くないため開こうとしなかった。
48	高齢なので字が難しく理解できない。
49	とても見づらいです。年よりは黒い文字読む時に目がつかれます。とても残念です。文字も小さいです。
50	横文字が分かりにくい。
51	日本人だから日本語をお願いします。
52	リーフレットとは何か分からない。日本語にしてほしい。(最初どれのことかわからなかった。)
53	内容が市民向けとは言えない。デザインが「暗い」。
54	文字ばかりで表現されていて理解(多い、固い)しづらい。表とか図とかを入れてページ数、文字数を減らしたらどうか。出来ればカラーにしてポイントの部分に赤色等にする。
55	学生と市の協働で制作されたことはすばらしい。残念に思うのは、モノクロ印刷で完成とするならば、背景の食パンとテキストの色味調整が必要。暗くて読みにくい。肖像権からあえて被写体を黒くしたのか、せっかく画像を入れても何が写っているのか判別できない。
56	今回は白黒ですがカラー印刷であればよく目につくのでカラー必須かなと思います。内容はよかったです。
57	どうせならカラーで印刷すればよかったですのではないかと。
58	色が暗過ぎ！内容は良いのにもったいない。
59	白黒(コピー)なので親しみやすさは感じ取ることができなかった。本物は良いのだろうが。
60	写真が重なっていて(パンと写真)色が濃く見づらくて文字が頭に入らないと思いました。
61	わからない。

●選択なし

1	ふつう。
2	基本的に、自分が積極的に関わろうと思ったことがなく、詳しく条例リーフレットを読んだことがないため答えられない。
3	分かりやすいと思いますが、親しみやすいかといえば、勉強会の資料のようであまり親しみやすさを感じられません。
4	内容を知らないのどちらでもない。
5	目を通しただけなので記憶にない。
6	障害者なので分かりません。
7	文字だけだと“親しみやすさ”はさほどないと思います。さし絵や模様、重要な部分に線を引くなどしてあれば“親しみやすさ”につながるのではないかと。
8	生活の話につながっている。
9	分かりやすかったが、理由は分からないが心動かされる感じはしなかった。
10	親しみやすいとはいえないがこんなものだと思う。
11	どちらでもない、もう少し改善あり。

問9 江別市のホームページや広報誌が、高齢者などに配慮したわかりやすい内容になっていると思いますか。

●思う

1	必要と思う箇所だけしか読まないで判断に迷う。
2	広報誌がわかりやすい。
3	わかりやすい内容ではありますが、繰り返し読まなければ頭に入らない年齢です。
4	ホームページは見たことがない。
5	手続きの遅れ、忘れ、把握不十分によるトラブルが心配されます。若年層の無関心も気になります。
6	表紙などかわいらしい写真が多く、親子さんなど切り抜いて保存していらっしやと思います。
7	もう少し大きな字の方が読みやすいかもしれません。
8	広報誌はわかりやすい。ホームページはスマホ版がとてみやすくなっている。
9	表現がやわらかく親近感を感じる。
10	老々となり二人とも身体が不自由になった時などの困ったときの情報等の・・・。
11	高齢者がホームページを見るのか？

●思わない

1	ホームページを見ることができないため。
2	ホームページを見る手段がない高齢者もいる。自治会に入っていない者もいる。
3	ホームページを利用できない人もいると思う。広報誌等で伝えたほうが良い人もいる。
4	広報の文字が小さくて読む気が起きないと親は言っている。
5	そもそも高齢者はホームページなど見ません。広報誌も自分に関係なさそうなら目もくれません。
6	インターネットに対応できない。ホームページを活用できる人は少ないと思います。(パソコン・スマホを持たない人は多いです。)
7	高齢者はそもそもホームページを見ないと思う。
8	今回のコロナの件で高齢者がホームページと言う言葉すらまったくわかってないんだと感じました。(仕事上で)
9	高齢者にはもっと簡潔に短い文章のほうがよいと思う。
10	高齢者は自らすすんでホームページを見ようとしません。その代わりに、広報誌を頼りにしたり、市へ直接電話で聞いたほうがしっかり理解できるようだ。
11	高齢者にはホームページはなじまない。ポイントを線引きするなど。
12	高齢者専用のページを分かりやすく。
13	高齢者に配慮しているとは思わないが、そもそもこの時代にインターネットを使えない人は論外だと思う。
14	そもそも、なぜ高齢者に配慮するのか？
15	若い人が見てもわかりにくい。
16	トップページに表示されている情報が多すぎて、目的のページを探すのが大変だと思う。
17	TOPページにリンクが多すぎる。目的、カテゴリ別の大きな分類があるといい。
18	内容を簡素化し、字を大きくしてほしい。
19	視力が良くないので、見ないでしまうことがある。
20	目的の情報を探しづらい、デザインに親しみがもてない。
21	広報えべつは見やすいが、ホームページが分かりにくい。
22	ホームページのどこに何が書かれているのかが高齢者にはぱっと見わかりづらい。
23	ホームページはごちゃごちゃしていて見にくい。広報誌はほとんど見ないのでわからない。
24	漢字が多く、それに対してアイコンが小さいため、読みづらく感じた。(スマートフォンから)
25	文字が小さく見えにくい、読みにくいが見受けられます。イラストなど多くして理解しやすい広報誌作成が必要。自治体のホームページはいかにも役人さん発想的です。
26	そもそも使用している言葉が市民向けにかみくだかれていない。行政が思っているほど用語は市民には理解できていないと思います。
27	ホームページで調べようと思ってもなかなか出てこないこともあり、「ログインしてください」などがあると面倒になってしまう。なので内容に行きつくまでにならないこともあるので、広報誌はわりと分かりやすいと思う。
28	情報が遅すぎて役に立たないと思うことがよくある。
29	今回のコロナにしても札幌市と比べて遅い。
30	字が多すぎる。伝えることが多すぎて大事なことはあえて伝えないのか？漫画などにして分かりやすくしたら良いのでは？
31	タブレットを配布して使い方の周知や「読み上げ」機能も活用してデジタルシティーを前面にしてみてもどうか。うちの親(73歳)も昨年スマートフォンにした。

32	高齢者はパソコンを持っていないのにわかりやすいも何もない。65歳以上の人が住む家にわかりやすい見出しのものを週1くらいでポストイングしたら良い。
33	広報は読んでもホームページをみる高齢者は多いとは思えない。高齢者には別の方法、例えば病院やスーパーを利用して周知するとかを考えたら良いと思う。
34	災害電話回線の設置はどうか。
35	カタカナ文字が多い。
36	カタカナ単語の意味が理解できないのではないかと。ひと目見て分かりやすく内容をつかめるものが良いと思う。
37	広報誌の字が小さい。また高齢者に特化して意見するならば、最近の広報誌は子育て世代向けの作りになっており、高齢者やその他の世代の知りたい情報や取り組みが少なくなっていると感じられる内容になっている。
38	広報誌について、分野・ジャンル別にメリハリをつけてほしい。子育て支援についてはボリュームも記事も分かりやすい。高齢者の集えるところは自治会活動に委ねているのか。
39	80歳の親がいますが、読まずにそのまま置いてあります。
40	内容は分かりやすいが、各項目の案内が小さすぎて見づらい部分があります。お知らせ欄が特に見づらいと思います。
41	内容はわかりやすいが文字が小さい。
42	誰にでももっと分かりやすくする方がよい。
43	文字を大きくして読みやすくなった反面、項数が多く読む気が失せてしまう。
44	高齢者には一時的理解できたとしても、それを持続する期間は短いものです。時々目に出来ることを望みます。
45	難しい内容。高齢者の方は興味のない内容。事細かに見ると内容が分からなくなる。(失礼しました！)例えばマンション、市営住宅居住でゴミ出しの大変な方の低料金サービスとか、具体的な内容になれば読み始めると思うのですが。
46	もっとメディアを利用して耳から情報を得られるよう希望したい。
47	極力わかりやすい言葉で伝えてほしい。
48	もう少し詳しくあったら良いと思います。
49	表現が煩雑。もっと整理してシンプルで解りやすい(親しみやすい)内容が望ましい。(用いる言葉にも工夫を。)
50	細かい字は読みづらいので、パッと見て目を引くようなデザイン、書き方にすると、高齢者に限らず興味を持つのではないのでしょうか。
51	一般的な全年齢に必要なことを網羅しており、その中から高齢者に関係するものを捜すことが求められる。高齢者へ知らせたいものがあるのであれば、ページを変えて抜粋するなどした方が良いのでは。高年齢だけに捜すのが大変。
52	記事の分量を減らして、重要な情報を厳選して載せて欲しい。記事がぐどぐどしいと高齢者には苦痛である。
53	すすんで読んでみようと思わなかった。
54	高齢者の視力、聴力に対応した配慮が不足。
55	内容をよくわからずに、市の検診や予防接種を受けに来く高齢者の方が多い。
56	あまり見る事がない。
57	お役所仕事って感じ。
58	人によってちがうと思います。
59	言葉を理解しているのか？
60	これだけ並べて条例を守れるのか？
61	構成が単調。
62	内容が一面的。
63	内容が分からない。

●選択なし

1	広報誌はわかりやすいと思います。ホームページはあまりちゃんとみたことがないので回答は「？」です。
2	他市町村との比較が出来ず分からない。
3	見たことがないので分からない。
4	多くの年寄りにホームページ等は無理。
5	どちらでもない、もう少し改善あり。
6	ややわかりやすい。
7	見づらい。
8	考える気力能力がありません。
9	どちらとも言えない。
10	わからない。

問13 江別市は市民参加の機会が十分にあると思いますか。

●十分あると思う

1	アンケート調査でも参加となるため。
2	講座、ワークショップなど充実してると感じる。
3	高齢になり、自転車に乗れなくなったため。クラブ活動に入っていますが、もう少し早く(若い時)入っていればと後悔している。
4	内容による。
5	班における交流が少ない。同じ班で挨拶もしない。

●やや思う

1	私が知らなかっただけで、色々な機会があると今回思いました。
2	広報や新聞などでパブリックコメントの募集等は見かけます。また、市立病院に関わる委員会の公募なども分かりやすく告知されていました。ただ、そういった活動がいつも限定的な内容に感じられ、幅の狭さを感じます。
3	広報江別が読みやすいので、参加しようという気持ちになると思う。
4	休みがあれば参加できると思うが、平日だと難しい人もいると思います。
5	市民参加はあると思います。自治会の動きもそのような物と思っています。
6	広報誌でパブリックコメントを募集していることを知っているから、自分自身も子供の医療費助成に関するワークショップに参加したことがあるから。
7	意見箱の内容に対する返信がない。無視。
8	催し物の内容が知るのに少し。又参加の必要が感じられない。
9	札幌のように大きすぎないためか町内の様子が解りやすいし町内の施設がいろいろある。
10	問12に記載されている項目を見ると。

●普通

1	町内の回覧などで知らせる。
2	オンラインで出来るようなことも必要だと思う。
3	市の行事、懇談会などの案内が分かりづらく、参加していない。
4	何をしているか全くわからない。情報を得る機会がない。
5	そもそも、そんなことをしていると今知った。
6	自治会に仲良しの人が増えている人たち(自分の親の世代)は参加していると思われるが、働いていて時間に余裕のない人たちは参加しづらい。
7	問12の参加例が機能しているならば良いのではないかな。
8	何年も住んでいるが、自分や知り合いがこのような機会に参加したという話を聞かないから。
9	仕事が市外なこともあり、触れる機会があまりない。今回のアンケートがなかったら”参加”のイメージが浮かばなかった。
10	江別市民になって丸5年になりますが、高齢のための参加が消極的になってきています。
11	議題を分かりやすくする。
12	自治関係に興味と時間がある人が参加するには十分だと思う。そうでない人にとっては少なく感じるかもしれないから。
13	機会があっても広い市民の場にはなっていない。
14	他の市町村がどのようになっているか不明なので比較できない。
15	他の市町村と同程度のレベルと思われる。
16	自分の意識の問題。
17	本人次第で決めれば良いと思う。
18	市民参加の5つの内容に関して言えば、広報だけのお知らせしか見ない私にすると・・・他に情報源がないし、自分にとって直接関係がないものには興味がわからない。
19	参加者がいつも同じ、参加者に差がある。
20	そもそもそういった機会があったことを知らなかった。市民にそういった情報は浸透していない、または注目してもらえないような案内になっているのでしょうか。
21	自身参加した事はないが回覧などで参加を募っている事は承知している。
22	機会があるように思うが、審議会、委員会、協議会、また市民説明会などの開催案内等、見たり聞いたりした事がほとんどなかったような気がします。
23	市会議員の存在している意味???動きが見えてこない。行政の追認ばかりではNG、口先ばかりではNG、協力できるときはもっと行動を。
24	参加していないので分からない。
25	転入したばかりで、まだ詳しく分からないため。
26	車で行けない。

●あまり機会があると思わない

1	周知不足。
2	市民参加条例がある事さえも知らなかった。
3	市民参加の機会はあるのかもしれないが、それらを知る機会が少ない。
4	今まで関心が無かったので、市民参加の機会がいつあるか分からなかった。
5	私自身がそのようなものに参加したことがないため。
6	自分自身に参加の機会がなかなかない。
7	働いていると平日は参加不可のため。
8	仕事で忙しい人や家事育児に追われる主婦等、日々時間がない市民には参加したくてもできない。後回しになってしまう。という人も多くいると思います。具体的にこうしたほうが良いという案はありませんが、市民参加に機会は十分ではないと思います。
9	交通が悪い。
10	意識の低下だと思っている。大勢の中に参加することが苦手です。
11	市民参加イベントがそれほどない。もしくは周知されていない。
12	市民参加の例であるワークショップや市民説明会などが、いつ、どこで行われているか分からないため、参加したこともないし、機会も多いとは思えない。
13	転入してから何も広報がない。(広報誌を除く)
14	広報が悪い。
15	いつ、どこで、何に参加すればいいのか分からない。
16	他の市町村と比較して、市が実施する催し物が少ないと思う。市主催の登山教室等があるが、このようなレクリエーション形式の事業等もっと多くしてほしい。
17	一般市民が入っていけるような感じがしません。
18	市と市民との間にはかなり遠く感じます。もっと具体的にわかりやすくしてほしい。
19	身近に思える機会がないと思う。他人事の様に見える。
20	直接的に自分に影響が少ない事に対しては参加には至らない。
21	地域的なこともあると思います。私の居住地は農村ですから身近に感じたことはありません。
22	江別市には何もないイメージがあります。もっと様々な場所や施設を整備したり、市民にとって魅力あるまちにしないと、市民参加の機会は増えないと思います。
23	市民との直接会話(会合)等は年1～2回程度でしょうが、もっともっと地域別に参加者をつのつた機会をもつべき。
24	市民参加の行事を行う施設(場所)を建設して専門に利用する。
25	参加したとしても参加経験等、特定メンバーの意見に集約されて”蚊帳の外”感は免れない。
26	高齢になると行動についていけない。
27	年齢と病気で体力がないので参加できないのです。
28	コロナの影響で就職先の求人が出ない為、参加しようという意思はあるが難しい。
29	参加したいと思うイベントが少ないような感じがすること、機会と魅力にやや欠ける。
30	子ども、高齢者を対象にしたものが多いように思う。若者、中高年が参加できるものが少ない。
31	役所的に言っているだけにみえる。

●まったく思わない

1	江別市に住んでいるが、どこで何をやっているのかわからない。もっと江別市のことが知りたいし、もっと他の人にも江別のことを知ってもらいアピールした方がいいと思う。
2	イベント情報を見たり、意見を出す機会がない。
3	市民参加の機会がどのようなものかわからない。
4	正しい情報や意見を言う場がない。
5	市はどのような場面で最も市民に参加してほしいと思っているのか。どれだけ時間と予算をかけることができるのか。
6	本当に市民参加は必要なのか。
7	みんな仕事をしてるってこと分かってない。
8	中心となるべき働いている人への対応がうまくいかないため、ヒマな高齢者が少数でモノになってしまう。(市職員OBとか・・・)
9	どこで何をやっているかあまりよくわからないし、やる場所が遠すぎて徒歩で行きにくい。
10	独居高齢者、独居若い人の生活に干渉しないでも安否確認できる方法など、相互間サービスが感じられません。生活している上で困っている事、不安に思う事を拾い上げ、出来る人、出来ない人、行って欲しい人、これは出来ないがこれ出来る人、を色分けが見られないと感じる。

11	自分が今までこのようなことを全く知らなかったから、このような人が他にもたくさんいるのではないかと思う。
12	興味がないので意識したことがない。
13	市役所の仕事の的に思える。(形式的)
14	たまにアンケートで知ってもその後はわからない。
15	まったく知らない。
16	わからない。

●選択なし

1	仕事に追われてじっくり接してきていないので答えようがない。
2	私自身が情報を確認していないため判断できません。
3	正直関心がなかったのだからわかりやすくPRされているかどうか良くわからない。
4	回覧で自治会の会合やレク等の集まりがあるということは連絡(情報)はあるが、他は情報を得ていない。
5	比較対象基準が分からないので答えられない。
6	参加の機会は個人差だと思います。友人を通してその機会があるかもしれません。
7	自営業のため参加が難しい。
8	どんな機会があるか知らないので十分かどうかわからない。
9	意味がない。
10	わからない。

問16 附属機関やパブリックコメント等の参加手続きや制度はわかりやすくPRされていると思いますか。

●思う

1	市民でありながら深く関心を持っておらず、今回のアンケートで初めてしっかり目を通しました。わかりやすいと思います。※印で細かく説明が入っているの。
---	--

●思わない

1	今回のアンケート調査で、あらためて附属機関やパブコメ等の参加について知ることができた。
2	私が知らなくて申し訳ありません。知っていたらPRに気づいていたかもしれません。
3	参加の機会を知らない。
4	参加手続きがいつ行われているのかわかりません。
5	知る機会がなかった。
6	関心がない。
7	関心を寄せるきっかけがない。
8	広報等でも読まずに流してしまう。参加意欲がわからない。
9	パブリックコメントという制度によって意見を出せることが認知されていないと思うので。
10	意見を出せる事すら知らなかった。
11	知らない人が多い。
12	広報えべつ等で周知されているのでしょけれど、拝見したことがなく、意見を述べる立場にありません。
13	一部にはわかる人もいるんでしょうが一般市民までは全然伝わってきていないです。
14	6年間住んでいますあまり聞いた事がない。
15	私自身30年以上江別市に住んでいるが札幌に通勤しており、江別市の事をほとんど知らない。
16	今回が初めてのアンケート参加。
17	手続きや制度の内容が個々の家庭に伝わっていない。
18	市民からの手段(手紙・電話・ホームページ)を明確に。
19	PRされているのを見たこと聞いたことがない。
20	自分から調べないとわからない。もう少し色々なところに情報を出していただきたい。
21	周知の仕方が通り一辺倒感が強い。とりあえず知らせましたよ、的。
22	周知が不十分。
23	制度自体の認識が低い。PRの仕方が問題では？
24	広報誌で見かけることが多いのですが月に一度だとPRという点では限界があるのでは。
25	広報のみを情報源としているから。
26	広報誌以外のPR媒体が少ないように思う。
27	広報誌しか知る機会がないと思う。現状は早急に改善すべき。(例)野幌駅前の開発は全く理解しがたいものです。
28	駅など、人の集まる所でアピールしたらいいと思う。

29	パブリックコメントでどのような意見があって、市政にどのように反映されているかについての市民への広報が十分とは言えない。
30	総合計画の策定内容やパブリックコメント等についてホームページを作成し、いつでも市民が意見を書き込めるようにしてはどうか。
31	馴染みがやすい。
32	一般には広く知れ渡っていないと思います。
33	市民参加自体がもう少し市民に浸透すべきだと思います。
34	敷居が高い。
35	どうせ反映されないと目にとめない。
36	地域的なことが関係していると思います。
37	団地自治会を活用すると良いと思います。
38	読んでいる人が少ないと思う。
39	何を見て確認すればよいか分からない。
40	市の広報誌で参加方法を知らせる。会場を多く設ける。
41	広報などで告知しているが知られていないと思う。広報を読む人は相当数いると思うので、誰でも投書できるような書式と封筒を同封しては。
42	フェイスブックやツイッターなどで随時公表すべき。
43	市主導で、テーマ・人選・形式等決定していると思うので、一般市民が簡単に参加できるような形になっていないと感じる。
44	アンケートみたいな形でやってもらえたらと。
45	参加したことがないため、分かりやすいかどうかは何とも言えない。
46	参加した人が実名・住所を記載して提出した場合、その努力に応える意味で、その後それに関する資料送付などがあるとモチベーションが上がる。
47	告知そのものは分かりやすく行っていると思うが、そもそもそれに目を向ける人は限られているように感じる。新聞を読まない、広報を手にとらない。
48	人が多く立ち入るスーパーなどで広く知らせていってもいいと思う。若者にはネットなどで知らせているのかもしれないが、うっかり回覧板を見逃していても買い物などで目にとると機会が増えていくのではないかと。
49	終わってから知ることが多い。
50	制度は進んでいると思いますが、結果がどのようになっているかが市民としてきちんと知りたいです。
51	どういったパブコメが求められているのか、積極的に市のホームページを見に行くなどしないと全く分からない状態。
52	政策ごとにパブコメ情報等が出来るので、ホームページや広報に現在行っているパブコメ等をまとめたコーナーがあった方が市民にはわりと分かりやすいと思う。
53	いつでもどこでどんな案件を募集しているのかがよくわかりません。「こんなときには」のコーナーのアイコンのように、パッと見てわかると助かります。
54	問題点(案件)につき、説明会や意見募集が少ない様に感じる。
55	附属機関にはどのようなものがあるか、どんな活動をしているかをそもそも知らない。結果がどう生かされているかも。
56	若い人は良く知らないため。
57	制度そのものが分からない。
58	意見があってもなかなか言いにくい。
59	もっと身近に気楽に行けて、行きたくなる様な文面がほしいです。
60	何かと書いてあることが難しく感じます。
61	言葉自体が聞き慣れず理解もできない。
62	もっとかみくだいた言葉を使わないと理解しないと思います。更にでかいことで意見が反映された実績ができるの良いかと思いません。
63	横文字を使いすぎる。
64	英語は分からない。
65	高齢者には外来語は馴染まないのを避けてしまう。
66	そもそもパブリックコメントって何？意見を言うのも参加してるのでしょうか。
67	パブリックコメントの事がよく分からない。
68	パブリックコメントというニュアンスからして日本語でわかりやすい言葉で表現して欲しい。
69	パブリックコメント等新語には言葉の意味を括弧書きにしてすぐ理解できるようにしないと質問の意味を理解できない事があるので気をつけてほしい。
70	地区センターが自治会の管理になっていると思うが管理する人を公募したほうが良いと思う。(透明性があると思う。)
71	わからない。

●選択なし

1	そもそも、それ自体についてこれまで考えたことがないので選べない。
2	この制度自体を知らなかったのでよく分からない。
3	私自身が情報を確認していないため判断できません。
4	パブリックコメントの方は広報で募集しているのをみたことがあるが、附属機関の方は「？」です。
5	正直関心がなかったのでもわかりやすくPRされているかどうか良くわからない。
6	広報等でPRされている事と思いますが、分かりません。
7	あまり横文字を使われると意味がわかりません。
8	「パブリック」の意味が分からない。
9	参加しないため。
10	わからない。

問17 附属機関等の委員を公募する際に、多くの市民が参加していると思いますか。

●思わない

1	敷居が高い。
2	意識して参加する人が少ないと思う。
3	一般の人々が参加する機運がない。
4	実際に市民参加の状況になっていない。
5	市民が参加しているのかも分からない。
6	誰が中心にいるのか分からない。市長の他は、一般の人はどれだけいて、どこで何をしているのか分からない。
7	実際の立候補者数などが見えないのでよく分からない。
8	名前も顔も良くわからない。
9	市民参加の人数枠をもう少し増やすことを望む。ひとつの委員会でも、だいたい市民枠は2名程度のことが多いが、その倍くらいいた方が活発化しやすい。
10	自分は参加している自覚はない。
11	参加していないので分からない。
12	情報をどのように取得するのか分からない。
13	私の周りで参加したことがある人を知らない。もしかしたら多くの市民が参加しているかもしれないですね。
14	同世代がほとんど参加していないため。
15	推測ですが周りにも委員に応募したなどの話を聞いたことがなく、公募に応じている人は少ないと思います。
16	私の住んでいる所で開かれたことがないような気がする。
17	多くの市民に参加してほしいと思う熱量が感じられない。
18	どのような方が、どのような方法で選ばれているのか不明。
19	条件に合う人を選ぶ際に、20～60代で5人などではなく、20～60代の各年代より2名ずつ(5世代×2名=10名)など、年代全体の意見を聴けるような人選をしてほしい。選挙権が18歳以上に変わっているので、10代も必ず意見が出せる場にしてほしい。
20	広報えべつ等で周知されているのでしょけれど、拝見したことがなく、意見を述べる立場にありません。
21	PRが足りないと思う。
22	どこでどのようにPRされているかわからない。
23	どうやって参加すればよいのが分からないため。
24	知らない人が多いと思われるため。
25	日頃から関心もなく、情報もなかったように思うので分からない。
26	委員を公募していることを知って参加している人は、興味がある一部の人のみ。参加している市民の多くは、他でも参加している可能性が高い。
27	一人ひとり参加の意識を高めるような機会を多くしてほしい。
28	誰かがやってくれるだろうと安易に考えているのでは？
29	自分には関係がないと思う。
30	自分がしなくてもなんとかなると無関心な事。
31	行っている時間帯も、行っている内容もよく知らない人が多そうだから。(私もそうです。)
32	決定された後に知るので。
33	誰でも参加できるイメージがない。
34	基準が分からない。
35	多くの市民が参加とはどのくらいの事か？市民の数なのか、世帯数なのか？
36	委員になるメリットを感じない。



37	自らの趣味関係に参加するか、積極的に参加したくない。
38	「附属機関」って何ですか？。
39	附属機関そのものが認知されていない。
40	意味が分からない市民が多いと思う。
41	多くの市民が関心を持ち参加できるよう、わかりやすく知らせる工夫が大事ではないか。
42	参加したいと思っても「多いので・・・」と断られることがあった。
43	興味関心がない。無理矢理やるのでは意味が無い。
44	忙しい。興味ない。など。
45	興味のある方に偏ってしまうように思う。市民の意識も低いのかもかもしれない。
46	委員の数に見合った公募となっているため、一般市民が参加するのは難しいと思う。
47	広く公募して透明性(公平)あるものとした方がよいのではないか？
48	公募していることを知らない。
49	公募案内を読んでいる人が少ないと思う。
50	もっとわかりやすい募集案内であればと思う。
51	公募されていてもあまり身近に感じる内容ではないのか、目にした記憶がないので。
52	どういう人が参加したか情報が無い。
53	いつも決まった人が参加して一般市民は案外無関心に思う。
54	いつも同じ人が委員になっている。
55	専門職に偏ってないですか。
56	結局は市職員のOBや市に頼まれた人がやっている。
57	連合自治会組織と同じ人物が多すぎる。
58	一定の人が参加しており、新規の人が少ない印象がある。(PRが足りないから。)
59	委員の選定や応募に際し、事前に一定の知識を持った方でないと建設的な意見を表明できないと考え、積極的に参加していると思えない。
60	特定の人しか参加できないと思います。
61	特定の市民のみが存在を知っていたり参加したりしていると思うから。
62	一部の市民のみだと思う。
63	ある程度の立場(経験者)の人が多様な気がする。
64	仮に委員等に選任されたとしても知識不足のため役に立つか不安。
65	関心ある市民は公募などについて認識が強いが、そうでない市民への周知をどうするかが大切だと思います。
66	自己主張の強い人ばかりが参加している印象がある。特定の人だけが応募しやすいシステムではないか？ 適任者を発掘する努力が、役所側に欠けていると思う。
67	公募しても、自主応募が少ないと思われるので市の選択となることが多いと思う。この場合集約時間や事務方の労力を勘案すれば、参加経験者や特定のグループに片寄ることが多く、初参加者が意見を述べる機会が制約されるメンバー選定は、募集の苦労はわかるが、もう少し工夫が必要だと思います。
68	市を良くしようと思っている人は参加するかもしれないが、ほとんどの人はあること自体知らないと思う。
69	自治会での周知をもっと活用すべき。
70	高齢者が多い。無関心の人も多いのでは・・・。
71	私のような高齢者はなかなか出かけない。
72	交通の便が悪いため。
73	問14 1～7
74	なんとなく。
75	わからない。

●選択なし

1	自分が見落しているだけなのかなと思いますが附属機関の委員公募のお知らせを見たことがないです。すみませんちゃんと見ます。
2	参加している市民がどれくらいいるのか、委員の公募すら知らなかった。
3	この制度自体を知らなかったのでよく分からない。
4	多くの市民が参加しているかどうか判断できない。
5	正直関心がなかったのかわかりやすくPRされているかどうか良くわからない。
6	どちらとも言えない。
7	わからない。

問19 江別市は「協働」によるまちづくりが進んでいると思いますか。

●非常に進んでいる

1	うちの自治会はとても良くしてくださっていて、町内自体も比較的キレイです。ゴミステーション、花壇、子どもの行事 etc 引っ越してきたときからみなさんのおかげでその土台が出来ていると思います。
2	よく目についてイベントごととか多くしていたのでとても好評したいです。コロナの影響でその賑わいが見られないのが残念です。

●進んでいる方である

1	犬の散歩でフンを放置しなくなったこと。歩道がキレイです。
2	ごみ拾いや花壇の手入れなど、積極的に活動されている様なので。
3	市内の公園について、市民の意見を採用して新しく作り直しているのを見かけているので。
4	リーフレットでゴミ拾い、花壇の手入れを行っていると掲載されており、自治体でも当番で行ったことがあるため。リーフレットも4大学と一緒に作成したと分かりやすく書いてあるため。
5	他都市との比較ができないので、希望的に「2」を選択しました。
6	各自治会は熱心に活動している方だと思います。
7	協働作業の結果を目にする機会がある。
8	学生さんが活動しているのを見かけるから。自治会の清掃や中学生がゴミ拾いをしている。
9	江別市にはたくさんの大学があって、大学の先生のお話を拝聴したり、学生さんとも関わったこともあるので大学との協働はとても身近に感じます。
10	他の市町村よりは「協働」という面を良く意識されて活動されていると思います。
11	自治体活動が盛ん。区長、班長は大変すぎる。家庭生活を守るための自治会活動なのに、仕事が多すぎて家庭がないがしろになる。
12	「江別市自治基本条例」を制定し、取り組みを進めている。
13	私は野幌に住んでいるのですが駅もきれいになり、新栄団地もとてもきれいにマンションふうの建物になり、その周辺も新しく変わってきてます。
14	自治会がちゃんと機能していると思います。札幌に住んでいた時はそもそも自治会の案内が来なかったし、問題(ゴミや除雪に関する)があってもうまく対処できていないように感じました。
15	よく見られる風景があります。
16	江別顔づくり事業や公園に関わり、子ども達の参加など進んでいると感じる。
17	高年齢者が多いため参加しにくい。
18	実感がないから。
19	知らない人がまだ多い。

●あまり進んでいない

1	感じたことがない。自分が積極的に参加していないので答えが難しい。
2	市の担当の方々が率先して参加し、市民を引っ張り出すくらいの環境づくりが必要。
3	若い世代に関心を持ってもらえていないと思う。
4	新しい市民や若い人の参加が大事だと思うが、十分とは言えない。
5	ボランティアだけでは動かない。
6	どれだけの人が協力しているのかわからない。
7	ごく一部の人だけのよう。
8	市民参加型のまちづくりが進んでいるとは思わないため。
9	協働のまちづくりの前に計画ありきになっている。
10	地域での市民参加活動があまり進んでいないように思う。
11	私たちが、市民として、自ら生活の向上や問題に対する自治意識を育てなければ、市と協働するという発想が生まれないと思うので、市は市民に対して住民権を啓発する活動をもっと進めなければならないと思う。
12	大麻・野幌・江別があまり交流がなく、現状は野幌中心のように思われる。
13	進んでいる地域と進んでいない地域がある。
14	江別駅前をどうするのですか。
15	地区によってはアパート等が多く、市民としての定着性に遠い。
16	年に1回、他の班と合同で話し合いを設け、活動内容を知りたい。
17	江別市民活動センターあいさんの他に協働ネットワークの存在を知らないためです。私自身も市民活動団体の役員をしています。他の組織の活動によるまちづくりをよく分らないです。

18	市民協働そのものの認知が少ない、勿論今までPR等が少ない。もっともっと年代別や地域別に取り組むべき。
19	協働によるまちづくりの具体的な経過(記録)や成立された事項、中止となった事項の公開がないので判断できない。
20	知っている人は知っているが、知らない人にはほとんど「協働自体」何なのかなど知らないことが多いように思う。
21	学生や子供の活動は広報誌などで目にするが、一般市民が参加して活動する様なものがわからない。
22	個人的には障害福祉、教育、国際交流などに興味があり、そのようなことなら参加したい気持ちはあるので、広く参加を呼びかけるより、あらかじめ分野別に声をかける対象の市民がグループ分けされていると、こちらも参加したくなります。
23	無関心者が多いのではないか。
24	大学が多く学生が多いので仕方ないかもしれませんが、学生アパート近くの公園やゴミステーションがいつも荒らされていて近隣住民が掃除しています。「協働」というよりは同じ人ばかりがそんな役割をしているように感じます。
25	自治会や自治会の要望・意見が十分反映されているとは思えない。
26	文句ばかりしか見えない。(得して当たり前の風潮だから仕方ないか。)
27	市民(自治会等)と市の役割が互いに尊重しあっているとは思わない。市街地道路の街灯に関する電気代負担など市が行うべきものを市民任せになっている部分もあり、現状が何かおかしい。この件は全国的にそうなのかもしれないが。(オーソドックス)
28	居心地が、協働が生かされているとはあまり思えない。
29	実感が無い。

●進んでいない

1	市長のよくわからない政策が重視されていると感じる。
2	江別市が何をしているのか、何をしたいのかが見えないのに、何を一緒にしてほしいのか分からない。
3	市民の意見が反映されているように思えない。
4	人口は増え続けているが、広がっていないし、強制されているような感じがします。
5	市による細い場所の環境づくりが見られない。
6	野幌地区だけすすんでいると思う。
7	他の市町村よりバラバラな感じがする。
8	日頃の考えを知らせる機会や場所が無く、もっと意見交換があってもよいのではないかと思います。
9	空き地、空き家はほったらかし、商業施設などの建設もなし、暮らしよい街にする工夫が全く感じられない。
10	小さな町村に立派なパーク施設があるが、江別は中途半端な物しかない。
11	何ひとつピンとこない。
12	知らない。

●分からない

1	変化がないから。
2	何が言いたいのかはっきりしない。
3	江別にゆかりのある著名人に「江別協働大使」をお願いして呼び水にしてはどうか。
4	インセンティブが必要ではないか。
5	協働する気持ちがおこらない。住んでいる地区の環境があまりにも他地区に比べて貧弱であるから。
6	行っている活動があるとすれば、一つ一つこれが市民協働の推進に基づく活動ですと説明してほしい。
7	経過や結果についての情報周知が不十分(分からない)なので判断しようがない。
8	大学とはよく協力しているように思われる。
9	ごく一部の学生、人が参加して何かしているようだが、それが進んでいるのか、どうかについては比べるところもないため判断できない。
10	協働に限られた市民の活動が何によって反映されているか知る機会はあるか？
11	具体的に「協働」によるまちづくりが何か分からない。
12	「協働」の言葉が身近に感じてこない。
13	一部の人達だけが理解、参画しているが、多くの人にはよく条例自体が浸透していないのではないかと思います。
14	ごく一部の人の参加で盛り上がっているのかもしれない。でも、その人達のおかげで市は良くなっているのだろう。
15	厚い壁を感じます。
16	私はアパートですが、そういう知らせが入りにくいです。
17	市民自らが情報をとりにいかなければわからない。
18	知る術がない。
19	条例ただだとわかりにくいので例を出してほしい。
20	内容が抽象的なため判断ができない。

21	具体例がないと意見がでてこない。
22	自分自身が参加しておらず分からない。
23	まったく知らない。家で話題になった事すら無い。
24	年齢が上になると、協働は若い人に期待するので興味自体が薄れる傾向にある。
25	協働に該当するようなこと参加した記憶がない。他の市町村のレベルが不明。
26	他市と比べようがないので分からない。ときどき「やってるな」と思うこともあるが。
27	他の市がどのような状況か分かりませんが、昨年町内の班長を担当して、まちづくりが進んでいると思いました。
28	各々の自治会で参加はしているものの新たに進んでいるかは良く分からない。
29	私自身30年以上江別市に住んでいるが、札幌に通勤しており、江別市の事をほとんど知っていない。
30	一生懸命やってると思いますが、成果が見えてこない。
31	「協働」の存在、根拠を初めて知った。
32	何を重点にしているかわからない。市立病院の存続問題は内容が不明瞭です。
33	江別市という近隣都市としての協働すべき課題を具体的に示されないと、今何について江別市として協働することが必要なかが明確でない。(自身の問題として。)
34	知らなかったため。
35	もううんざり。
36	よくわからない。

●選択なし

1	「市議会だより」で年1～2回程度、誰がどのような意見を述べ、活動やその成果(市民の評価も)、将来展望について集約して発表してはどうか。
2	わからない。

問20 「協働」についての意識啓発が、図られていると思いますか。

●思わない

1	このアンケートで条例を知ったので、そもそもあまり認知されていないのでは？
2	「協働」について、広く認知されているとは感じないので。
3	「共同」「協同」ではない「協働」という考え方があまり浸透していないように思う。
4	一部の人間の認知のみで、この考え方自体を理解している人が何人いるだろう？
5	「協働」について言葉は知っていたが、具体的な事は何も知らなかった。
6	実際に「協働」というワードを今回初めて聞いたから。
7	そもそも、参加と協働との違いは何なのか。もっとわかりやすく表現すべき。
8	文字を見れば意味するところがわかるが、普段使いなれない言葉だと思う。
9	「協働」の文字が日本語として馴染めない。「労働」に近いイメージだ。理屈は分かっても意欲が沸いてこない。用語を変えてはどうか？
10	「協働」→分かりづらい。
11	自治の原点は条例案の「協働」に集約されるものだと考えます。どこの自治体でも発議する側から住民団体への周知・協議等は課題があり難しいですが、市の頑張りに期待します。
12	私が江別に来たときよりは進んでいると思います。ただ、班の編成替え等については自治会独断で決めるのではなく、住民(一般)も入れて委員会等のようなものを作って協議してほしいと思います。(約40年間一緒に苦労した仲間が別々になることはつらいことです。)
13	内容が具体的でないのわからない。
14	役割を伝えられている感覚がうすいため。
15	具体的に何に参加すれば協働と言えるのか全くわからない状況。
16	自分自身の問題として何を協働で取り組む必要があるのかが明確でないから。
17	協働活動の行事とかあまり耳にしない。
18	何を行っているのですか、取り組んでいるのですか。
19	自分が協働を理解できていなかった。また、友人、親族に聞いたところ、分かっている人が少なかったから。
20	江別市民が条例自体を知らないの、啓発どころではないのでは。
21	意識啓発というよりは、一部の意識の高い人だけがしっかりしているように感じます。一人ひとりが意識しているのとは少し違うかと。
22	一部の活発な人たちの声が目に出やすいと思う。これは江別だけの問題ではないですが・・・。
23	みんな自分のことで精一杯。協働する余力がないと思う。

24	後期高齢者にとって協働という言葉は意味が遠いから。
25	協力する人がいないように思う。若い人たちの無関心。(子育て、仕事が忙しいことも一因。)
26	まだまだ意識は低いように思う。
27	興味がないため、啓発が図られているかあまり考えていない。
28	意識してる人とまったくしていない人がいると思う。
29	自分達がこうしたいという意識がない。
30	江別、野幌、大麻と地区ごとで意識がバラバラと思う。
31	市のまちづくりを市民が自分事としてとらえていないと思います。難しいことですが、市民がまちづくりを自分事としてとらえてられるような仕掛けが必要だと思います。
32	市民の中には自己中心的な立場を貫き、全体的に多くの残念な事案が目につきます。
33	やりたい人がやればよいと思っている人が多いと思います。
34	まちづくりのビジョンが見えなければ、個々の意識啓発は難しいのではないかな。
35	意識啓発活動を具体的に感じたことがない。
36	市民の江別市に対する郷土愛が生まれるためには、江別市を誇れる色々なものが必要。
37	「協働」によるまちづくりは、市民の自発的な行動がなければ、行政の押し付けと受け取られ、参加も停滞すると思うので、自由に参加できるような啓発をしていただきたい。
38	自治会等への一方通行気味で低調ではありませんか。
39	事務的すぎるように思う。
40	上位下達的だと感じます。
41	今回、初めて知った。そういう場があり、どれくらいのペースで行われているか知らない。
42	新しい市民や若い人への広報が十分とは言えない。
43	意識啓発が何か分からないし、協働の取り組みをしている事柄も知らない。
44	啓蒙は難しいですね！
45	もっとPRが必要と思う。
46	協働に対する具体的な呼びかけやアピールが少ない。
47	市民参加のアピールがわからない。自治会、自治会に頼りすぎていないか？
48	見聞きしたことがない、話題にもならない。
49	参加のハードルが高い様な気がする。日頃からのPRが大事と思う。
50	市民自らが情報をとりにいかなければわからない。
51	広報えべつ等では取り上げられているようだが、これだけでは浸透しない。工夫を。
52	草の根運動、底辺からの盛り上げ。
53	江別は札幌に通勤等している人が多いので、駅などでアピールしたらいいのではないかな。
54	札幌市の子分的思想がある限り、独自性の協働は達成されません。
55	地域の連帯感が少ないように思います。
56	自治会でも一部の人しか活動してないと思う。
57	同一班で挨拶もしない。
58	一部の部局の職員の対応をみると疑問を抱かざるを得ないことがあったから。
59	市職員の働き方が市民を納得させていない。もっと働けるのではないかな。協働に参加しているのは皆ボランティア。
60	活動そのものは目にしていますし、告知も読んでいますので、その活動の幅広さと年齢の多様化に期待したいと思います。
61	実感が無い。
62	自分の住んでいる地域のことは知らない。
63	「まちづくり」に自治会も協働している啓発があまりないためか、私の家の周りで自治会を脱会する家が何軒もある。
64	江別市民の私の知る人で参加している人がいないため。
65	何事も末端まで届いてない。
66	自治会同士の交流やコミュニケーション不足。
67	若い人の意見が取り入れられてるようには思えないので。
68	日本人の民族性もあると思うが、行政や政治的な会話を疎んじる芸能界が悪い。(その前の団塊の世代の全学連が国民に支持されず結果がひどかったのもその反動である。)
69	「よく分からない」のが本音。比較する対象が曖昧です。高齢のため判断力が減退しているので答えは出せません。
70	老人に対して×。
71	文章がわかりづらい、面倒。
72	めんどくさい。
73	わからない。

●選択なし

1	活発に活動をしてくださる方々には感謝致します。
2	自分の得意なことが市に役立つなら！と思う人は少なくないはず。でもイメージが浮かばないと思う。例題を出してみるのはいかがか。
3	意識啓発が図られているのかはよくわかりませんが必要な場面で協働はおこなわれているのではないかと感じます。
4	私自身が情報を確認していないため判断できません。
5	正直関心がなかったのだからわかりやすくPRされているかどうか良くわからない。
6	自ら自発的に動かなければ成らないことと自分自身の反省もあるが、どのように関われば良いかわからない。
7	参加者の顔ぶれが固定化しているようだ。
8	全く知らなかった。
9	意識していない。
10	わからない。

問24 自治会や市民活動団体の担い手の育成を目的としたセミナーが適切に実施されていると思いますか。

●思う

1	セミナーに参加したことはないが、実施はされていると思う。
2	私は神楽に参加していますが大変市に協力してもらっています。
3	実施されるのを知らなかった。
4	よくわからない。

●思わない

1	セミナーを実施していることを知らない。
2	担い手育成やセミナーについて情報を得ようと思っておらず、適切に実施されているか判断できないため。
3	どんなセミナーなのか分からない。一部の興味のある人しか参加しないと思う。
4	自治会の活動が高齢化になっていて、担い手というより自治会のあり方の見直しが必要。
5	周囲に参加している人がいないため。
6	PR不足。
7	情報がない。
8	事務的すぎるように思う。
9	実施されていても関心がないためわからない。
10	自治会等でも聞いたことがない。
11	世間に知れ渡っていない。
12	セミナーが充分ではない。
13	市活団の存在もあまり知られていない様です。自治会も高齢者増加で存在自体に？がついてきている。
14	次の担い手と考えた場合、現役世代となるためセミナーが開催されていても参加は難しいと思う。結果として、限られた市民(関心のある方)の参加となり、世代交代が行われていないと思う。答えとしてはずれてしまいましたが。
15	もっと若い人や新しい市民が参加しやすいセミナーにしてほしい。
16	働いている人は参加できない日程。
17	セミナーなど行ってみたいと思うが、時間がない。
18	敷居が高すぎる気がする。イベントなどで、文章を書かせるスタイルではなく口頭で簡単なアンケート(2~3問程度)を行い、「もっと答えてもよい」と返答した人たちに「参加してみてもいい？」と気軽に誘ってほしい。
19	自治会への参加者が減少している。
20	担い手の育成よりも、現在は自連協や第三者委員会の意見を多くの市民の声として判断してしまう傾向があるので、もう少し市民目線を意識してはどうですか？
21	自治会は高齢化が進み、今後、役員や班長等の担い手が少なくなり、継続できない地域も増えてくると思う。自治会でも差があると思う。
22	高齢者が自治会の役員で、何十年も同じ方がされている。私たちは10年に1度の班長をするくらいです。
23	若い人たちの無関心、人間同士のつながりが希薄など、現代では仕方ないと思う。参加者不足、担い手不足が原因。
24	自治会や市民活動団体に所属している役員は、担い手の育成等の時間的余裕がなく、セミナー等の参加が難しい実状にある。
25	自治会等の未加入者に対し、参加できるよう何か方法がないだろうか。
26	自治会の活動をもっと利用すべき。
27	自治会の参加者が少なくなっている。町内に転入とともに入会するのが当たり前と考えられていることが変化している。
28	私たち20代や10代はそういったセミナーに馴染み深くないと感じるため。
29	「思う」と答えるほどの情報をもっていないから。
30	わからない。

●選択なし

1	セミナー自体を知らないので答えようがない。
2	たぶんセミナー開催の情報を見落としているんだと思います。
3	何処で実施されているかわからない。
4	もう少し若い方や年をとっている方々に知らせて行く事も大事な事だと思います。
5	どちらとも言えない。
6	わからない。

問25 自治会や市民活動団体の活動が、効果的にPRされていると思いますか。

●思う

1	自治会活動は広報誌によるPRもあり、大変良いと思う。
2	回覧板などでは見ている。
3	広報などに一緒に入ってくるので。
4	他の自治会の活動内容を紹介してほしい。江別市以外でも、小さい内容でも可。
5	各団体の活動状況を多くPRしてほしい。
6	このアンケートを通して、自治会や市民活動団体の活動があることを知り、自分でも情報収集してみようと思うきっかけになった。
7	特に自治会の方々が努力しているが、自治会未加入だったり、自分だけがよければと思う人が増えていると思う??

●思わない

1	十分でない。
2	知る機会が少ない。
3	発信の場が少ない。
4	広報えべつで知るくらい。
5	自治会回覧板のみの情報。
6	市民活動団体の活動等はそれなりにPRされていると思う。自治会参加へのPRはあまり聞かれない。
7	自治会等は知らない。何の活動をしているのかあまり知らない。
8	自治会の役員に当たった年度は情報が入ってくるが、それ以外ではあまり情報が入ってこない。
9	機械的に資料配付してるのみである。
10	活動結果がみんなに報告されていない。
11	私の住んでいる自治会は大小の行事の開催結果まで報告されています。
12	ホームページは毎日見えています。
13	自分が参加した以外の活動がわからない。
14	インパクトがない。
15	アピール不足を感じるため。
16	PRされていないから知らない。
17	PRされているのかもしれないですが効果的でないと思います。
18	PRされていても自治会等でみる限り、参加しようとする気のない人が多すぎる。
19	PRの手段が限られているから仕方がないと思う。テレビ番組を利用できれば効果的にやれると思う。
20	自分にも問題があるかと思いますが、実際自分の耳に情報が届いていないため。
21	気にしたことがないので分からない。
22	限られた人が参加するもののように感じます。
23	自分が属している自治会のことしか分からない。
24	花壇など、とてもきれいだと思うが、一部の人たちがやっている感じがする。
25	自治会は老人会。カラオケ、旅行、飲み会と意味のない集まり。コロナに対する危機感もなく集まっている。必要なのは子どもの見守り、登下校、独居老人の安否確認のみ。
26	形式的になっており、若者が入りにくい。
27	担い手が少なく、関心のない方が多い様な気がする。
28	関心がわくような方法があれば良いと思う。
29	若い人や新しい市民へのPRに力を入れてほしい。
30	もっと各団体や自治会の活動内容を「広報えべつ」や文化、スポーツなど分野別にでも取組状況をPRして、活動が発展していくようにしていただきたい。

31	自治会の活動内容(茶話会、バス旅行など、あまり参加しようと思わない)、自治会費の使い方、役員。(持ち回りなので行っている。)
32	ホームページや広報誌だけでは効果的ではない。
33	どういった場面でPRしているのか知らない。ホームページでPRしていたとしても、興味がない人はそれすら見ないと思う。
34	アパートだと自治会の案内が来ないので、入るきっかけがない。
35	出前講座を自治会に提案したほうがよい。
36	回覧板で回ってくるのが遅すぎて間に合わないことがある。活動の内容や時間が働いていたり子育てしてる人には参加できなかったりする。
37	自治会単体でも広報が少なく自治会離れがある。市活団はもっと存在が知られていない。
38	自分の居る地域では自治会を脱退する世帯が増えている。
39	自治会等の未加入者に対し、参加できるよう何か方法がないだろうか。
40	現在、市内で自治会に参加していない地域を情報公開してほしい。
41	自治会活動でも一部の人しか参加すればいいと考えていると思います。いかに多くの方に参加していただくのにどうしたら良いか、そこが感じられません。年寄りが多い社会です。宜しくお願いします。
42	祭りもなくなってしまい市民活動の場がない。
43	自治会の活動が活動することが目的化してしまい、何のためやるのが欠如しているものが多くあります。前年もやったから、市から助成金がでるからという理由になっている活動が多く、結果参加が役員の中になっているものが多数あると思います。
44	トラブルの方が多く見直し時期である。
45	近隣に迷惑をかける生活環境の市民が多いのも、活動が行き渡っていないということでありましょう。
46	「思う」と答えるほどの情報をもっていない。
47	まったく知らない。
48	わからない。

●選択なし

1	市民活動団体についてあまり関心なく生活している。
2	情報を見落としているんだと思います。
3	自治活動を色々やっていただいていることは知っているし、区長等もやったことはあるが、効果的かどうかは疑問。
4	自治会は回覧板がきて内容は分かるが、市民活動団体は何なのかも分からない。
5	活動内容について積極的にアピールすべきである。
6	参加した事がないためよく分からない。
7	「効果的にPR」の意味が分からない。
8	わからない。

問27 市民の防災・減災意識の向上や災害弱者への支援について、自治会等との連携が図られていると思いますか。

●思う

1	防災訓練・講話等でお世話になっている。
2	江別は災害の少ない街だから、みんなのんきにしている。江別市が頼りです。
3	6～7年前に団地ボヤさわぎがあった際、体の不自由な夫が家にいましたが、消防署の人が5階まで来てくれて介護して頂きました。
4	最近地震や災害が増えてから意識は高まっていると思うが、いざという場面での対応はまだまだと思います。
5	市からお手紙をいただいて災害等の避難所などの登録等の手続きをしていますが、市に感謝しています。

●思わない

1	まったく思わない。何をしているのかみえない。
2	防災の活動がなされていない。
3	自治会との連携とはどのようなことかわからない。
4	何も働きかけがないので災害時が不安。
5	何事も末端まで下りてこないのかわからない。
6	十分とは思われない。一部の市民にかざられている。
7	充分でない。きめこまさがない。(豊幌地区在住ですが情報が伝わっていない。)
8	具体的にどんな活動がなされているかわからない。
9	市等からのアラートは頻繁にきますが、防災意識を高めるための自治会等との連携とのつながりは感じられない。



10	自治会が支援していると感じたことが全くない。
11	特に地震災害(厚真)に伴うブラックアウトの体験以来、防災、減災に関しての意識が高まりつつあると思う。しかし、災害弱者への支援については多くの課題がある。
12	災害後、取り組み方、体制整備など、どの位向上したのだろうか。自治会広報で結果を知りたい。
13	江別は災害の少ない街なのか、意識向上のための教育や支援がどのくらい行われているのだろうか？
14	身近で災害が少ないので関心が薄い。(とてもいけないことですな。)
15	江別市は危機管理・防災に関する事例が過去から(少なくとも私が住居してからですが)直面したことがないため。(※現在のコロナ禍は江別市だけの問題でない。)
16	まちづくりのお知らせはよく届きますが、町内としての防災に関する訓練や勉強会などのお知らせは見たことがない気がします。
17	現在、災害発生に対し、うちの自治会では具体的に理解されていない。
18	自治会活動に参加しているが、住民の意識が低いと思う。
19	自治会がどのような防災対策を行っているのかわからないため。
20	防災意識向上の施策や実施回数が少ないと思う。自治会等を通じて、意見の吸い上げ向上が必要と思う。
21	自治会への依頼は何も来ない。
22	市と市民の情報の共有ができていないと思わないため。
23	市長→自治会→市民の流れがわからない。
24	自治会に丸投げしていると思われることがあった。
25	2018年9月の地震の際、自治会の方々との交流はあったが、その中で市からの要請や支援について何も話題にならなかった。ホームページを見たが有益な情報もなく、自治会に対しても何も指示・要請がなかった。
26	アパートで個人で自治会に加入していないため、自治会の情報は入ってきません。
27	アパートは居住者の自治会不参加、管理会社が主な運営で大家さんが表に出てこない。マンションは1棟内のコミュニケーションはあるが、棟外のつながりが薄い。
28	自治会が機能してるとは思わない。
29	役員だけの参加になっていると思う。
30	自治会が頼りであるが、あまり積極的な動きが見えない。
31	うちの自治会はあまり活動がない。しかしそれでいい。その方が助かる。
32	そもそも自治会がない。
33	イベントや広報によって防災意識はあると思うが、災害弱者への支援については分かっていない。
34	具体的に示したほうが分かりやすいのではないか。危機管理の情報をスピーディーに知らせられる手配を行えると良い。(メール配信やSNSの活用など。)
35	災害のときに車で回ってきても分からない。家の中にいたら聞こえない。防災無線などがあるとよい。
36	自分の避難場所だけはわかるが、他の市町村のようにもっとわかりやすくしたらよいのでは？胆振東部地震のとき情報が無くとても困った。
37	2018年のブラックアウトのとき何かしてくれましたか？病院勤務でしたが、市役所や市長からの援助・発信はゼロでした。管理監督者がその程度で、自治会に何を期待するの？コロナ対策についても同様、コロナは災害ですよ。
38	胆振東部地震の際、停電と飲み水不足で大変な思いをしたので、飲み水などの情報をいち早くラジオ等で流してほしい。
39	新型コロナウイルス対策不足。
40	他都市と比べて市の防犯体制は弱いと感じます。地域住民ととことんまで話し合い、自分たちは何をすべきか、市は必要とされるものを効果的に地域単位に備えること(現在は備蓄もなく)を検討してほしい。
41	自治会の動きを感じない。広報などで情報しかない。断水のときも自治会から連絡はなかった。個人の情報でしかなく不安。
42	机上の組織体制や支援体制が作成されていても、災害発生時にその通り機能発揮できるか疑問である。また、災害時の設備や物資の備蓄が十分か不安である。
43	市内で自然災害発生の際、状況を市民にどのように周知するのか。マスメディアに依存するのではなく、市独自の広報手段はあるのか。
44	具体的な説明会を地区で増やす必要を感じる。一方通行だ。
45	自治会に参加している人が少なすぎる。明日は我が身という気持ちが皆なさすぎるので、学校等で実際に被害に遭った人たちの話をしたら良いのではないかと。子供から発信。いつかはその子が大人になるので。
46	今も十分なされているとは思いますが、小さな子どもたちにも防災意識を高めるため、うるさいくらい発信を続けてほしい。私たち大人も努力したいと思う。これらが弱者への支援につながると思う。
47	災害はいつ起こるかかわからないため、地域や学校と連携して自分達ができることは何かを考える必要があると思う。子供であっても自分の出来ることを考えている。高齢者であっても出来ることはあると思います。小さな力を大きな力へ変える事が大切だと思います。

48	避難場所は自分で確認しているが、その避難先の備蓄状況や避難所設置の方法等は周辺市民で情報共有できるとよい。そのような取り組みがあるのかもしれないが、知らない。
49	個人情報のため、自治会と個々の連携は取りづらい。
50	個人情報の関係から自治会でも災害弱者を把握できていない。そこまでの付き合いもない。
51	個人情報もあるが、自治会に独居老人が何人いて、災害時どのような協力をすればよいか伝わっていない。
52	文教地区は地理的な関係上、札幌市および厚別区からもたらされる情報が大きく、江別市からの連携や共有の利益はない。
53	ただ回覧が回ってくるだけで、どうすればよいのか分からない。数年前の断水の時、情報が一部にしか伝わらないのでムカついた。江別は何でも遅すぎて、中間層のことは置いてけぼりの市だと思ってしまう。
54	緊急事態なのに行政から情報が中々入ってこないの、どう行動に移せばいいのかわからず困り、心細い思いをさせられた。その後も何の状況のお知らせもなかった。
55	インターネットを使っていない高齢者に、ハザードマップ等が配布されていないと思います。
56	地区、地区のわかりやすいマップが必要。
57	災害時にどうすれば良いかよく分からない。
58	実際に災害が発生したとき、周知徹底されていないため不安がある。マニュアル等がない。
59	避難場所がここにあるとの知らせは目にするが、自分がどこに行くかよいのかわからない。
60	防災安心マップの避難所までどうやって行くのか、と思ってしまう。
61	車のない人はどうするのか。
62	防災、災害時におけるニーズの共有と、人的保障のあり方を自治会と常に情報交換を行い、どう初動体制を整えるかが出来ると良いと思う。これからの高齢者、独居世帯が増えていくことを考えると。
63	市の対応が不十分だと思います。消防署が行う講習会に参加しましたが、地域の防災組織からの説明が不十分に思います。災害時のことは大変不安です。
64	2018年9月の停電断水時は情報が少なく生活が大変でした。厚別区の友人に助けられました。江別市民なので江別市に助けられたかったです。
65	過去に水、電気の停止があった時、何の対応も無かった。
66	災害が少ない為、訓練は行なう事は出来るが遊び的になりやすい。他の災害時にボランティアで行かせるべき。
67	新しい自治会は以前その地区がどういう土地だったか知らずに住んでいる人が多いので、災害の歴史も知ってもらった方がいい。
68	引っ越してきた住民が多いため連携がない。昔の災害も知らないしどんな災害が予想されるかも知らないのが多い。
69	防災はこれからの課題だと思います。大きな川のそばに生活する私達ですが、過去の地震や水害時、市の対応がすみずみまで届いていたとは思えません。何の連絡もなかった。
70	防災センターは無駄。建物は何の意味も無い。
71	地震の時、寝たきりの家族がいましたが、サポートがなかった。実際に困っていなかったが、存在を知られていないのかと不安になった。
72	コロナで大変な時に市民の意見が通らなければ本末転倒。市立病院を札幌のように、札幌に通わなくて良いように充実させなければ江別に住みたいと思わず札幌に転居を考えてしまう。これから未来におこる事を事前に先手を打つ姿勢がまったくない。後手で遅すぎる。
73	近年、災害が多くなっており、防災の訓練や市で取り組んでいることを公開し、対応できるよう危機管理できることが必要。
74	災害弱者がいますが、不安しかありません。コロナに関しても同じです。家族が感染したらどうなるか不安です。地震などが起きても。
75	2018年の地震、停電時、独居高齢者が孤立したから。市や自治会は何もしてくれなかった。
76	そもそも市の職員の意識が低い。コロナでもマスクを着けていない。
77	ブラックアウトの時、市役所でスマホの充電をさせてくれなかった。
78	今回のコロナの件で、市、市長、教育委員会は何もしてくれなくてがっかりした。
79	断水を事前に分からなかった。
80	外灯が少ない地域がある。(豊幌など。)
81	地震の時揺れがおさまった後、となり近所に声かけて安否を確認したが、一番近い団体の自治会から何の確認もなかった。けがとかもしていなかったので良かったが、連携がとれていなかった。
82	自治会でできていると思いますが、自分で守るしかないと思います。
83	自治会そのものの結束が出来ていないから、連携しようにも出来ない。都市化現象だから仕方がない。
84	実際に災害が起きてみなければわからない。
85	「思う」と答えるほどの情報をもっていないから。
86	知らない。
87	わからない。

●選択なし

1	自治会活動をしていないので答えようがない。
2	どちらとも言えない。今回のコロナに関する情報や注意事項等、もっとあっても良いと思いました。広報や回覧などでも、もっと早急に、大きく取り上げてほしかった。市からの情報が少なすぎました。第一に取り上げるべきかと思いました。
3	個人のプライバシーの問題もあるが居住区内の災害弱者の存在が分からず有事に支援できるかわからない。
4	プライバシーも有り、どういう助けを求めているのかが不明で、どのような支援をして良いのかわからない。
5	わからない。

問28 自治基本条例の解説書に、住民投票や直接選挙の制度について、分かりやすく記載されていると思いますか。

●思う

1	入院時の夫にも選挙の際、手配して頂きました。
2	年齢とともに自分のことばかりしか考えていないが、若い人は住民投票等について積極的になってほしいと思います。
3	その都度条例で定めることは初めて知りました。
4	自治会として共通理解不足に思う。

●思わない

1	表現がむずかしく、わかりにくい。
2	文書を簡潔に！プロが読む文章ではない。
3	もう少し整理した解説をお願いします。
4	一度読んだだけではよく分からなかった。
5	カタカナ文字に日本語で示してほしい。
6	地方自治法の内容を書いているだけ。
7	実現性が感じられない。
8	読んだことがないから分からない。
9	重要事項がどういった事項なのか具体的に書いたほうがよいと思う。
10	重要事項の定義が分からない。(判断の手続きは誰が?)
11	別の条例とは?
12	住民投票を今まで実施したことありましたか? 国政選挙以外に記憶にないのだが。
13	住民投票の実績があるのであれば、概要を記載したらよいと思う。
14	住民投票? 意見を書いたが尊重されているとは思えず、結局市の偉い人の利益のためでは?
15	住民投票など一度も実施したことがないから。
16	住民投票、直接選挙は必要。小生、選挙運動11回経験したが、そろそろ戦後のすべてのシステムが現在マッチングしているか疑問。住民、国民は痛感してきている。特に今回のコロナウイルスの件が矛盾を露呈された。
17	漠然としていて分からない。住民投票そのもののイメージがつかめない。利害関係者しか参加しないのではないか
18	市議会議員の方々は、何をしていますのですか。本当に全員働いていますか。よく見える方法(行動・費用)を検討してほしい
19	その必要があるときには分かることがあると思います。
20	道内・道外の他市の具体例を知りたい。
21	この街への情報があまり知らないのでも少しずつ知ることが必要だと思うのでがんばります。
22	「思う」と答えるほどの情報をもっていないから。
23	わからない。

●選択なし

1	長くて読むのが大変だった。
2	抽象的過ぎるような感じもしますが・・・。
3	自治基本条例の解説書を見たことがない。(このアンケートに答えてから解説書を見た。)
4	どちらとも言えない。
5	わからない。

**記述式の設定**（※内容が重複する回答、設問と無関係の回答は記載を省略しています。）

問18 条例第24条「市民参加の推進」の条文について、ご意見があれば記入願います。

1	良い理念だと思います。
2	市民参加の機会が、いつ、どのようにして行われているか、何らかの方法で情報公開の必要があると思う。
3	全てが抽象的でわかりづらい。
4	条文は立派だが、新聞にチラシ等を入れて世論調査的な方法で、“Yes・No”的な簡単なもので市民参加方法を研究してほしい。
5	市民の考えを反映するために、取組事例、パブリックコメント実施、アンケート調査実施をした結果、どうなったかを知りたい。（どういう意見があり、具体的にどうしたか等。）
6	今回同封いただいた「江別市自治基本条例」は一般の人が読みますか？自治会の役員でも全部は知らないと思います。量も多いし、絵もないし、もっと市民の目線に合わせるべきだと思います。（動画で配信とか。）
7	自治会の活動を利用して参加の推進をするとよい。
8	成人年代別の考え、意見の集約。
9	都市化が進み人間関係が薄くなっていること、高齢化によって参加できない人も多くなっている。今後ますます市民参加は困難になると思われます。市役所と市議会議員の役割が大きく、多くなると思います。
10	現状の打開策を小規模の意見交換及び交流の場を設ける等、提案・検討願いたく。皆の意見を聴く場を班ごとに年1回開催をしてはどうか。
11	言葉ひとつひとつが難しすぎて理解するのに時間がかかるばかりか、理解できないようにしているのでは？（そうなると、市民はどうでもよくなり、任せるしかなくなる。）と思ってしまう。わかりやすい言葉を使ってください。
12	ホームページで知りたいときに知りたい情報を載せる。また、現役世帯は平日の日中に時間を取れることが少ないため、子どもが参加できるイベントに合わせてPR等があればありがたい。
13	市長等に商業分野の名がみえないこと。
14	インターネットの時代なので、パソコンや携帯電話から意見を聴く仕組みをつくり、広範囲の意見を集める必要がある。
15	参加することに異論はないが、もっと情報を取得しやすくしてほしい。
16	協働について、大学生、高校生との活動を目にすることはありますが、もっと幅広いジャンルや年代との協働があれば、市民も興味を持ち、人との繋がりにより広く知られ、有効に活用されると思います。市民一人ひとりが活躍できるイメージで、新しい発想に期待します。
17	解説の「まちづくりの主体は市民であり、自ら考え行動すること」その通りと考えます。私も少し若ければ積極的に参加したいのですが、陰ながら応援参加したいと思っています。
18	やはり一般市民にはとてもむずかしく思います。
19	いろいろな意見を組み込む事は大変な作業が必要ですが、10年先30年先を見越した「まちづくり」が次の世代に生きることです。
20	広く市民の声をきくと書いてあるが、意見を言える場所など知らない人がたくさんいると思う。
21	条文の問題ではない。
22	立派な「市民参加の推進」条文と思いました。温かくて、作った方の思いがまとめられた条例、条文と思いました。
23	文言は良く出来ています。
24	基本条例なので簡素な組み立てになることは否めないが、江別市独自性が見られない。必要事項は別に定めるとしてもスローガンにインパクトがない。
25	条文としては立派であるが、自治基本条例の存在自体の周知が出来ていない。
26	カタカナは×。
27	市民全ての人を対象という印象を持てたので良いと思います。
28	江別市の魅力って何ですか？何を目指しているの？江別市民で良かったと思えるようにならないと市民は参加しないと思います。
29	公募しても自主応募が少ないと思われるので市の選択となることが多いと思う。この場合、集約時間や事務方の労力を勘案すれば、参加経験者や特定のグループに片寄ることが多く、初参加者が意見を述べる機会が制約される。メンバー選定は募集の苦労はわかるが、もう少し工夫が必要と思います。
30	正直に何も無い。障害交付持ちではない障害持ちの人も考えて頂けるのなら何も言わない。差別もされてきたのでなるべく努力はしているが、交付持ちではない障害持ちなのでクビにされたりとかはしたくない。
31	市民参加の年代の割合がかたよらないようにというところも意識されると良いと思います。
32	今の所は自分が参加してるとは思えない。
33	意見箱に入れた内容に100%返信、市民の意見は議会にも反映させること。市長や教育長、市議から直接意見に返信させること。広くSNSを活用し、参画しやすくする。議会議案を事前周知、報告するスピード感。

34	生活していて、不便や希望(除雪・排雪・ゴミ箱設置(カラス対策)・住宅前の舗装・「四季の道」等の整備 etc)は多々あるが、思っているだけで行動にはならない。(すぐ実現にはならない。)
35	働き盛りの若者や子育て中の人とはとにかく時間がありません。事務的には今までと同じようなPRをしていても参加人数は増えていかないと思います。駅やスーパー等の人々が立ち寄る場所に告知を貼る等、興味がない人でも目に付くようにすると良いのではないかと思います。
36	市職員の皆様は、我々の見えないところで大変苦勞されているのですが、その苦勞が分からない。年に一度でもよいから自治会の集まりに出席してもらい、身近な要望を聞いてほしい。市の出席者は役職者でなくても新入りでも良い。(将来のためにも。)
37	条例は素晴らしいことを言っているけど、実際はそこまで市民参加は十分ではないと思う。
38	当然のことが書かれている様に思います。
39	「まちづくり」の案がある場合、市民にアンケート等を実施するとかをしたほうがよい。たとえば、野幌駅(JR)の設計等。野幌駅(JR)北口は、自動車の動線等、不便である。
40	若い人が多く興味を持つこと。財政の問題もあると思うが、東京都とか札幌市などのように、大企業が集中しているようなところは財政にゆとりがあるが、地方都市町村などの財政的な余裕がないところは、100年に一度位の今回の新型コロナの災害にも対策にばらつきがあり、これは国が責任をもって対策を練ってほしい。アンケートとは別のことで失礼とは思いますが・・・。
41	私は、家に引きこもっています。病気もあって外の事に参加をしないで長いこと経っています。条例などを読んでも他人事のように感じたり、特には参加しない自分に情けなく思っています。
42	市民の意見を適切に反映されるようにと書いていますが・・・。江別は住みやすいが、病気になると安心して行ける病院がない！どうしても札幌の病院を頼ってしまう。江別で救急車に乗るのが怖い。(知り合いは「倒れるなら札幌だね」と言っていました。どうかにかしてほしいです。)
43	3項に職業の記載があってもよいのではないかと思います。
44	第4項の仕組みづくりに努めることが記述されているので、その具体的な仕組みをわかりやすく説明していただければありがたいです。
45	24条の5項で別に定める条例とは、どれを指しているのかわからない。
46	別に条例を定めるのではなく、この24条に書き込んだ方がよいのではないですか。そんなところ変わるものではないのだから。
47	条文について別にないが、解説がややこしくしている。
48	市民参加は必要ですが、市の関係者がある程度の骨子を作成し、たたき台を基に意見交換をし、身近な条例に作り上げていく方法がよいかと思います。
49	市民の意見ばかりでは迎合してしまうし混乱を生じるので、リーダーシップで決定すべき物は市長が決定する。(江戸幕末、鎖国を解除するか否かで各大名の意見を求めたが、これが幕府に政権能力がないと判断された一因である。)
50	市内をいくつかエリア分けして、年一回、市長と市民との意見交換できる場を設けて欲しい。
51	「自ら考え、行動すること」難しいと思う。取り組み事例とあるが、市民に届いていないと思う。しっかり宣伝してください。
52	関心を持たせる。推進しているかよく知らない。高齢者にホームページはなじまない。
53	若年層への周知と参加が広がればよいと思います。
54	もっと若い世代、子どもからの意見を反映してもらい、年寄りには足がない、動けない老人を大切にしたい。病院の行き来のバスがないのにまちづくりの話をしている場合か分からない。市民を大切にしたい。
55	老いた人達の市民参加は、講話やレジャーは参加したいけど、バス賃は高い、歩いては行けない！そのときはどうするのか？そういうことを考えて欲しい。今回のコロナで身動きできない人達はコロナが終息したときは・・・楽しみに待っていますよ！
56	市職員の江別在住が先。
57	これから詳しく考えたいと思います。
58	特になし。興味がない。
59	全く分かりません。

問26 条例第25条「市民協働の推進」の条文について、ご意見があれば記入願います。

1	妥当だと思う。
2	これを機会にPR誌を読んでみようと思う。
3	理想と現実の差。
4	全てが抽象的でわかりづらい。
5	この条例には内容がない。必要な事項を書き込んで初めて意見が出てくるのではないですか？
6	条例ならもっと具体的でよいのではと思う。
7	条文の問題ではない。
8	今回同封いただいた「江別市自治基本条例」は一般の人が読みますか？自治会の役員でも全部は知らないと思います。量も多いし、絵もないし、もっと市民の目線に合わせるべきだと思います。(動画で配信とか。)

9	自助、互助、公助をもっと訴えたほうがいいと思う。
10	先立つものは金である。
11	どこで何を推進しているのかわからない。
12	協働が何を指すのか具体例行動の解説が欲しい。
13	市が主催して市民に参加を呼びかけなければ参加できない。具体的な案内が必要に思います。
14	自治会も高齢化しているようで、若い人が気軽に参加できるようになれば良いと思います。自治会館なども特定の人たちのみが利用しています。若い人たちが子どもや友人と気軽に参加することから、担い手育成の一步が始まるのではないかと思います。
15	内容は適正だと思う。我々自治会員がいかに関心を持つかだ。
16	大変すばらしい条例と思っています。各自治会に積極的にPRして下さい。
17	市民協働のハブ役として自治会は欠かせないものと考え、橋渡し役であることを明文化されていると良い。
18	各自治会活動の停滞が見られます。市役所職員を各自治会担当アドバイザーとして任命してはどうか。謝礼は自治会で負担可能。自治会の活性化を望みます。
19	毎年別の人が地域の役員になるように決めたら良いと思います。順番に回るとははじめから決まっていれば仕方ないとなるのでは。
20	自治会の役員の順番が強制的に回ってくる。できない役職もある。
21	参加できない事もあります。③のとおりにも不利益を受けないことを希望。
22	知ってはいるが、参加に至っていない。
23	年を取り、興味がなくなりつつあり、新型コロナウイルスが早く終焉してほしいと願っているばかりです。
24	高齢者の視点を尊重した環境作りが不可欠です。
25	市職員の江別在住が先。
26	わからない。

問33 今後の江別市における市民自治、市民参加、市民協働、自治基本条例の内容など、まちづくりを進めるうえで、ご意見があれば記入願います。

1. 自治基本条例(情報共有)	
1	今回、このアンケートがなければ知らないままでした。広く知ってもらえるよう、情報を提供していただければありがたいし、すてきな江別市になると思います。
2	広報等で積極的にPRしてください。
3	広報えべつでしか情報を得ていなかったと反省しました。これからはホームページもチェックしますので、解りやすさを全面にお願いします。
4	インターネットやSNSをもっともっと活用したほうがいいと思う。
5	全般的に知らない事が多いので、回覧板や広報えべつで分かりやすく説明(解説)していったほうが良い。具体的な事例も示して説明すると、どのような事ができるかが分かると思う。
6	市民というか、上の方々だけで考えていることのように、一般の方々に色々なことが伝わっていないように感じる。
7	内容などよく知らないので、問いに答えることができない。
8	リーフレットは短い言葉で見やすく作られているが、写真が多く使われているので、今回のアンケートの際にも「カラー」で印刷されたものがあればより良い。また、せつかつなので厚い紙で保存版にすると良いと思った。
9	今回のコロナウイルスに対する江別市の発信の遅いこと！とくに知っている情報を病院にFAXしてくるのも紙の無駄。せめて自治会の集まりを中止させるくらいの発信できませんか？
10	今回のコロナ感染は誰もが不安に思い過ぎていると思う。このようなときにこそ、広報誌等で市からの情報が欲されていると思う。そうでなければ、市民はその必要性を感じないものです。その時の一番の関心事に沿う対応を望んでいると思います。
11	このアンケートがあるまで、こういったことに関心もなく、知らないことばかりで良い機会となりました。特に、独身者でふだん仕事をしていると、市との関わりがなかなかないので、そういった人に向けた発信が少ないのではないかと思います。高齢者はインターネットを使わない人もいますので、そういった人たちにもリアルタイムで発信できる方法等もあれば良いと思います。
12	ホームページを充実させてください。また、子どもを含むイベント活動を通じた意見の集約をぜひお願いします。
13	情報をもっと気軽に得られるようになれば良いと思う。
14	何をどう見て参加をするのか、そのあたりがよく分かっていないので、そういった情報を得るにはどうしたらよいか。活動の内容も知りたいので、活動報告の知り方も分かりやすくしてほしい。
15	江別市生涯活躍のまち構想を市をあげてPRに努め、共生のまちの実現を目指してください。計画の進捗状況を広報えべつやホームページを通して市民に発信してください。
16	もっと冊子やパンフレットを活用して欲しい。ホームページを見れない人やパソコンやスマホを持っていない人のために、ポストに投函して欲しい。
17	我が家にはPCがありませんのでホームページなどは見れません。二人で国民年金で細々と暮らしております。

18	条例の目的が達成されているかアンケートで調査するのもいいですが、それより自治会レベルで魅力的な活動案を市民に調査し（意見をもらい）、活動内容を広報えべつで特集するなどの方が興味があります。
19	良くわからない事ばかりですが、もっとわかりやすく噛み砕いた内容を市民の身近に接して頂ければ興味もわくのではないかと思います。
20	情報があまり行き届いていないと思う。
21	情報提供の方法を考えてほしいです。広報やHPは結局どこでもやっているが、必要がなければ見ないと思います。生活の一部として目に入ってくるしくみがあれば…難しいですね、スママセン。
22	転入して来ましたが、その時に江別自治基本条例のわかりやすい説明パンフ等がほしいです。（もし渡しているのであれば申し訳ありません。）
23	もっと興味もてる工夫をおねがいします。
24	老人には書いている内容が分かりません。分かりやすくお願いします。
25	今回のコロナや水害、地震など災害の時どうしたら良いか、年寄り子供にも分かりやすい様に具体的に小冊子を発行してほしいと思います。（コロナで引きこもっていると、ボケが進行してきたなど実感しています。市のせいではないのですが。）
26	十分に周知して下さい。
27	このアンケートで知ることが多く、ひとつのPRの手段として有効だと感じました。条例など堅苦しいイメージでしたが、解説もあるとわかりやすかったです。まちの中で目にする機会が増えれば感心も増えると思います。
28	わかりやすい文章、長文にしない、横文字を避ける。
29	もう少しPRしてもよいと思う。（広報誌チラシ等）
30	もっとカリスマ性のある人が上に立てば良いと思います。何でもやっとしていて、後で「こんなことしていたんだ」と新聞で知る。TVも新聞もあまり見る事がないので、もっと広報車などでアピールし、用紙を配ってまわるなどしたら良い。
31	昨年7月に江別市に転入しました。仕事をしているため、自分の住んでいる所にもかわらず（職場は札幌）知らない事がたくさんあります。車で行動することがほとんどの為、自宅以外の場所で江別市に関する事を目にする事はほぼないです。
32	PRをもう少し工夫して市民に周知できるようにして頂けると助かります。
33	江別市として独自性をさらに追求すべきである。居住地は江別、勤務地は札幌としている身としては、居住地の江別にさらに魅力を実感できるよう情報発信、市としてのPRをより積極的にお願いしたい。
34	今回、自治基本条例等についてのアンケート調査をするに至り、初めて内容を熟読する機会を得た次第です。正直、江別市民ひとりひとりが「江別市自治基本条例」等を目にすることがあるのだろうか…、また、内容を把握出来ている人がどれほどいるだろう、と疑問に思います。市民個人がこれを知らなくても日常生活において影響することはないものと思われそうですが、しかし今一度周知周知すべきではと考えます。平成25年12月発行の「江別市暮らしの便利帳」保存版の前文にでも編集されていたら、各家庭に便利帳部分同様に活かされると思います。
35	今後まちづくりに関する情報発信をお願いします。
36	もっと市民の目に入る様に、知る様にPR（パンフレット、チラシ、配布…等）をして欲しいです。
37	誰もが多く利用する駅構内に、まちづくり関係と設置した方が目につくと思う。
38	アフターコロナを見据えてインターネットを活用したものに変更していく必要があります。
39	この条例を市民に知らず、周知する必要があるのであれば、項目（お題目）だけでなく、ある程度、具体的な事項を網羅する工夫が必要だと思います。
40	年齢を重ねる度に市民参加の機会も少なくなり行動範囲もせばまっています。市の情報を多く出していただき協力できる事に目を向けていきたいと思っています。「広報えべつ」に期待しています。
41	誰もが読んで即、理解できる条例であって欲しい。市のインターネットで情報を得るためのパソコンの使い方も図で表してはどうか。（初めてやる人の気持ちで！）みんなが知っているだろうと使う「カタカナ」は充分検討して使うべき。（または漢字で表記する等、大衆を相手にする気持ちが必要！）
42	今回この様な形で個別に届き、初めて知るものもありました。なかなか全体的にだと流してしまっています。個別にだと私でも見ますので、このような手段はよいと思います。
43	これからはより高齢者が増え、働き世代はより一層頑張らないといけないです。担い手である若者達が市で長いこと住めるようなまちづくりにしていくためにも、「江別市のPR活動」や今回初めて知った「江別市自治基本条例」という立派な冊子があるということを知らせていくのも江別市の役割かと思っています。
44	カタカナ用語を日本語で。
45	このアンケートの回答にあたり、知らないことが多すぎて「思う」「思わない」では答えられないことがたくさんありました…すみません。家に広報は届かないので、まちづくりどころか市政に触れることも全くない生活です。ホームページは必要なところしか見ません。道の広報誌はポストに入っているの、見出しや興味がある記事は読みます。（公共施設にあるインパクトのあるパンフレット等は手に取って見えています。）まずは情報に触れることの少ない人へのPRが必要だと思います。
46	市民が知りえることは市広報や議会だより等が多いですが、最も必要なのは発信するタイミングです。今般は特に私立病院の赤字問題です。この様な、16億円以上もの一般会計から貸し付けていて返済不可能な状態をもっと早く市民に知らしめ、情報を共有して早期に対策をとるべきだったと思います。限られた委員会でも多くの市民（11万都市）の声を聴くのが遅すぎました。

2. 自治基本条例(市民協働)	
47	暮らしやすい街ではあると思います。生まれ育った街なので、もっともっと発展してほしい反面、市民参加や協働など自分とは無縁と思っています。きっかけやインパクトが必要です。
48	江別市民として、江別市に住んでいて良かったと思えるようなまちづくりを、条例にとられることなく自由に市民が参加、協働できるよう、仕組みづくりが必要だと思います。
49	同じ街に住んでいるので、みんな思いやりの気持ち！ほとんどの人がこの気持ちだが、時間や心のゆとりがないとなかなか出来ない…。子供が大きくなったら、いろんな余裕ができて、やってみようかなって思えるような気がします。
50	高齢化が進んで市民参加、協働は難しい。市職員も就労年齢が高くなってくと思う。基幹産業を育て、裕福な”まちづくり”を作してほしい。市営の場所で高齢者が働けたら(アルバイト)…という市民参加の方法もあり。
51	個人が積極的に市民参加団体に入って活動することは、自分にとってとてもハードルが高い。あれもこれもと要望はあっても、命に関わる訳でもないし、とか、そういう事に一生懸命やってくれている方々(団体)にお願いおまかせしているのが現実です。何より、具体的な実績を知りたいと思う。アンケートに答えられない所が多々あり、大変申し訳なく思っています。
52	今年はコロナが原因で江別市内の夏祭り、やきもの市、鳴子踊りなどの行事が中止になったのですが、市内各地域の交流を深めるため、江別市も後援・助成など十分に手を差し伸べてまちづくりに努めてほしい。特に、多くの大学を抱える市として、学生たちとの協力、若い人たちの新しい発想を大いに活用されんことを祈念します。
53	江別市民は札幌市民だと勘違いしている人が多い。江別の行事に参加し、札幌の行事にも参加して活動の幅を広げて、明るい江別をつくりましょう。
54	自治会の意見をもっと重要視したほうが良いと思う。
55	高齢者の世帯が多くなりました。民生委員の活動がなされていないように思います。市民協働の効果が見えるようになることを願っております。
56	大きな一歩も小さな一歩から。
57	自治会役員等が高齢化し、若年層への参加呼びかけが必要と感じています。
58	市民自治という点では、自治会活動が必要だと思います。自治会未加入の市民はいないのでしょうか。自治会は法律では規定されていない組織なので難しいことです。市の条例で位置づけを明確にすることはできないのでしょうか。また、市は自治会を市政の下請け組織としてはいけないのですが、行政としても重要なのだと思います。
59	自分自身が活動することはなかなか難しいですが、道外・道内から4大学に集まっている学生に色々な場で活躍してほしいと思います。
60	がんばってください！
61	札幌のベッドタウンであるため、江別市民の意識は低いと思います。そのため、江別のことを”知らない”ことが問題だと感じました。これからの時代、市民協働は重要だと思います。より広く住民に広がることを祈ります。
62	夢のある若い方の意見を多くお聞きしたほうが良いかと思えます。
63	新しい市民が増えていて、また、学生など若い方が多いのが江別市の将来を担う貴重な財産です。この方々を大事に育て、市民参加を促すとともに、これらの方々への行政サービスの向上に努力してほしい。
64	新しく江別市民になった方々に基本条例等を渡していますか？問24にあった「育成」を小中学校から教育をお願いしたい。自治基本条例&協働について。そうすると、市・道・国・市民・道民・国民のために志の高い青少年が育つと思います。江別市を文化・教養・「育成」の街にしていきたい。
65	自治基本条例の条文を初めて目にしました。もっとこの条例を行き届いたものにした方がよいと思います。一人ひとりが自覚できるようにしたら良いと思います。
66	昔の隣組のような関係がなく、共通理解が希薄なため、大切な基本条例ですが、一人ひとりが深い関心でつながらないように思います。もっと自治会の活躍などで理解を深めたいものです。
67	江別市で生まれ育ち住みよい街です。公の仕事、自治会の仕事を下さる方々には頭が下がります。私的ですが持病があり、目が悪く30年前は自治会の仕事をしましたのでありがたみがわかります。皆様お身体に気をつけられまして活動をよろしく願い致します。
68	高齢化問題が自治会活動のあり方にも影響している。昔と同じ自治会活動は無理。必要としない。60代すぎても働いているし、個々の活動があるから。回覧物多すぎ。地域の花壇は業務委託でシルバー人材活用してはどうか？
69	江別市内の企業ともっと連携を強めてほしいです。
70	このアンケートが届かなければ今後も理解しようとする事はなかったと思います。皆さんがどの程度周知されてるか分かりませんが、江別がもっと住みやすい市になり、生活も豊かになるよう市民参加等できる事があれば取り組みたいと思いました。
71	他市と比較して、江別市は積極性に欠けている。隣接に札幌という大都市があるためか？大胆な発想で集客に伴う魅力あるまちにしてこそ市民参画や協働等の活動に多くの市民が参画しやすくなる。
72	折角の機会でしたので関心を持つよう努めます。



73	「まちづくりに関する自分の考えを市に提案」とパンフレットに載っていたが、どのような方法で提案するのか？パブリックコメントのみなのか？自分の住んでいる地域の市の空き地利用で様々なうわさがあるが、市が進めようとしている段階で近隣地域に情報を出し、意見を聞いて市民と協働でまちづくりをしてほしい。
74	自分の自治会の事を本気で関心を持っている人がどのくらいいるのか？私もその1人かもしれない。人生の終末期を迎え、廻りの事に参加しなければいけないかと思ひ始めています。
75	江別市民年数が少なくお役に立てずすみません。
76	「自治基本条例」はとても大事な物だと思う。しかし内容がしっかり理解されなければ実のあるものとはならないだろう。これまで地方自治は行政依存のような傾向があったので、市民がどう主体性をもつかが課題のような気がする。あと、前文の「屯田兵らによって開拓され」の部分は解説にありましたが、やはり違和感があって「屯田兵」はそぐわないと思う。
77	同じ江別に住んでいて、街が変われば私にはまったく知らないことがいっぱいあります。前に住んでいたところが40年、そして引っ越して6ヶ月ですが、本当に何もかも一年生とはチョットショックですが、これからはこの街でもっともっと美しい江別のまちづくりに協力して、住みやすい江別として一人一人ががんばっていかねばならないと思います。自治会の市民参加が一番の情報と考えております。
78	「お互い様」の心掛けで40年近く自治会に携わって来ましたが、昨今それも儘ならぬ様になって来ました。この自治基本条例がまちづくりに良いものとなりますよう願います。
79	6年前に札幌から転入してきました。設問文の4点(市民自治、市民参加、市民協働、自治基本条例の内容)は転入を決めるきっかけとはなっていませんが、転入後に市民自治の意識の高さ(自治会が機能している。)を感じ、助けられています。
80	おそらくずっと江別に住む予定なので、自分自身も意識して活動に参加し よりよいまちづくりを進めていく一助となれたらいいなとこのアンケートに答えていて改めて感じました。でもまだ新米者なので「参加してもいいのかな？」「場違いかな？」と思ってしまっただけで自治会の行事に参加してみたいと思いつつ、まだできていません。今年はいろいろな行事が中止になってしまうかもしれませんが、落ち着いたら勇気を出して一つでも参加して地域社会に貢献したいと考えています。
81	日々市民のためにお仕事して頂きありがとうございます。子ども家庭課や障害福祉課に良く行きますが、本当に皆さん丁寧に接して下さりありがたいです。公務員に辛く当たる風潮が強くなってきていてご心労も多いかと思いますが、市民として役には立てなくても邪魔だけはしないようにいつも思っています。自治も参加も協働も大切なことだと思います。機会があれば私も…という気持ちはいつもあります。
82	学校での教育や職場を通して市民参加や市民協働について知る機会や参加の呼びかけを行い、意識づけるようにする。関心を持っていない人、関係ないと思っている人が私を含めて多いと思う。
83	市民活動に参加できるきっかけがあれば良い。全国、全道の市町村は人口減少で悩んでいる中、江別は人口増加に転じており、素晴らしいことです。市の努力が顕著に見えます。我々市民は大きな事業も大事ですが、身近な問題を解決してくれることが市町村として信頼感を一番覚えます。快適な江別に住んでいてよかったです。
84	活発に行動して意見を述べたりというのはごく一部の人で、大半は無関心。この大半の市民を変えていく努力が必要。そしたら市民の大好きな江別市になるはず。
85	若い世代に参加できる(内容)わかりやすさ、参加することにより、市民の団結、その他利点など。
86	このアンケートを機に一市民として全てを市に任せているのではなく、自分なりに行動していく自覚をもつ重要性に気づきました。
87	知らなさすぎて申し訳ないくらいです。そもそも関心を持つべきだと反省します。
88	江別市自治条例は本当に必要なのか疑問。文教地区なので、関連する人に影響を与えられた感じ。元々全市民との行動は無理。市民自治によるまちづくりを求めているようだが、議員さんの仕事はなに？市民の意見を吸い上げると言うが、所詮一部の人間の意見が通ってしまう社会だと思う。4大学と協働で制作したようだがお金の無駄遣い。
89	自治会の活動費の助成など、慣例化してしまっているものがありますが、市民自治にかかる予算も選択と集中を行う必要があると思います。事業者と市民団体との協働など、市民活動が地元事業者のビジネスと結びつくようなものにより厚い助成を行うなど、市民自治単体ではなく他分野との連携を重視する施策が必要だと思います。
90	アンケート調査で自分がいろいろ勉強になりました。もっと関心をもたなければと思いました。
91	自治会など高齢の方が多くいつまでもおまかせして甘えている気がします。地域への参加活動に中々参加できなく、知らなさすぎている。仕事に追われて余裕もないのですが。
92	自治会は、過渡期にきている。昭和のシステム(回覧板・寄付)など、40代くらいまでの世代は理解できない。自治会離れは当然かもしれない。(※回覧はほとんど見てない、共感しない寄付をなぜ半強制的に行うのか。)※コロナウイルスが流行しているのに、訪問して、自治会費を徴収しなくてはならない。先日、病院勤めの方が今年班長で苦悩してました。自分が徴収に行くこと、相手の気持、各回振込みで良いのでは？色々ありますが、私はいつも言ってます。今の20代～30代が、60代になったとき、自治会はネットで、すべて支払いも、寄付も、回覧も、広報もする日が来ると思いますと！高齢化社会でありながら、コロナウイルスでさらにSNSは進化してしまう中、自治会はどう昭和から脱却するか、難題です。
93	高齢化対策、自治会の存続、若い人達にも説明理解、積極的に(自治会に対する)参加してもらう様な活動努力。
94	60歳をすぎた私は、もっと知り、参加し、意見を言う立場だと思いますが、年々外との触れ合いに億病になっています。
95	他の自治体のやり方をパクリ。大都市の近郊の自治体はどうしているか？目玉にする「顔」をいかにするか。住民と考える。
96	将来のために子どもの育成に力を入れて頂きたい。例は、気楽に入れる小さなコミュニティを増やし、読書、ゲーム等ができる場。

97	何を行うにも、多くても少なくともお金が必要になります。「100%手づくり弁当の活動時のやりがい」「相互間でワンコインでのサービス」「市がお金を出す活動」「事業者(収益者)」それぞれの違い分けを、今後もっと分かりやすくして頂ければ、「私はこれで」など自分が選べる事で動きやすさにつながるのでは、と思いました。事業者の出来ない隙間に、市民活動、NPO、ボランティアが出来るように思います。
98	リーフレットを見て若い世代の人達の市民参加に頼もしさを感じました。知らなかった事や興味を持たずに過ごしてきたことにちょっと損した気分です。
99	特にありません。よく出来ていると思います。
100	草の根的に活動している団体は多いと思う。そのような動きと行政の連携の仕方を工夫すべき。一度自治会役員をやったが、行政の下請けが多く二度としたくないと思った。
101	まちづくりに興味があるが、時間的制約(負担)から参加する機会がありませんでした。本アンケート調査の回答を通して、まちづくりに関して考える機会となりました。江別に転居して大変住み心地の良い街と感じています。教育、医療、スポーツ、健康、サービスが充実しています。様々な行政サービスありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。
102	少子高齢化がますます進む中、これまで以上に市内各大学との連携を密にし、関係を深めていくことが大切かと思えます。
103	「江別市自治基本条例、条文と解説」を見る限り、文章的にわかりづらい。例えば、第4章の市民及び職員の箇所で、職員の知識や技能の向上を図る、必要な能力の向上に努めなければならない、とあるが、それってどのような能力なの？具体的に何が必要なのか全くわからない。市役所に年に何回か用事で行くことがあります、各部署の窓口、対応する方はそうでもないが、後ろでデスクワークしている方は全く緊張感がないような感じがしてならない。もう少し、市民目線での謙虚な態度が必要ではないか。皆見られている事を忘れずに。協働するという事はお互い信頼がなければ進められないと思う。
104	若い世代(40才以下)が比較的無関心。自己中心の思想が強く、自分は関係しなくても日常困ることはない。極端かもしれないが、その風潮はこの世代では普通になっていると思う。どうすれば？わからない。
105	自分も今できることから地域まちづくりに参加したいと思いました。
106	地域の人的資源をもっともっと活用させてほしい。
107	自治会の活動が重すぎる、役員の決め方が公平ではない。
108	最近班の変更があり、いつのまにか班の編成が事前の説明とは別になり、40年間位続いた10軒ばかりが別々になって、良く住民の意見も聞いてほしかった。
109	今後の江別市の市民自治等を進めるうえで、多様な年齢の市民の声が反映されると良いと思う。時間的な制約などもあると思うが、市長やそれに代わる方と直接話す機会があると良いと思う。子どもの権利条例を制定してほしい。
3. 自治基本条例(市民参加)	
110	協働活動向上が必要。市民参加のための目安箱を各所(自治会館等)に設置するのも良いと思う。市民の幅広い意見を聴くのも市政づくりに必要と思う。
111	このアンケートに参加でき、市民参加について少し分かってきたので、自分も自分にできることで参加していきたいと思えた。
112	本当に市民が参加しやすい環境、参加する喜びと達成感、参加未経験者が参加しやすい方法を考えるべきである。
113	コロナ対策の最中にアンケートをとり、郵便物を増やすことは中々リスクがあると思う。アンケートに答えない人がたくさんいると思うが、もう少し時期を考えること。今は何でもネット時代、ネットでのアンケートを求めてみたらどうか。ない人は紙でもいいが。
114	以前、市への要望を話す会など(タウンミーティング)のなかで、色々意見が出たにもかかわらず、何も伝わっていなかったことがあった。議員も大変だとは思いますが、誰がなっても同じでは意味がない。皆の声を吸い上げ、住みやすい街になればと思う。ただ、コロナの大変なときにこのようなアンケートは延期してもよいのではないかと思う。
115	出かける手段として車がない、パソコンがない高齢者世帯の場合、市民活動の場所や公共交通にかかる費用を考えてほしい。
116	単に答えを誘導しているアンケートだと思う。例えば議員の給与明細を示して適切かどうか等、具体的な質問箱にしたらどうか。市民・国民の疑問を晴らすようなアンケートを望む。つまらないアンケートに金をかけないでほしい。
117	このアンケートが無駄。ゴミを送らないでほしい。
118	江別市民になって5年になります。今回のアンケート依頼で条例解説を拝読し、江別のことが大変良く分かりありがとうございました。
119	住みやすい街をめざすのであれば、今回のアンケートは考えて作られていると思うし、もっとアンケートを出して市民の意見をあつめるのは良い事だと思う。自分的にはお祭りなどをもっと多くしてほしい。またNet上から今回のアンケートをすればもっと情報がえられると思う。
120	郵送アンケートで参加の機会を得られたので、この方法は以降も継続するようにお願いします。
121	このようなステイホーム時期にアンケートを配布することは家庭にいることが多いので回答率も増えて良い時期だと思いました。ご苦労様でした。
122	いま時間や関心のある人だけでなく、これからを担う人たちに向けてPRや参加しやすくする状態を作っていただければと思います。
123	関心があっても市民が参加するには勇気が必要です。背中を押してくれるものがあれば助かります。それが人なのか、物なのかはわかりませんが。

124	私はなかなか参加できませんが江別市が良くなるように頑張ってください。集計お疲れ様です。今回、江別市自治基本条例を初めて見ました。このような機会が無ければ知らなかったと思います。ありがとうございました。
125	私も年齢的に出て行くことはできませんが、出来るだけ皆様の世話にならず、主人と二人で暮らしてゆくことを望んでいます。主人は83歳、私は79歳。病院に通院はしており、少し物忘れはしてきますが、割と元気で、皆様に世話にならず暮らしていきます。
126	実例を具体的に提示してくれれば理解しやすいし参加しやすい。本アンケートについても活用されるのか心配。(アンケートに基づく成果が必要。)
127	市民一人一人よりよいまちづくりにどんなことがあるかアイデア意見を出せる機会を作してほしい。
128	アンケート調査で初めて(聞いたり読んだりしたことはあったと思いますが、深く関心をもっていなかった)知識を得ることが出来ました。今回を境に少し勉強してみたいと思うと同時に、関われることには積極的に足を運んでみたいと思います。皆様の活動に感謝申し上げます。
129	このアンケートを作った人は自分で考えてアンケートに回答してみたのだろうか？相手の立場に考えるべきでは。そもそもこのアンケートは何かに使われるのだろうか。アンケートをとって終わりになると思う。
130	一部の人は参加しているのかもしれませんが、市民でありながら何が行われているか知らないことも多いです。高齢の方も増えていますが、子育て世代の方も多いいように感じます。ボランティアでも自分に出来ることがあれば参加しやすい「何か」があればいいなと思います。
131	初めて知ったことなのでどう答えて良いか分かりません。不明なことが多すぎてアンケートになっていないと思います。今後、この件のセミナーなどがあれば聞きに行きたいと思います。(趣旨の理解が必要です。)
132	アンケート調査は抜き打ちだと思いますが、私はまだ字が書けますが、書けない人や目の不自由になった人、お年寄りは無理だと思います。このやり方は良くないと思います。未来に向けて、もっと若い世代の人にアンケートをお願いし、また、大学生や20歳以上の人、60歳世代の人を多くして、未来に希望を持ってもらうためのまちづくりをお願いいたします。
133	自分で、自ら参加したり知識を得ようと動くことはないので何も知りません。
134	理解できないことが多く、せっかくのアンケートも自分でも？です。ありがとうございました。
135	元気なお年寄りが多い昨今、老人クラブやシルバーに入らずにまだまだ働けるといながらも、暇をもてあましぎみの方々もいると思います。そういう方々もきっかけがあれば市のため、自治のため、役に立ちたいと思っています。外で活動するきっかけが欲しいです。生き生きと活動することで、介護年齢を遅らせることも出来ます。
136	①アンケート調査順が条例内容順になっていないため、回答途中で前に戻ったりして回答しづらかった。 ②どうも回答内容項目が作成者の思いに偏っているように思われ、集計しやすい内容になっているようだ。 ③市民からの意見・要望については、可能な限り公表できるような方法を検討して欲しい。 ④市民からの意見・要望については、受理担当者が「予算がない」「国に要求している」等の回答をして終わらせているが、その内容が上まで反映されているのか疑問。
4. 自治基本条例(情報公開)	
137	市民に分かりやすく情報公開すれば関心を持ってもらえると思う。
138	人・カネ・モノの動きを明確にしてほしい。
139	平成21年～令和元年の10年間で、市民協働の分野でまちづくりがどれだけの進展があったか知りたい。
140	市内に大規模な福祉施設等の建設が予定されていますが、どのようなプロセスを経て事業者を決定したのか、市の補助金はどの程度なのか、介護保険料などの料金体系はどのように変わっていくのか、広報などできまこまかく掲載していただきたいと思えます。
141	自治会排雪事業について、自治会の同じ区でも排雪費用(3,300円)を拠出する道路、拠出しないでよい道路があります。市道でありながら、不公平の極みと思う住人が多くいます。市として、排雪費用の是正はできないか、考え方を公開してほしいと考えます。
142	国等の機関(最近では道警)が海苔弁公開しているが、このようなことができないように規定することが真の情報公開と思う。例外は、地方行政において非公開とする事項は個人情報保護条例に関することで公益に資することがないことに限るべき。
143	市議会議員の議会における質問回数を広報に掲載願いたく。(任期中のデータ) 各自治会の活動内容を年2回程度掲載いただきたい。(特徴的な内容でも可) 高齢者ひとり世帯、夫婦世帯の声掛け運動。市役所に各自治会担当を配置しているか。
144	アンケート結果の公開と、出された意見に対して江別市が変わった点、改善した点などの告知があれば、市民の興味も変わると思えます。すでに行っているのであれば、それを目にしたことがなかったため、その方法を検討してみてもいいかと思えます。
145	市議会がもっと市政のチェック内容を広く知らしめるべきだと思う。
146	江別市立病院の現状を広く市民に広報し、市民が頼れる病院にすること。現状の医師不足、赤字の垂れ流しの経営状況が改善されないなら閉院した方がまし。
147	附則の「解説」に改訂の内容を記録すべきです。

5. 市政について	
148	高齢者や障がい者にとって、住みやすく、市の行事などに参加しやすいまちづくりを望みます。
149	生活費を稼ぐ毎日、まちづくりどころではない。金と時間のある人たちに任せます。
150	ドッチボールや野球のつながり、PTA、自治会等たくさんの「江別人」と関わってきましたが、すばらしい人ばかり！土地的にも大好きです。そんな江別をもっと日常に近づいて使いやすいアイテムを使ったりして改革してください。周りから「住んでみたい」、「いいなあ、江別」となるように！
151	江別地区(江別駅前・商店街・江小跡地など)が江別市の顔になるようなまちづくりを期待したい。
152	江別駅前が寂しいので、商業施設など多くの人利用できる場がほしい。
153	より障がい者の意見が反映されるような市になってほしい。安心して出かけられる江別市であってほしい。
154	近所で、道路で遊んでいる親子がいるので注意してほしい。遊ぶのなら公園に行ってほしい。一人ひとりのモラルが大事だと思う。もっと江別市のことが知りたいし、とても良い街なのでみんなに知ってもらいたい。
155	ガーデニング(花の街)をめざしてほしい。4番通のバスの回数を増やしてほしい。今コロナで大変な時、江別市内の店への連絡(レジの前のビニール、並ぶときの間隔)を決めてほしい。
156	野幌だけ発展して、他はひどい。
157	江別市は道路が悪すぎると思います。国道もそうですが、住宅街の道路が悪すぎます。早く直すことを期待しています。
158	札幌から江別へ転居してきたが、今年2歳になる娘を認可保育園に入園させたく申し込んだが、第5希望まで記入したにもかかわらず入園できなかった。札幌に住んでいる友人でそのような方はいないので、江別は保育園の体制が不十分であると思います。野幌若葉町など新居がたくさん建設され、札幌等から私たちのように転居してきている人はたくさんいると思うので、子育てしやすいまちづくりをお願いします。今、コロナの影響で外出、遠出ができず、近くの公園へ散歩しますが、公園は徒歩圏内に5ヶ所ほどあり、充実していて有り難く思うので、保育園がさらにあると本当に助かります。
159	野幌パーク場が2ヶ所なくなり、とても残念でなりません。70～90歳で健康な人はたくさんいます。でも車を使用するとなると、なかなか運転する人が少なくなり、どうかもう少し近くに歩いて行ける場所がほしいと思います。遠すぎてとても大変です。石狩川の河川コースでも作ってください。
160	何かあれば札幌を頼っているとしか思えない。(病院とか)なんか中途半端。老後、江別で生活するのが不安。バス券、タクシーチケットもない！
161	江別駅前がゴースタウンみたいで気になります。ハローワークを野幌駅周辺にしてほしいです。よく道路の補修工事をしていますが、歩道の補修もしてほしいです。
162	大きな商業施設が欲しい。
163	いつも市民のためにありがとうございます。
164	環境はとっても良いので、病院をどうにかしてほしい。市立病院はもっと専門の先生を、救急車の受け入れ体制を、大きな病のとき不安になります。どうかどうか安心な江別に！
165	もっと活気のある街にしてほしい。市民に寄り添う政治をしてほしい。
166	札幌でマイクを向けると、「江別？知らない。どこにあるの？」「行ったことない」というコメントを耳にしたことが何度もあります。意外と江別市を知らない人が多いのではないかと思います。コロナウイルスの時ではありますが、集客率を高めるところ(これからでしたら野菜直売所や大型店舗、蔦屋書店など)、商店など江別以外に響き渡るようなPRが行き届いていないのかなと思います。
167	江別市は3地区(大麻、野幌、江別)で構成された街です。公共の施設が少ないと思います。また、出かけるにも交通機関が悪く(市内バス)利用に不便です。
168	それぞれ地域、自治会などのあり方、また、道路の排水溝の敷設など、きちんと整理されている所、されていない所がある。きちんとしてほしい。やってください。
169	住民は安心して住めるまちづくり(生活環境)を求めている。「食べる」という表現は、それ以上のことを推進することなのか。インフラ事業は100%完遂しているのか。そして原価が安くなっているか。家の前の道路は水たまりが多い。大型車が地面を揺るがしている。雨上がりを利用して道路の凹調査をお願いしたい。車の振動も大きい。
170	新型コロナ感染で苦しんでいる人を見て、多くの人々が助けたいと言いつけています。私と同じ気持ちの人、一緒にしませんか！出来る人と、その気持ちの人と、なぜ全体でできないのですか！それが私にはまったく分からないのです。一刻も早く世界一の江別市にするために、私を働かせてください。
171	江別市は素敵なまちだと思います。難しいことは分かりませんが、私の大好きなこのまちを守り続けてください。よろしくお願いします。
172	関係ない事と思いますが、災害の為にマスクを数万枚備蓄しているので市役所ではこれを使用との声を聞きました。市民は大変な状況の下、腹を立てているのは私だけでしょうか！市政としてどのように考えますか！
173	子供を育てて感じたのは中学生の制服リサイクル制度を作ってほしかった。制服は高価です。まだまだ着用できる制服2人分を卒業で捨てました。子育てしやすいまちづくり。市民レベルの意見例です。
174	もう少し環境問題に取り組む姿勢を見せて欲しい。
175	別件ではあるが一言申し上げます。今北海道はコロナの第2波の感染拡大の折り、大変な思いをしている。特に今このアンケート作業が必要なのか疑問である。札幌市に隣接する江別市内でも4人の感染者。更に長期になる自粛生活を思うと、市としてどのような対策を計るのか小生には見えてこない。市民の安心安全のための市長のリーダーシップを早急に発揮願いたい。

176	コロナウイルスはまだ先行が不明です。今後も市民が混乱することなく安心して暮らせるまちづくりをお願い致します。日々の業務ありがとうございます。
177	せっかく蔦屋書店ができて若者が集まってくるようになったと思うので、”やきもの市”のようなイベントが増えたらいいなと思います。ハンドメイドイベントや、もっと会館や施設を利用しやすくするなど・・・。
178	そもそもなぜ、市民がまちづくりをするのかを考えなければいけないかと思います。私自身、市民活動団体の役員をしています。江別には活動するための施設が少なすぎます。私はフットサルというスポーツが好きでプレーしていますが、プレーするために札幌まで行きます。フットサルのようなスポーツ活動なども出来る施設を江別にも作っていただきたいです。また市民活動から少し違うかもしれませんが、産業面の充実もお願いしたいです。ユニクロなどの店も江別にないのでとても何かと不便を感じています。
179	多くの人に聞けば多くの意見が集まり集約が大変ですが、10年先30年先のまちづくりが必要。このままでは少子化高齢化で健全な「市」が減少してしまう。
180	数年前に引っ越して来ましたが、解らない事が多すぎて困る事が沢山あります。せっかく同じ町に住んでいるのですから仲良く楽しく元気良くと思っています。
181	別にございません。高齢で病弱ですので、良く成る街を見守るだけです。
182	他の市で働いている場合、江別市に居ることが少ないため、興味をもつことがない。病院等も江別は交通が不便なため利用しないのでさらに興味がなくなる。江別に住んでいるメリットをまず示すことが、まちづくりを進めるうえで一番重要と感じます。
183	①江別駅前を駅のある工業団地にしてはどうか。 ②野幌駅より北広島駅まで鉄道でつなぐこと。鉄道にそって団地を作ること。(上江別経由)
184	高齢化社会です。その方々が元気で過ごせるような取り組みも必要ではないかと思います。
185	市役所等に目安箱を設置してはどうでしょうか。5丁目通の跨線橋スロープロードヒーティングはもう4～5年故障したままです。情報図書館前のバス停に手押し信号機を設置してほしい。
186	札幌市への編入を希望する。
187	暮らしやすいまちづくりを宜しくお願い致します。
188	札幌のベッタウンとしていますが、遊べる施設があまりない。(スキー場、スケート場、コンサートホール、講習会場など。)市立病院の充実。(身内が転院されました。)
189	野幌と江別について逆転してる。野幌ばかり発展し、江別が置き去りになっている。JRIによって東西分断されている。野幌だけが高架線ができて解決したようにみえるが、上江別ゆめみ野あけぼの東光町なども東西の往来がしやすいようにすべき。新たな道路やアンダーパスなど踏切をなくすこと。(早苗別通り、江別駅方面、12号線)歩道橋はいらないので再開発する必要。南大通り早期開通。
190	これからもよりよい行政運営が出来ますよう祈っております。
191	江別市内には市が施設運営に関係する一般的なパークゴルフ場がありません。市民の健康維持や中高年の仕事場確保のためにも、パークゴルフ場の設置を希望します。特に大麻西インターチェンジ付近には広大な原野が未利用であります。
192	子育てしやすい一戸建ての土地を提供してもらいたい。江別はどこ探しても少ないです。家を壊してまで駅を拡張する意味はあったのでしょうか。税金の無駄遣いではないですか。
193	当条文の担当する部署の職員の皆様様の今後の活躍をお願いします。
194	ほとんど満足していますが、生活道路の除雪をしっかりとってほしい。業者の都合でやっており、住民のことを考えてやっているとは思えない。
195	江別市民(特に大麻地区)は札幌市内勤務の方が多くベッドタウンとして栄えた場所です。どちらかと言えば、江別市民というよりも、札幌市民の感覚で生活している方が多いと思います。もっと特色の持った独創的なまちづくりを期待します。
196	市営のスポーツ施設、特にあけぼののパークゴルフ場の拡充整備を強く望みます。
197	今年の冬は(令和元年12月～令和2年3月頃まで)は雪が少なく無事に冬を越しましたが、今年の冬が例年通りだと大変とっておりますが、除雪の方法とかをなんとかしてほしいのが誠実な問題だと思っております・・・。
198	防災をもっと強化してほしい。市民への連絡が全くなっていない。
199	江別駅前をもっと活性化させてほしい。
200	わからない。今はコロナ対策をなんとかしてほしい。こんなアンケート出しにポストへも行きたくないです。
201	この度のコロナ禍について全世界、全国、全道の問題ではあるが、今後、疾病感染問題は発生する頻度は高くなると思われます。疾病課題への市民協働、危機管理、情報公開、個人情報保護に対するきちとした仕組みづくりが必要ではないかと思えます。
202	江別市にお世話になって20数年を経過しましたが、周辺環境に恵まれ、何のトラブルもなく平凡な毎日を過ごしております。これが一番。江別は札幌という大消費地に隣接しており、その優位性を最大限に生かす農業立国を目指すことです。その他に芽生えた文化、伝統の醸成、昇華には長い時間が必要です。諦めることなく頑張りましょう。
203	野幌地区がさかんで江別地区がどんどんすたれていくのが残念である。なぜ野幌なのか？江別の方ももっと力を入れて欲しい。
204	直接請求権の必要な署名数が多すぎる。署名は今の1/10でよい。その後、住民投票。
205	野幌以外の整備も進める。あまりにも野幌が中心になり過ぎな感じがする。除雪が非常に悪い。(通勤時に歩道が雪の山のまま、帰りも同じで獣道状態。)カラスの害が多い。

206	市役所職員は基本的に江別市に住み、地域の情報を日常的に知るべきだと思います。住居手当、通勤手当等、他地域から通勤している方は減らすべきだと思います。よろしくお願ひいたします。
207	祭り等の開催者から聞いた話ですが、市の助成が足りないとか、してもらえないとの事を耳にしました。市民ぐるみの行事は大幅な助成を。
208	国道12号線の交通量が多いため、出勤時の横断歩道(文京台入り口の歩道)の待ち時間が平均5分を要する。JRバスの乗車が困難な場合、信号無視が非常に多く危険である。市民生活の安全のために道警本部への調整をお願いしたい。
209	市の公共機関の整備、土日祝日のバス休みはやめて。仕事がある人もいる。特に冬。野幌駅(12号線側)の前の道路の横断歩道で止まらないで渡る人がいるので押しボタン信号つけてください、人がいるのか見づらい。車が止まるのを確認してから渡るように注意して欲しい。野幌駅周辺の道路がとても使いづらい。ロータリーのために札幌方向の直進道路をなくすなんて不便。回り道が多く時間がかかる。パブリックコメント知っていれば反対したのに反対意見なかったの？聞くまでもなく決定だった？今までのアンケートの中で一番分かりやすく答えやすい良いものでした。作り方が大変良かったと思う。
210	交通等、札幌市から見てかなり遅れている。(特に高齢者について。)
211	ペットの散歩、空き家等、一人住まいで高齢になった時(または高齢になる前)の江別独自の決まりがあれば。
212	江別はお年寄りに良い街としていますが、私たち老人にとって全く何もしていただけていないと思います。福祉にかけていると言われますが、例えば、今は老いた者のよりどころとなっているパーク場の件、それを運動の一環としているパーク好きな人達ですが、一つ二つと取りやめになっています。それが出来ず歩くのもおっくうという人達が多くいます。それと年を取って車に乗れない人達も多くなっている。その人達のレジャーの場までの足(バスの利用)の事も考えて欲しい。
213	今年度、道路施工工事計画について、元江別178号線道路改修工事について、やっと改修工事を施工するようであるが、片側が北電の緑地帯住宅工数の少ない(片側は北電の緑地帯)ほうからするのか疑問。(元市議員が居住しているから忖度したのか?)
214	今、新型コロナウイルスで大変です。江別ではまだ5人くらいですが、そのうち大変なことになると思います。ウイルスなので止めることは出来ません。通勤で札幌に通う方も多くいますので速やかに検査でき、隔離する。江別でも市立病院で閉めている病棟を使い、看護師の方もいつでも勤務できる様今からでもやってください。新型コロナウイルスについて、市長からコメントもなく、江別市民は心配しています。外にも出れず不安です。もう少し安心できる情報を出してください。
215	鉄道林やその近くの信号機がなくなった事など、いつの間にか変わっているのを見ると、誰がどのように決めているのかと思います。自分だけが知らなかったのか、知らせる機会を見逃したのかと思っています。
216	すみません。転勤ばかりで街のことを知らないことだらけでした。
217	煉瓦のまちとうたっている割には、まちの景観に煉瓦が少なく残念に思う。せっかく有名なんだからもっとそこを増やしてPRしていくべきでは？
218	財政的な問題もあるかと思うが、介護認定は札幌市のほうがゆるやかで江別市のほうが厳しいと聞いているが、江別市が公正に行われているか？
219	あけぼの団地周辺の気のきいた、いこいの場所がない。江別の中でも見放された場所である。
220	札幌から移り住んで9年になりますが、まちの公共施設の充実を感じている。町内の人がやさしい。
221	年寄りが使わない施設より使いやすい施設を作ってほしい。グリーンボールは誰も使っているのを見たことがないのに何力所かあるが、パークはあっても中途半端なものが多い。

条 文	審議の内容
	<p><b>&lt;条例の意義&gt;</b></p> <p>●自治基本条例の意義について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治基本条例の検討に当たっては、この条例の持つ意義を確認した上で行うことが必要である。地方自治の基本となる事柄は、憲法、地方自治法に定められており、その主な内容は統治の形態に関するものであるが、どのような地方自治を実現するかについては「自治」というものの性格上当然規定がなく、各自治体に任される形になっている。このような中で地方自治の「憲法」として定められることとなったのが自治基本条例であり、江別市においてもこの条例を制定し、その中で「協働」の考え方を核に行政と市民が協力しながらより良い自治を実現させることとしている。</li> <li>このような自治基本条例の性格や制定の背景とその重要性を確認した上、条例に規定する事項の課題等を点検し、規定の見直しの必要性について検討を行う必要がある。</li> </ul> <p><b>&lt;条例の認知度&gt;</b></p> <p>●解説書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治基本条例そのものが非常に堅苦しい。画像や絵を使う等して、せめて条例の表紙だけでも、手に取った時に江別市民の条例であることが分かるようなものにしてはどうか。</li> <li>解説文には分かりやすい表現、理解しやすい言葉を使うことが必要。</li> <li>特別に関心のある人も、そうでない人でも、一目見て分かるリーフレットのような解説書が必要であり、新しく作成・工夫に取り組んでほしい。ただし、分かりやすいということは正確性に欠けるという面もあるため、正確なものとして現在の解説書は変えずに残す必要がある。</li> </ul> <p>●市職員の認知度について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>条例の存在を知ることも重要だが、知っているだけでは意味がなく、理解して実際に使えることが大事。研修の内容をさらに工夫していくこと。</li> </ul> <p>●条例の認知度について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会の活動は色々あるが、まずは関わってみて、それ自体が協働の行為だということを理解することが大事。</li> <li>関われば否応なく知り、親しみを感じ、体で理解する。子どもが理解すれば、その家族に</li> </ul>

	<p>も知れ渡るといふ広がり期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に関わっていても、それを意識していない人も多い。認知度が低くて良いわけではないが、実践していればそれで十分であり、そのことを過度に問題視して、とにかく認知度を上げようと動くのは意味のないことである。</li> <li>・今後は、学生のような頭の柔らかい若い人に活躍してもらふ必要がある。委員会や自治会でも若い人を登用し、若い人に高齢者が付いていくという発想の転換をすること。もっと若い人を大切にしていけば、新しい発想があるのではないか。</li> <li>・なぜ自治基本条例が必要なのかを説明すべき。この条例がない場合のデメリット、あることによるメリットについて情報発信することで、市民がもっと関心を持ち、市民参加にも繋がっていくのではないか。</li> <li>・自治基本条例自体の認知度を上げることは、終わりのない戦いとして取り組んでいかなければならない。条例がなかったらどうなるのかという視点も盛り込みながら、リーフレットの作成時と同様、若い人が色々なことに取り組む必要がある。</li> </ul>
条 文	審議の内容
<p>&lt;前文&gt;</p> <p>わたしたちは、豊かな流れの石狩川と原始の姿を今にとどめる森に囲まれたまち江別市に集いました。</p> <p>江別市は、屯田兵らによって開拓され、恵まれた自然を生かした農業やれんが産業、川を利用した物資流通の拠点として栄えてきました。今日ではやきものの街としても知られ、また、道央圏において有数の文教都市として発展を遂げています。</p> <p>わたしたちは、先人が切り拓き守ってきた自然と、たゆまぬ努力と英知によって興し育ててきた産業や伝統、培われた文化を受け継ぎ、未来の世代へ引き継いでいかなければなりません。</p> <p>わたしたちは、江別市民憲章に掲げられた理念に沿って、命をはぐくむ水と緑の大きい自然と都市が調和しているこのまちの魅力を生かして、教養ある文化のまちを目指し、お互いを尊重し、支え合う地域社会を大切にする、人中心のまちづくりを進めていきます。</p> <p>ここにわたしたちは、江別市の市民自治の基本理念と基本原則を掲げ、市民及び市それぞれの役割と責務を明らかにするとともに、市民自治の意識の高揚を図りながら、かけがえのない愛する郷土、個性あふれるまちを創るため、江別市の最高規範として、この条例を制定します。</p>	<p>&lt;前文&gt;</p>



条 文	審議の内容
<p>&lt;第1章 総則&gt;</p> <p>(目的) 第1条 この条例は、江別市の市民自治の基本理念及び基本原則並びに自治運営の基本的な事項を定め、市民の信託に基づく議会及び市長等の役割及び責務を明らかにするとともに、市民自らが考え、行動する、市民自治を実現することを目的とする。</p> <p>(定義) 第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。 (1) 市民 市内に住所を有する者、市内で働き、若しくは学ぶ者又は市内で事業活動その他の活動を行う者若しくは団体をいう。 (2) 市長等 市長、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会をいう。 (3) 市 議会及び市長等をいう。 (4) まちづくり 暮らしやすく、魅力あるまちを実現するためのすべての公共的な活動をいう。 (5) 協働 市民及び市が、それぞれの役割及び責任を理解し、互いに尊重しながら協力して取り組むことをいう。</p> <p>(市民自治の基本理念) 第3条 市民一人ひとりが自治の主役として、市政に関する情報を共有し、自らの責任において主体的に考え、積極的にまちづくりに参加及び協働しながら、より良いまちづくりを推進することを市民自治の基本理念とする。</p> <p>(市民自治の基本原則) 第4条 市民及び市は、次に掲げる基本原則に基づき、市民自治を実現するものとする。 (1) 情報共有の原則 市民及び市は、まちづくりに関する情報を共有すること。 (2) 市民参加・協働の原則 市民は、まちづくりの主体として、まちづくりへの参加及び協働を進め、市は、それを尊重すること。 (3) 信託と責任の原則 市は、市民の信託に基づき、公正かつ誠実に市政を運営する責任を負うこと。</p> <p>(この条例の位置付け) 第5条 この条例は、江別市の自治の基本を定める最高規範であり、市民及び市は、この条例の趣旨を最大限に尊重しなければならない。 2 市は、他の条例、規則等の制定及び改廃並びに法令等の解釈及び運用に当たっては、この条例の規定との整合を図らなければならない。</p>	<p>&lt;第1章 総則&gt;</p> <p>●「市民」の定義について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条項によって定義が統一されておらず、分かりにくい。第2条では広い意味での市民、第11条では有権者を指している。</li> <li>・まちづくりへの関心度は人それぞれであり、まちづくりにおける「市民」の定義はとても広いものである。</li> <li>・市民活動団体と企業や事業主との協働もあるが、それが「働く人たち」という一括りの中で「市民」となってしまうのはグレーな部分ではないか。</li> </ul> <p>●「協働」の定義について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「協働」や「参加」という言葉が市民にあまり理解されていない。</li> <li>・条例では「市民個人と行政との協働」のような表現をしているが、実際は自治会など何らかの団体に属しないと協働の活動はできない。こういったことが、法制上、「協働」という概念を不明確で分かりづらいものになっている。</li> <li>・「協働」という言葉が認知されているのか疑問。それが、条例で「協働」という言葉が出たときに、多くの人がしっくりこない原因なのではないか。</li> </ul> <p>●第5条第2項について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たとえば議会基本条例の制定にあたっては、自治基本条例の規定との整合を考慮している。こういったことも主な取組事例として解説書に記載したほうがいい。</li> </ul>

条 文	審議の内容
<p>&lt;第2章 市民&gt;</p> <p>(市民の権利)                      第6条 市民は、市政に関する情報について知る権利を有する。                      2 市民は、市政に参加する権利を有する。                      3 市民は、まちづくりに関する意見を表明し、提案する権利を有する。</p> <p>(市民の責務)                      第7条 市民は、まちづくりの主体であることを自覚し、互いの活動の自主性及び自立性を尊重し、協力しながら市民自治によるまちづくりの推進に努めるものとする。                      2 市民は、まちづくりに参加するに当たっては、自らの発言及び行動に責任を持つものとする。                      3 市民は、市政に関する認識を深め、市と協働して地域社会の発展に寄与するよう努めるものとする。</p> <p>(事業者の責務)                      第8条 事業者は、地域社会を構成する市民の一員としての社会的役割を認識し、地域社会との調和を図りながら市民自治のまちづくりの推進に寄与するよう努めるものとする。</p>	<p>&lt;第2章 市民&gt;</p> <p>●第7条第2項「自らの発言及び行動に責任を持つ」という表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第7条第2項の是非については、改正の要否も含め、最後まで考え、一度皆さんにご意見をお聞きしたいと考えている。</li> <li>・この言葉が非常に重く感じられ、参加しづらくなる。もっと柔らかく優しい言葉がよい。</li> <li>・まちづくりに参加することへのハードルを上げてしまう。きちんと責任を持つという趣旨は第1項にも含まれている。</li> <li>・解説の「自分の発言と行動に責任を持つ」という部分の表現を検討委員会で検討し、今すぐにも、もっと一般市民が参加しやすく、良いまちづくりをしていこうという気持ちになるような言葉に変えていくことが必要。</li> <li>・「責任を持つものとする」ではなく「努める」と努力条項のような書き方をするなど、もう少し柔らかい表現をすることも検討する必要がある。</li> <li>・厳しい表現により萎縮させ、抑制することが本旨ではない。まずは解説やリーフレット等で工夫し、将来的に条例改正の流れとなった場合は表現についての検討が必要。</li> </ul>
条 文	審議の内容
<p>&lt;第3章 議会及び議員&gt;</p> <p>(議会の役割と責務)                      第9条 議会は、選挙により信託を受けた議員によって構成される議決機関であり、本市の重要な意思決定を行うとともに、市長等による事務の執行を監視及びけん制し、市民の意思を政策形成に反映させるものとする。                      2 議会は、まちづくりの課題を明らかにし、審議の過程その他議会の活動に関する情報を市民に提供し、市民に開かれた議会運営に努めなければならない。</p> <p>(議員の責務)                      第10条 議員は、市民の信託に応え、総合的視点に立ち、公平、公正かつ誠実に職務を遂行するものとする。                      2 議員は、広く市民の声を聴くことにより市民の意思を把握し、これを政策形成に反映させるよう努めなければならない。                      3 議員は、自らの活動及び議会の活動を市民に分かりやすく説明し、情報提供に努めなければならない。                      4 議員は、議会における審議及び政策立案活動の充実を図るため、積極的に調査研究に努めなければならない。</p>	<p>&lt;第3章 議会及び議員&gt;</p> <p>●第9条の解説における「市民」の使い方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民」を「選挙権のある市民」として、意味を明確にするべき。</li> <li>・現在の表現では「市民＝選挙権を持つ者」という誤解を生じる可能性がある。解説書の改訂を検討すること。</li> </ul>

条 文	審議の内容
<p>&lt;第4章 市長及び職員&gt;</p> <p>(市長の役割と責務)</p> <p>第11条 市長は、市民から信託を受けた本市の代表者として、この条例を遵守し、市民自治のまちづくりを推進しなければならない。</p> <p>2 市長は、公平かつ誠実な行政運営を行わなければならない。</p> <p>3 市長は、市政に関する情報を市民に分かりやすく説明しなければならない。</p> <p>4 市長は、補助機関である職員の能力向上を図るとともに、効率的な組織の運営に努めなければならない。</p> <p>(職員の役割と責務)</p> <p>第12条 職員は、この条例を遵守し、市民の視点に立って公正かつ効率的に職務を遂行しなければならない。</p> <p>2 職員は、市民自治によるまちづくりを推進するために必要な能力の向上に努めなければならない。</p>	<p>&lt;第4章 市長及び職員&gt;</p> <p>●第10条及び第11条における「信託」という言葉について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この言葉は適切ではない。他の主な市では「市長は本市の代表者として」と表現している。法体系において、住民と行政の在り方と枠組みを自治体側が決める非常に重要な条例であるため、将来的に改正等があれば改正を検討すべき。</li> <li>・提言書には、今の意見も入るような形にしていきたい。</li> </ul> <p>●職員の能力向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が、自治会や市民活動団体、大学、ボランティア団体など協働の担い手となる団体に参加して実践し、体験し、当事者意識を持つこと。そこで身についた能力や知識を評価していくことが重要。職員に「理解しなさい」ではなく「体験しなさい」という趣旨の言葉を盛り込むべき。継続的に団体に関わることの価値を職員が認め、上司が認め、さらにその上司も認めるようにならないと、実践的なまちづくりはできない。</li> <li>・知っているだけではなく、体で理解するような研修、実際の業務の中での評価など、様々な観点から実質化して高めていくための工夫をすること。これは終わりなく続けていかなければならないことであり、研修や職員のスキルアップ方策の更なる進化にも取り組んでほしい。</li> </ul>
条 文	審議の内容
<p>&lt;第5章 行政運営&gt;</p> <p>(総合計画)</p> <p>第13条 市は、総合的かつ計画的な行政運営を図るため、総合計画を策定するものとする。</p> <p>2 市は、総合計画を策定するに当たっては、多くの市民意見を反映させるため、必要な情報提供に努めるとともに、市民参加を積極的に進めるものとする。</p> <p>3 市は、総合計画の達成目標を明らかにするとともに、その内容及び進行状況に関する情報を市民に分かりやすく提供するものとする。</p> <p>4 市は、総合計画が社会の変化に対応できるよう検討を加え、必要に応じて見直しを行うものとする。</p> <p>(財政運営)</p> <p>第14条 市長は、財政の状況を的確に把握し、予算の編成に当たっては、総合計画及び行政評価の結果を反映させることにより、将来的な財政見通しに立った健全な財政運営に努めなければならない。</p> <p>2 市長は、財政状況に係る情報並びに予算及び決算に係る情報を市民に分かりやすく公表することにより、財政運営の透明性の確保に努めなければならない。</p>	<p>&lt;第5章 行政運営&gt;</p> <p>●総合計画についての情報提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市は、総合計画の内容及び進行状況に関して、市民への情報提供が適切かどうかを考えなければならない。それを量るために、市民がどの程度知っているのか、アンケート等で把握する必要があるのではないかと。</li> </ul> <p>●財政運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市が協働のまちづくりを進めるに当たっては、市民が安心できるような財政運営が重要であり、市はこれまで健全な財政運営に努めてきているが、将来に亘って市民に負担を求めようとするような課題が生じた場合は市民の理解と協力を得ながら進める必要がある。</li> </ul> <p>●危機管理・防災について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症が拡大している状況での自然災害、大雪の後の地震など、複合型の災害対応を視野に入れて検討すべき。</li> </ul>

<p>(行政評価) 第15条 市長等は、効果的かつ効率的な行政運営を図るため、行政評価を実施し、その結果を施策等に反映させるとともに、市民に分かりやすく公表するものとする。 2 市長等は、市民、専門家等による外部評価の仕組みを整備するよう努めなければならない。</p> <p>(政策法務) 第16条 市は、自主的な政策活動を推進するため、必要に応じて条例、規則等の制定及び改廃を行うとともに、法令等の調査研究を重ね、主体的かつ適正な解釈に努めなければならない。</p> <p>(危機管理・防災) 第17条 市長等は、市民の生命、身体及び財産を保護するため、情報の収集及び提供並びに必要な対策を実行できる体制の整備に努めなければならない。 2 市長等は、市民の防災意識の向上を図るとともに、災害発生時に備え、市民、事業者及び関係機関との連携及び協力を図るよう努めなければならない。</p> <p>(行政手続) 第18条 市長等は、行政運営における公正の確保及び透明性の向上を図るため、処分、行政指導等に関する手続きを定めるものとする。 2 行政手続に関し必要な事項は、別に条例で定める。</p> <p>(外部監査) 第19条 市は、適正で効率的な行政運営を確保するため、必要に応じて外部の監査人その他第三者による監査を実施することができる。</p> <p>(公益通報) 第20条 市長等は、市政の適法かつ公正な運営を確保するために、違法な行為について通報を行った職員等が、通報により不利益を受けないよう必要な措置を講ずるよう努めなければならない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民協働は危機管理の上でも不可欠であり、その中でも、自治会は非常に大きな役割を担っているため、さらに進化して高めていっていただきたい。</li> <li>●政策法務について</li> <li>・政策法務の考え方において、自治基本条例は究極の姿、最も進化した形である。政策法務については今後も一層充実していくべき。</li> <li>●公益通報について</li> <li>・不正な事例が早く明らかになり、是正し、発生を防止するということが、自治基本条例の中に入れる意味としては大きい。制度はあるが、実際には通報したら虐められる等して、何の意味もない制度になっている場合もあるため、普段から見直すことが望ましい。</li> </ul>
<p>条 文</p>	<p>審議の内容</p>
<p>&lt;第6章 情報共有の推進&gt;</p> <p>(情報共有) 第21条 市は、まちづくりに関する情報を市民と共有するため、速やかに、かつ、わかりやすく情報提供するとともに、制度及び体制の充実に努めるものとする。 2 市は、市民からの意見、要望、提案等に対し、速やかに、かつ、誠実に対応するとともに、市民と情報を共有するため、必要に応じてその対応状況を公表するよう努めなければならない。 3 市民は、まちづくりに関する情報を共有するため、これに対する関心を高め、必要な情報の収集に努めるものとする。</p> <p>(情報公開) 第22条 市は、市民の市政に関する情報について知る権利を尊重し、市政に関する情報を公正かつ適正に公開するものとする。</p>	<p>&lt;第6章 情報共有の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●広報誌について</li> <li>・インターネットを使えないので、頼みの綱は広報誌だけ。</li> <li>・特に高齢者は広報誌から情報を得る方が非常に多い。広報誌で何かを知るのは非常に大事なこと。</li> <li>・広報誌の重要性についての指摘は、今回の提言の一つとして貴重な意見。</li> <li>・広報誌を入手できず情報を得る手段がない市民に対して、何らかの方法で情報を伝えることを検討するべき。</li> <li>・市の多様な手段による情報伝達の取り組みにより、若い世代でも情報をキャッチしようと思えば受け取れる仕組みにはなりつつある。</li> </ul>

<p>2 情報公開に関し必要な事項は、別に条例で定める。</p> <p>(個人情報の保護) 第23条 市は、個人情報の収集や利用、提供、管理等を適正に行うとともに、自己に係る個人情報の開示、訂正等を請求する市民に対し適切な措置を講じなければならない。</p> <p>2 個人情報の保護に関し必要な事項は、別に条例で定める。</p>	<p>●災害時の情報共有について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の対応がまだまだ弱い。緊急時や災害時の市民同士の助け合いも市民協働の取り組みに繋がる。緊急時の情報発信、情報共有の仕組みにおいて、人を介するアナログの情報伝達も工夫していく必要がある。</li> <li>・国や道、一部の市町村のように、災害時の対応において、コンビニエンスストアにファックスを一齐送信して貼り出してもらい、「何かあった時にはコンビニへ」というような情報発信、情報共有の取り組みを進めてはどうか。</li> </ul> <p>●行政情報の公開について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有といいながら、市から情報を伝えることが中心になっている。行政情報のオープンデータ化を進め、市民や企業、大学等の研究者が活用、加工し、行政情報をどんどん活用してもらおう形を構築していくことが望ましい。</li> <li>・総合計画や財政などの資料について、市民向けに工夫されてはいるが、特別な関心を持たない一般の市民にとって分かりやすいかということ、まだまだ工夫する余地はある。</li> </ul> <p>●市の内部の情報共有について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署で獲得したノウハウ等を他部署とも共有できるように、市の内部の情報共有についても工夫していただきたい。</li> </ul> <p>●個人情報の保護について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の保護については、個人情報保護条例を制定し、個人情報の収集、利用、提供、管理等のほか市民の自己情報の開示について規定している。これら個人情報を保護するために規定している「収集」からの各段階のうち「管理」が制定時より一層重要となっている。今日、電子計算機処理された個人情報の「管理」が課題となっており、市民が個人情報の管理について、また、自己情報の管理について安心できるようセキュリティ対策等十分な対応が必要である。</li> </ul>
<p>条 文</p>	<p>審議の内容</p>
<p>&lt;第7章 市民参加・協働の推進&gt;</p> <p>(市民参加の推進) 第24条 市は、まちづくりへの市民参加を推進するため、制度の充実に努めるものとする。</p>	<p>&lt;第7章 市民参加・協働の推進&gt; 第24条「市民参加の推進」</p> <p>●アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートでは、それまで関心がなく積極的ではなかった市民が意見を出すこともあり、そういった意見も反映されるようになることが望ましい。</li> </ul>

- 2 市は、政策の立案、実施及び評価の各段階における市民参加を推進し、市民の意見が適切に反映されるよう努めなければならない。
- 3 市は、市民参加において、性別、年齢、障がいの有無、経済状況、宗教、国籍等によって市民が不当に不利益を受けないよう配慮するものとする。
- 4 市長等は、広く市民の意見を聴き、その意見を反映させるための仕組みづくりに努めなければならない。
- 5 市民参加に関し必要な事項は、別に条例で定める。

・この意見にはこのように対応したというような情報が、アンケートに回答した市民にも分かるようになることが望ましい。

#### ●パブリックコメントの提出者に対する返答について

- ・パブリックコメントの提出者から、さらに詳しく説明してほしい等の要望があった場合に、対応を行わないとするならば、現在の形式での回答をより分かりやすくする工夫が必要。
- ・対応の幅を広げていけば、より多くの市民が意見を出しやすくなり、意見が採用されなかったとしても、不満がより小さくなっていくと考えられる。
- ・一般の市民にとって、市へ意見を提出するのはハードルが高いことなので、できるだけそれが低くなるように取り組んでほしい。

#### ●市民公募について

- ・選考から外れた応募者の不審感を軽減するため、選考基準をなるべく明確にし、他の人が見てもすぐに納得できるような方式が望ましい。
- ・委員の選任について、それぞれの審議会等の性格や規模によって必要な人材・人数は異なってくる。市は規定に基づいて判断していけばよい。
- ・ひと昔前のクローズドな時代に比べ、市民公募という形で参加する枠が確保され、その結果も含めて公表されるまでに成熟したことは評価する。

#### ●市民参加実施状況の公表について

- ・内容の中にさらに具体的な数字等を組み込むなど、当委員会での検討で必要な情報となることも踏まえて取り組んでほしい。

#### ●市民参加制度について

- ・アンケートや市民説明会は簡単に参加できるが、パブリックコメントや附属機関等は一定の関心、知識、考えを持っていなければ参加しづらい。アンケート結果で、簡単な方法の市民参加率が高くなるのは当然である。
- ・全ての市民が、市行政について深く専門的な見解を持たなければならないことはなく、パブリックコメントや附属機関等に参加しないことが駄目とは評価はできないし、参加したことがある市民の率が低いことが好ましくないと一概には言えない。全体的にそれぞれの率を上げていくことが大事であり、そうなるよう地道に努力していくしかない。
- ・自分の行動が市民参加になっていることに気が付いていない、または、市民参加という言葉が難しく考えてしまう市民が多い。自分たちのまちづくりについて何か意見を述べるこ

	<p>と、協力すること自体が市民参加なのだとすることを市民に知ってもらい、堅苦しいものばかりでなく、実は多くの市民が参加しているということを分かりやすく伝えるべきである。</p> <p>・参加している自覚がなくても、実は参加していたという事例はたくさんある。そのくらい身近なものだということに気付けば、ハードルが下がり、自分もやってみよう、周りの人も誘ってみようというように広がっていくのではないか。</p>
条 文	審議の内容
<p>&lt;第7章 市民参加・協働の推進&gt;</p> <p>(市民協働の推進)</p> <p>第25条 市民及び市は、協働のまちづくりを推進するための環境づくりに努めなければならない。</p> <p>2 市は、市民のまちづくり活動における自主性及び自立性を尊重し、必要な制度の整備を行うものとする。</p> <p>3 市は、市民が協働のまちづくりに参加しないことにより、不当に不利益を受けないよう配慮するものとする。</p> <p>4 市民協働の推進に関し必要な事項は、別に条例で定める。</p>	<p>&lt;第7章 市民参加・協働の推進&gt; 第25条「市民協働の推進」</p> <p>●アフターコロナ、ウィズコロナへの対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においても学生は卒業し、様々な分野、地域で活動し、生活していく。その世代の人にとっては、コロナ禍だからといって全部ストップするというわけにはいかない。</li> <li>・オンラインでの企画や打合せ等の需要に、行政がついて来られていない。新しいツールの活用、それに対する行政の準備について、そろそろ本気で取り組まなければ手遅れになる段階にきている。大学には専門的知識や技術のある人材がいるので、遠慮なく頼ってほしい。</li> <li>・デジタル化に向かって長期的に大きく変わるのは間違いないが、一気に変わることはない。それをどのように進めていくのが課題であり、そういった状況にあっても、一定の市民協働の活動が活発化できるように取り組んでいくことが必要。</li> </ul> <p>●市民協働条例の制定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条例の制定により認知度が上がり、浸透するという効果はあるが、基盤が十分でない状況で実態に合わない条例を作り、逆に推進の妨害、邪魔になる条例となるのは良くない。実際に協働の取り組みをしている、または関心を持っている人や団体により、どのような内容のものが必要なのか、考えを練る必要がある。</li> <li>・協働の概念自体に対する市民の理解が不十分である。そもそも協働とは何か、どこまでが協働かということが、現在も明らかでない、将来的にも見えないという状況にある。それが十分に熟した段階で条例化を考えていくべき。</li> <li>・自治基本条例、市民参加条例、市民協働条例、これらの法体系としての位置付けがまだまだ整理されていないと思われるため、まだ時間をかけてもよいのではないか。</li> <li>・活動団体に属している者としては、条例であまり固めてほしくない。私たちは、活動が楽しい、目的を持っている、それを継続したい、そういった気持ちで活動している。そこに条例ができて、活動や発言に責任を持たなければならないという縛りが生まれると、活動</li> </ul>

	<p>を続けるのが難しくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働条例の制定については十分に機が熟していない面があり、そこには協働について市民の理解が十分でないことも含まれる。とにかく条例を作らなければならないということではなく、市政の柱として、市民協働のまちづくりを進めていく中で醸成されていくべきものである。</li> <li>・他市町村の状況について情報収集し、条例を制定してうまくいっている自治体を参考とするべきである。</li> <li>・どのような制度が必要かということは、人によって、あるいは団体によって色々な考え方がある。それらがまとまらなければ条例化はできない。協働の取り組みを進めていく中で、条例が必要なのか、必要だとすればどういった条例が必要なのかと突き詰めること。もし、それが浮かび上がってこなければ、そもそも条例化は適切ではないということになる。</li> </ul> <p>●市の取り組み状況事例について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市としてのアウトプット評価の視点で記載されているが、どれほどの成果があったという市民サイドの視点によるアウトカム評価も必要。そういった視点で市が語ることにより、市民の理解が深まり、協働の活動に対する自覚が進むのではないかと。</li> </ul>
条 文	審議の内容
<p>&lt;第8章 住民投票&gt;</p> <p>(住民投票)</p> <p>第26条 市は、市政に関する重要事項について、直接、住民(市内に住所を有する者(法人を除く。))をいう。)の意思を確認するため、住民投票を行うことができる。</p> <p>2 市は、住民投票の結果を尊重しなければならない。</p> <p>3 住民投票を実施しようとするときは、それぞれの事案に応じ、別に条例で定めるものとする。</p>	<p>&lt;第8章 住民投票&gt;</p> <p>●今後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条項自体はこれでよいが、住民投票自体は減多にあるものではないため、今後どのようなかということの研究をしていくことが必要。</li> <li>・アンケートで「表現が難しい」「分からない」という意見が多いと感じた。対象者にとってもう少し分かりやすくすることを意識するべき。</li> </ul> <p>●解説書 17 ページの直接請求の説明について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解説書の改訂で直接請求の説明を追加したが、市民の側が発案して住民投票に至るというプロセスの一つの例として条例の制定・改廃の請求があるということであり、住民投票と関係ない他の部分の説明は不要ではないか。さらなる改訂までは必要ないが、パンフレット等を作る際に、求めている人のニーズに合うような形で工夫していただきたい。</li> <li>・解説書の直接請求の説明について、市民が知りたいのは一般論としての直接請求の説明ではなく、住民投票を実施するときは別に条例で定めるとは、どういうケースが当てはまるか、どういう条例に基づいて実施できるのか、できないのか、そういう全体の流れ、スキームが例として書かれていたほうがよい。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条例が提案されるまでには、市長が提案する、議会が提案する、直接請求に基づくもの、おそらく出発点は3つくらいある。地方自治法第74条に基づく条例の制定・改廃の住民側からの請求という方法もあるということを書いてはどうか。</li> <li>・多くの市民に分かりやすくしなければならないが、市の職員がこの条例に基づいて仕事するときには視点が違う部分もある。解説書の中に全部入れるか、市民のためのものを別に作り、セットで理解してもらおうという方法にするかということを考えていただきたい。</li> <li>・フローチャートのような図解にすると見やすい。解説書は分かりやすくなってきているが、条例自体が非常に硬いので、市民向けのパンフレットや小冊子のようなものを、一般の方々の目に触れやすい場所に置くと分かりやすい。</li> </ul>
条 文	審議の内容
<p>&lt;第9章 他の自治体等との連携及び協力&gt;</p> <p>(他の自治体等との連携及び協力)</p> <p>第27条 市は、共通するまちづくりの課題を解決するため、広く他の自治体及び関係機関と相互に連携し、協力するよう努めるものとする。</p> <p>2 市は、政策を実施するため必要があるときは、北海道及び国と連携を図りながら協力するとともに、北海道及び国に対して適切な措置を講ずるよう提案するものとする。</p>	<p>&lt;第9章 他の自治体等との連携及び協力&gt;</p>
条 文	審議の内容
<p>&lt;第10章 市民自治によるまちづくりに関する施策等の評価&gt;</p> <p>(市民自治によるまちづくりに関する施策等の評価)</p> <p>第28条 市は、市民自治によるまちづくりに関する施策又は制度がこの条例の趣旨に沿って整備され、又は運用されているかについて評価し、必要な見直しを行うための仕組みを整備するよう努めなければならない。</p> <p>2 市は、前項の規定による評価に当たっては、市民の意見が適切に反映されるよう努めなければならない。</p>	<p>&lt;第10章 市民自治によるまちづくりに関する施策等の評価&gt;</p> <p>●検討委員会に向けての取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年を超えない期間ごとに検討を行うとしているが、今回の委員会が終わり提言を提出したら、そこから次の検討委員会に向けて準備が始まるというようなタイムスケジュールで進めていただきたい。市の内部的には毎年行う業務という感覚で、その最後が4年目という形で進めていただきたい。</li> </ul> <p>●行政評価外部評価委員会の行政改革推進委員会への統合について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合によって審議の回数を減らし、内容を絞ることによって、全体として機会が減るのは如何なものか。事業を絞るのはいいが、回数が減るようなことがあるなら元に戻したほうがよい。</li> </ul>

自治基本条例検討委員会 審議の概要（令和2年度）

条 文	審議の内容
<p>&lt;第11章 条例の見直し&gt;</p> <p>(条例の見直し)</p> <p>第29条 市は、この条例の施行の日から起算して4年を超えない期間ごとに、この条例の規定について検討し、その結果に基づいて見直しを行うものとする。</p>	<p>&lt;第11章 条例の見直し&gt;</p> <p>●検討委員会に向けての取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4年に1度は見直すのだから、今回の委員会が無事に閉じて、提言書がまとまったら、次の4年後に向けて走り出していくべき。その4年間のタイムスケジュールについて、大まかな段取りはあらかじめイメージしておくことは必要。4年間の中での段取り、どういう情報を集めていくか、それらが明確になると良い。</li> <li>・ 次の4年間に向けて、アドバイザリーボードのように、助言を貰えるような有識者や関係者をあらかじめアサインしておき、必要に応じて相談や助言を受けられる仕組みを設けてはどうか。</li> </ul>